

令和8年度第1回上尾市地域公共交通活性化協議会次第

日 時 令和8年5月26日（火）

午後2時00分から

場 所 あげお富士住建ホール

（文化センター）203集会室

1 開 会

2 委員、事務局の紹介

3 議 事

- （1）役員の選任について
- （2）令和7年度事業報告について
- （3）令和7年度収入支出決算について
- （4）令和8年度事業計画（案）について
- （5）令和8年度収入支出予算（案）について
- （6）令和7年度上尾市地域公共交通計画の進捗について
- （7）令和7年度公共交通計画の評価について
- （8）上尾市地域公共交通計画における輸送資源を活用した移動手段の確保について

4 報告事項

- （1）市民アンケート結果について
- （2）利用者アンケート結果について
- （3）バス事業者およびタクシー事業者ヒアリング報告について

5 その他

6 閉 会

令和8年度 上尾市地域公共交通活性化協議会名簿

区 分	委員氏名	所 属	役職
法第6条第2項 第2号委員	山科 和仁	東武バスウエスト株式会社	
	田沼 健一	朝日自動車株式会社	
	野口 佳一	丸建つばさ交通株式会社	
	鈴木 貴大	株式会社協同バス	
	山口 正史	上尾地区タクシー協議会	
	関根 肇	一般社団法人埼玉県バス協会	
	藤田 貢	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会	
	児玉 憲一	国土交通省大宮国道事務所	
	武田 敦弘	埼玉県北本県土整備事務所	
	近藤 隆俊	東日本旅客鉄道株式会社高崎支社	
	新井 裕之	埼玉新都市交通株式会社	
法第6条第2項 第3号委員	戸崎 貴夫	上尾警察署交通課	
	小幡 雄人	上尾市自治会連合会	
		上尾市いきいきクラブ連合会	
	青木 明美	市民公募	
	小嶋 秀雄	市民公募	
	久保田 尚	埼玉大学名誉教授	
	野房 宏規	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	
	大嶋 清泰	埼玉県企画財政部交通政策課	
	村川 宗央	さいたま市都市局交通政策部交通政策課	
	向井 一哲	桶川市秘書企画部企画調整課	
法第6条第2項 第1号委員	堀部 弘幸	上尾市行政経営部	
	田中 友紀	上尾市健康福祉部	
	東 邦彦	上尾市都市整備部	
	畑 健二	上尾市市民生活部	

※区分の欄の「法」は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を指します。

令和 7 年度 上尾市地域公共交通活性化協議会 事業報告



令和 7 年度は協議会を 3 回実施し、主に上尾市地域公共交通計画に基づく事業の検討を行った。

【協議会開催】

第 1 回上尾市地域公共交通活性化協議会（令和 7 年 5 月 2 9 日）

- 議事1 役員の選任について
- 議事2 令和6年度事業報告について
- 議事3 令和6年度収入支出決算について
- 議事4 令和7年度事業計画(案)について
- 議事5 令和7年度収入支出予算(案)について
- 議事6 令和6年度上尾市地域公共交通計画の進捗について
- 議事7 令和6年度公共交通計画の評価について
- 議事8 市内循環バス「ぐるっとくん」運行見直しの経過報告について
- 議事9 タクシー車両の有効活用方法について



第 2 回上尾市地域公共交通活性化協議会（令和 7 年 1 0 月 2 3 日）

- 議事1 令和 8 年度上尾市地域公共交通活性化協議会委員の構成について
- 議事2 ぐるっとくん利用者アンケートの内容について
- 議事3 市民アンケートの内容について
- 報告事項1 上尾市公共交通計画の進捗報告について
- 報告事項2 次期上尾市公共交通計画策定に伴う業者の選定について



第 3 回上尾市地域公共交通活性化協議会（令和 8 年 2 月 9 日）

- 議事1 施策 1 - 1 駅におけるバス案内の強化、見やすさ向上について
- 議事2 施策 1 - 6 交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段確保の検討について
- 報告事項1 市内バス運行事業者およびタクシー事業者のヒアリングの結果について
- 報告事項2 令和 8 年度上尾市地域公共交通活性化協議会の市民委員について
- 報告事項3 市民アンケートおよび利用者アンケートの結果について

令和7年度上尾市地域公共交通活性化協議会収支決算書

収入額	13,964,762 円
支出額	13,948,990 円
差引額	15,772 円

(収入の部)

(単位：円)

款	項	予算額	収入済額	差引額	摘 要
1 負担金		0	0	0	
	1 負 担 金	0	0	0	
2 補助金		13,948,000	13,948,000	0	市補助金 13,948,000
	1 補 助 金	13,948,000	13,948,000	0	
3 諸収入		1,000	16,762	15,762	
	1 雑 入	1,000	16,762	15,762	預金利息
合 計		13,949,000	13,964,762	15,762	

(支出の部)

(単位：円)

款	項	予算額	支出済額	差引額	摘 要
1 運営費		0	0	0	
	1 会 議 費	0	0	0	
	2 事 務 費	0	0	0	
2 事業費		13,948,000	13,948,990	△990	
	1 事 業 費	13,948,000	13,948,990	△990	業務委託料
3 予備費		1,000	0	1,000	
	1 予 備 費	1,000	0	1,000	
合 計		13,949,000	13,948,990	10	

差引額 15,772円は、市に返還。

監査報告

令和7年度上尾市地域公共交通活性化協議会収支決算について、監査を実施したところ、内容について適正であると認められましたので報告いたします。

令和8年 5月18日

監事 鯨嶋 紀子
監事 鈴木 礼三

令和8年度 上尾市地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）

1. 今年度（令和8年度）展開する事業について

令和3年度に策定した上尾市地域公共交通計画の基本施策は、以下の通りである。

14施策のうち、重点施策と位置付けしている4施策【**太枠内事業**】を中心に事業を進める。

各種施策		R4	R5	R6	R7	R8
基本施策1 公共交通利用環境の向上						
1-1	駅におけるバス案内の強化、見やすさ向上 【重点施策】		検討・計画・実施			
1-2	モビリティ・マネジメントの実施 【重点施策】		検討・計画・実施			
1-3	バス情報の高度化		関係者協議			
1-4	ICカード・キャッシュレス決済の導入検討		検討			
1-5	障害者割引運賃制度の実施		実施			
1-6	交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段確保の検討		検討・計画・実施			
基本施策2 市内循環バスの見直し						
2-1	市内循環バスの再編検討【重点施策】	再編検討		準備・実施		
2-2	東大宮駅・桶川駅への乗り入れ		実施継続・乗入協議			
2-3	市内の新たな施設へのアクセス性の確保		検討・協議・実施			
基本施策3 民間路線バスの維持・拡充						
3-1	今後のバス需要に対応した適切な運行本数の検討【重点施策】		検討・協議			
3-2	ノンステップバスの導入推進		実施			
3-3	バス停の利用環境の整備、改善		検討・計画・実施			
基本施策4 タクシーの利用促進						
4-1	タクシーの待合環境の向上		検討・計画・実施			
4-2	タクシー車両の有効活用方法の研究		研究			

2. 第2次上尾市地域公共交通計画の策定について

現行の上尾市地域公共交通計画が令和8年度末をもって計画期間の満了を迎えることに伴い、令和9年度から令和13年度までの5年間を計画期間とする「第2次上尾市地域公共交通計画」の策定に着手する。

第1次計画の策定以降、運転手の高齢化や労働時間の上限規制（いわゆる2024年問題）に起因する更なる運転手不足、物価高騰による運行経費の増大など、地域公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。

次期計画においては、これら喫緊の課題への的確に対応し、持続可能な地域公共交通の維持・確保を図るため、国の制度改革や当市の上位計画との整合性を保ちつつ、今後取り組むべき具体的な施策を明確に定めていく。

■開催時期と想定議題

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催時期	令和8年7月下旬頃	令和8年10月下旬頃	令和9年1月下旬頃	令和9年3月中旬頃
議題（案）	・業務実施計画について ・実態調査の速報値 ・策定スケジュール	・追加調査の実施報告 ・上尾市地域公共交通計画の骨子案を提示	・上尾市地域公共交通計画（素案）の提示	・パブリックコメントの結果 ・上尾市地域公共交通計画（原案）の提示

議事 5

令和 8 年度上尾市地域公共交通活性化協議会収入支出予算書（案）

（収入の部）

（単位：円）

款	項	本年度予算額	前年度予算額	差引額	摘 要
1 負担金		0	0	0	
	1 負 担 金	0	0	0	
2 補助金		12,045,000	13,948,000	△ 1,903,000	市補助金
	1 補 助 金	12,045,000	13,948,000	△ 1,903,000	12,045,000
3 諸収入		1,000	1,000	0	
	1 雑 入	1,000	1,000	0	貯金利息
合 計		12,046,000	13,949,000	△ 1,903,000	

（支出の部）

（単位：円）

款	項	本年度予算額	前年度予算額	差引額	摘 要
1 運営費		0	0	0	
	1 会 議 費	0	0	0	
	2 事 務 費	0	0	0	
2 事業費		12,045,000	13,948,000	△ 1,903,000	
	1 事 業 費	12,045,000	13,948,000	△ 1,903,000	業務委託料
3 予備費		1,000	1,000	0	
	1 予 備 費	1,000	1,000	0	
合 計		12,046,000	13,949,000	△ 1,903,000	

○上尾市地域公共交通計画の概要

本市では、誰もが利用しやすい公共交通の実現を目的に平成27年9月に「上尾市地域公共交通網形成計画」を策定し、地域公共交通の維持、利便性向上に取り組んできました。
この計画策定から7年が経過し、時代に対応した公共交通が求められ、令和2年11月より施行された「持続可能な運送サービスの提供の確保に資する取組を推進するための地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」を踏まえ、今後の公共交通として目指す姿や取組内容を定めた「上尾市地域公共交通計画」を令和4年3月に策定しました。

○計画期間

令和4年度から令和8年度までの5年間

○計画期間における取り組み(凡例 ○:実施済 △:実施中 ―:未実施)

各種施策		R4	R5	R6	R7	R8	取り組み内容
基本施策1 公共交通利用環境の向上							
1-1	駅におけるバス案内の強化、見やすさの向上 【重点施策】	△	△	△	△		・上尾駅における公共交通案内の現状調査と課題抽出を実施。 ・上尾駅、駅前広場における公共交通案内 の強化、見やすさ 向上の調査結果を協議会に報告。 ・他自治体を参考に、よりわかりやすい案内板・導線表示のデザイン案を業者に依頼。 ・「上尾ライオンズクラブ」様より、上尾駅西口にデジタルサイネージ寄附があり、令和5年度に設置。 ・上尾駅におけるわかりやすい案内板・導線表示の設置場所の検討。
1-2	モビリティ・マネジメントの実施 【重点施策】	○	○	○	○		・「上尾市公共交通マップ」を上尾市転入者に配布。 ・「上尾市公共交通マップ」の裏面に時刻表を貼り付け、地図付きの時刻表として配布するよう準備。 ・広告代理店とタイアップし、8月と2月に新聞折込に冊子を配布。 ・11月に開催された「あげお産業祭」に市内循環バスの展示、乗車体験を実施。 ・広報あげお11月号に市内循環バス「ぐるっとくん」の利用案内を掲載。
1-3	バス情報の高度化	―	△	△	○		・バス情報のオープンデータ(GTFS)化を検討。 ・Google マップにて、乗り継ぎ検索に「ぐるっとくん」を含められるか検討。 ・LINEを使用し、現在地から最寄りのバス停の検索機能を使用できるか検討。 ・令和7年度にバス情報のオープンデータ(GTFS)化。Google mapに「ぐるっとくん」のバス停位置情報及び時刻表情報を反映
1-4	ICカード・キャッシュレス決済の導入の検討	△	△	○	○		・交通系ICカード関係団体に対する情報収集。 ・「ぐるっとくん」再編に合わせ、キャッシュレス決済の導入に向けてバス事業者と協議。 ・令和7年4月1日より、全路線キャッシュレス決済対応。
1-5	障害者割引運賃制度の実施	○	○	○	○		・「ぐるっとくん」は、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者は無料。(降車時に手帳を提示) → 「ぐるっとくん」見直し後は、未就学児と障害者手帳所有者は引き続き無料、75歳以上の高齢者と小学生は運賃100円を維持することを協議。 ・「ぐるっとくん」の75歳以上の高齢者乗車証の取り組み方法の検討。 ・高齢介護課の敬老月間優待事業の一つとして、9月の1か月間、65歳以上の市内在住の方は無料。(降車時に介護保険被保健証等を提示)
1-6	交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段確保の検討	―	―	△	△		・地域の資源活用について、市内各種施設(福祉施設、商業施設等)への意向確認を検討。 ・市内各種施設(福祉施設、商業施設等)へ、活用の可能性があるかアンケートの実施 ・協力事業の選定および運行内容の調整実施。
基本施策2 市内循環バスの見直し							
2-1	市内循環バスの再編検討 【重点施策】	△	△	○	○		・「上尾市地域公共交通活性化協議会」に「ぐるっとくん」見直し実施方針を提示し、承認。 ・実施方針に基づき、運行事業者をプロポーザルにより決定。 ・運行ダイヤ等調整。 ・運賃改定に向けた検討、情報収集。 ・令和7年4月1日より、運行見直しを実施。
2-2	東大宮駅・桶川駅への乗り入れ	△	△	△	△		・「ぐるっとくん」の大石桶川線は、桶川駅西口に乗り入れを実施。
2-3	市内の新たな施設へのアクセス性の確保	―	―	―	―		・新たな施設が出来た段階で乗り入れを検討。(現在予定なし)
基本施策3 民間路線バスの維持・拡充							
3-1	今後のバス需要に対応した適切な運行本数の検討 【重点施策】	―	△	△	△		・民間路線バスの乗降状況調査を検討。 ・一部民間路線バスの路線別の利用者数の整理を実施。 ・上尾駅において、民間バスの乗車人数調査を実施。
3-2	ノンステップバスの導入促進	―	―	―	―		・バス路線を運行する民間事業者が、ワンステップバスからノンステップバスに移行する際に、市から補助金による支援を実施。(現在予定なし)
3-3	バス停の利用環境の整備、改善	△	△	△	△		・上尾駅西口ロータリー整備に伴う、バス停環境の整備について、関係部署と協議。 ・上尾駅東口ロータリーのバス乗り場の整備について、関係部署と協議。 ・上尾駅東口ロータリーに新たなバス停を整備。
基本施策4 タクシーの利用促進							
4-1	タクシーの待合環境の向上	△	△	△	△		・上尾駅における公共交通案内の現状調査を実施。 ・事業者ヒアリング実施
4-2	タクシー車両の有効活用方法の研究	△	△	△	△		・民間事業者によるAIを活用したデマンド交通などの情報収集を実施。 ・ライドシェアについて情報収集。 ・デマンド交通およびライドシェアの先進事例を視察。 ・活性化協議会にて調査内容報告 ・事業者ヒアリング実施

1. 上尾市地域公共交通計画の評価

(1) 評価対象となる4つの数値目標

上尾市地域公共交通計画では、下記の4つの数値目標を設定している。

数値目標1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加

(令和元年度 民間路線バス 9.8% 市内循環バス 3.1% より増加を図る)

数値目標2 高齢者の外出回数増加

(令和元年度 週3回以上の外出割合が 65-74 歳 59.1%、75 歳以上 56.6% より増加を図る)

数値目標3 市民の市内循環バスの利用回数の増加

(令和元年度実績 2.10 回/年より増加を図る)

数値目標4 市内バスの総合的な満足度の向上

(令和元年度 民間路線バス 29.7% 市内循環バス 8.5% より増加を図る)

数値目標1, 2, 4については、令和7年度に実施した市民アンケート調査結果をもとに評価する。(前回の市民アンケート調査は令和元年度に実施)

(2) 評価結果

■数値目標1：市内バスの主な交通手段としての利用率の増加

前回実施した令和元年度の市民アンケート結果では、市内バスの主な交通手段としての利用率が、民間路線バスは **9.8%**、市内循環バスは **3.1%**であった。令和7年度に実施した市民アンケートでは、民間路線バスは **5.3%**、市内循環バスは **1.5%**であった。

前回の市民アンケートでは、配布数を全地区で同数としたが、今回は地区ごとの人口比に基づき配布を実施した。前回の調査では、原市地区および大石地区の回収率が高く、偏りが見られたが、今回の調査では、全地区で均一な回答率となった。その結果、前回に比べて、移動手段が豊富な駅周辺の住民からの回答が増加したことにより、主な交通手段としてのバスの利用率が減少した可能性が考えられる。

地区別 配布数・回収数	前回調査(R1)				今回調査(R7)				回答者における比率の差 (ポイント)
	配布数	回収数	回収率	回答者における比率	配布数	回収数	回収率	回答者における比率	
上尾地区	200	59	30%	8%	690	264	38%	18%	11%
平方地区	200	70	35%	9%	430	142	33%	10%	1%
原市地区	200	154	77%	20%	550	209	38%	15%	-6%
大石地区	200	153	77%	20%	600	212	35%	15%	-5%
上平地区	200	77	39%	10%	530	184	35%	13%	3%
大谷地区	200	81	41%	11%	550	198	36%	14%	3%
原市団地	200	30	15%	4%	100	33	33%	2%	-2%
尾山台団地	200	35	18%	5%	100	38	38%	3%	-2%
西上尾第一団地	200	42	21%	6%	150	51	34%	4%	-2%
西上尾第二団地	200	31	16%	4%	150	52	35%	4%	0%
外国人	—	—	—	—	150	(不明)	—	—	—
無回答・不明	—	25	—	3%	—	45	—	3%	0%
合計	2,000	757	38%	100%	4,000	1428	36%	100%	0%

■数値目標 2：高齢者の外出回数増加

前回実施した令和元年度の市民アンケート結果では、週 3 回以上の外出割合が、65-74 歳は 59.1%、75 歳以上は 56.6%であった。令和 7 年度に実施した市民アンケートでは、週 3 回以上の外出割合が、65-74 歳は 87.9%、75 歳以上は 66.7%となった。

65-74 歳、75 歳以上ともに割合が増加したが、これは、上尾市が実施している「あげお健康+（ぶらす）」等のフレイル予防の活動により、高齢者の外出機会が増えたため、割合が増加をしたのではないかと考えられる。

■数値目標 3：市民の市内循環バスの利用回数の増加

新型コロナウイルス感染症前の令和元年度は、1 人平均利用回数が 2 回以上となっており、市民一人当たり約 2 回乗車していることになる。令和 7 年度は、1 人平均利用回数が 1.69 回となった。

令和 6 年度では、1 人平均利用回数が 2 回以上と新型コロナウイルス感染症の影響から、かなり回復をしていたが、令和 7 年度に実施した運行見直しにより、運賃を 1 乗車 100 円から 200 円に値上げた影響と考えられる。

	年間乗車数（人） A	市内の人口総数（人） B	1 人平均利用回数（回） A / B
平成 30 年度	468,262	229,037	2.04
令和元年度	480,306	228,823	2.10
令和 2 年度	344,353	229,729	1.50
令和 3 年度	382,168	230,385	1.66
令和 4 年度	420,195	230,273	1.82
令和 5 年度	444,371	230,045	1.93
令和 6 年度	462,522	230,211	2.01
令和 7 年度	390,317	230,616	1.69

※市内の人口総数は毎年 4 月 1 日時点のものである。

市内循環バスの令和 6 年度の収支率は、15.7%であったが、令和 7 年度は 15.0%となった。

■数値目標 4：市内バスの総合的な満足度の向上

前回実施した令和元年度の市民アンケート結果では、バスに対する満足度について、民間路線バスは 29.7%、市内循環バスが 8.5%であった。令和 7 年度に実施した市民アンケートは、民間路線バスは 24.9%、市内循環バスが 12.0%となった。

民間路線バスでは、市民アンケートの意見欄にも記載があったが、始発の繰り下げ・終バスの繰り上げ、便数の減便等の対応により、満足度が低下した可能性が考えられる。

市内循環バスでは、増便を行ったことによる印象の良化や、回答者が多かった 75 歳以上に対する高齢者割引制度の導入により満足度が高まった可能性が考えられる。

上尾市地域公共交通計画における輸送資源を活用した移動手段の確保

－自家用有償旅客運送による新公共交通システム事業の導入－

(国土交通省 共同化・協業化促進タイプ実証運行事業)

■目的

市内の地域輸送資源の活用にあたって、従業員送迎を行う企業の協力のもと、民間路線バスと市内循環バス「ぐるっとくん」を補完する新たな地域交通を導入し、市内の移動性の向上を図る。

■経緯 ※資料1参照

「上尾市地域公共交通計画」の施策 1-6「交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段の確保の検討」に基づき、市内の通勤、通学、利用者送迎等を行う様々な企業、事業所等に対し地域交通の協力の意思をアンケート調査したところ、数社より検討可能との回答を得たことから、全社に対し事業形態等について協議を行い、この度この内1社と運行開始に向けた取り組みを本格化することとなったもの。

■運行協力企業

UDトラックス株式会社

■運行地域と移動ニーズの把握 ※資料2-1・2-2参照

運行地域は、緑丘五丁目・上尾東団地・錦町周辺(UDトラックス上尾スタジアム周辺)地域とする。

なお、当該地域における移動ニーズについては、令和2年3月に地域自治会長連名による、市内循環バスにおける地域と北上尾駅を結ぶ新ルートの追加に関する要望書が提出されている他、令和8年4月に、実証運行に係る住民アンケートを実施した。

<アンケート内容>

- ①期 間：令和8年4月9日～4月22日
- ②対象者：運行地域の住人から無作為抽出した 1,000 人
- ③回答数(率)：490人(49%)

■使用車両と運転手 ※資料3参照

運行協力企業の車両(マイクロバス)及び運転手による運行

■運行開始予定日

令和8年10月1日

■運行内容

1. 自家用有償旅客運送

企業の社員送迎用バスであり、一般乗合運送事業用車両(緑ナンバー)ではないため、道路運送法に規定される「自家用有償旅客運送」のうち、「交通空白地有償運送」の枠組みで登録をして運行する。主な登録条件は以下の通り。

- ①市町村が運営する(運行主体となる)もの
- ②交通空白地を運行するもの
- ③上尾市公共交通活性化協議会で運行に関する協議が整っていること
- ④実費相当分の運賃設定であること

※交通空白地有償旅客運送

市町村やNPO法人等が、交通空白地において、当該地域の住民、観光旅客その他の当該地域を来訪する者の運送を行うもの。

2. 運行形態 ※資料4参照

定時定路線運行とし、協力企業の従業員送迎時間外である、10:00～15:00 の間で、約40 分間隔の運行で検討する。なお、一般乗合旅客運送と異なり、早発の可能性もあり得る。

3. 運行期間

実証実験として位置づけ、令和9年1月末日までの運行を行う。

4. 運行日 ※資料5参照

平日週 3 日程度から開始し、利用者アンケート等によりニーズが確認された場合は、段階的に見直しを行う。なお、協力企業の休業日(年末年始、GW、夏季など)や、車両が点検等で使用できない日は運行しない。

5. チケット制の導入及び運賃体系 ※資料6参照

運転手と利用者の直接的運賃の収受による、釣銭準備や現金管理、紛失等のリスクを回避するため、事前にチケットを購入した利用者のみ乗車できる方式とする。また、チケットは市内循環バス「ぐるっとくん」の回数券である、「スマイル乗車券(1枚 100 円)」と共用とし、運賃、割引きなどの体系もぐるっとくんと同様とする。

なお、今後の協議により、事前購入アプリの導入も検討する。

- ①一乗車を2枚(200 円)とする。
- ②75歳以上の高齢者は、市内循環バス「ぐるっとくん」の高齢者特別乗車証を提示した場合に1枚(100 円)とする。また、小学生も1枚とする。
- ③未就学児及び身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の全ての所持者、身体障害者手帳第1種、または療育手帳所持者の介護者1人は無料とする。
- ④販売単位は1枚単位を基本とする。
- ⑤上平支所、原新町駐輪場、UDトラックス上尾スタジアム、コンビニ、個人商店で販売する。

6. バス停 ※資料2-1参照

バス停位置は、危険バス停に該当しない位置(交差点、横断歩道から 5m以内に車体がかからない位置)とし、道路管理者等との協議に基づき決定すると共に、地先地権者の了承を得られた場所とする。なお、9 箇所(往復で 10箇所)を予定する。

7. 管理体制 ※資料7参照

- ①本運行の運行事業者は、道路運送法施行規則に定める「乗車定員十一人以上の自家用有償旅客運送自動車の運行を管理する事務所」に該当するため、運行管理の責任者として、運行事業者に勤務する「安全運転管理者」(運行管理者基礎講習受講済)を選定する。
- ②上記の該当事由により、道路運送車両法施行規則第31条の4に定める整備管理責任者についても選定する。

8. 損害保険

本運行にあたっては、下記の移動支援サービス専用自動車保険に加入する。

- ①対人賠償責任保険、対物賠償責任保険 : 無制限
- ②車両保険 : 300 万円
- ③人身傷害特約 : 3,000 万円

■運行準備

1. 運転手に対する安全運転講習の実施

担当する企業運転手について、大臣認定講習を受講する他、NASVA による適性診断、バス会社による安全・接遇・実走研修を実施する。

2. 運行地域における住民説明会と回覧の実施

運行地域の自治会組織の協力を得て、各地区公民館で乗車方法などについての住民説明会を開催するほか、回覧を行い、十分な周知を図る

■運行形態

この地域交通については、協力企業との業務委託契約による運行とする。ただし、運行中の事故等に対する損害保険は、市で加入契約を行う。

■国庫補助金

この事業は、国の「交通空白解消リ・デザイン」の補助事業として実施する。なお、国庫補助を得る場合、年度内に一度事業を完結し、翌年度の運行には再び交付申請を行う必要がある。交付決定後でなければ再開できないため、連続通期運行は不可となる。

<補助対象経費の 1,000 万円まで定額。超過分に対しては2/3(上限 1 億 2 千万円)>

■住民アンケート

実施路線周辺の住民に対し、開始前と開始後にそれぞれアンケート調査を行う。事業実施後アンケートでは、事業内容が需要に合っているか、改善点の有無等について調査し、次期運行の検討材料とする。

■スケジュール ※資料8参照

1. 地域アンケート = R8.4
2. 補助金申請 = R8.4～
3. 活性化協議会承認 = R8.5
4. 予算計上 = R8.6議会補正予算
5. 運行届出 = R8.8

■その他

運行名称や愛称等は今後決定し、市委託(協力)運行であることをマグネット等で車体に明示する。

市民アンケート結果について

1 調査概要

(1) 調査の実施目的

- 上尾市地域公共交通計画（R4.3 策定）において設定した数値目標の達成状況の評価
- 計画の策定から実施してきた各施策の評価を行う
- 現時点や将来の生活を想定した、市民の公共交通に関するニーズを把握し、今後の公共交通に関する施策検討の参考とする

(2) 調査対象者、調査方法

- 住民基本台帳より地区ごとに無作為抽出した満 15 歳以上の市民 4,000 人について、日本人は 3,850 人、外国人は 150 人に配布。日本人については市内を 10 地区（6 地区＋4 団地）に分類し、人口構成比に応じた傾斜を掛けて配布。
- 郵送配布・郵送回収（web 回答可）方式で実施した。

■図表 1 地区別の配布状況

	地区等	計
外国人を除いた各地区	上尾	690
	平方	430
	原市	550
	大石	600
	上平	530
	大谷	550
	原市団地	100
	尾山台団地	100
	西上尾第一団地	150
	西上尾第二団地	150
外国人		150
合計		4,000

(3) 調査項目

○主な調査項目は以下の通り。調査票については次ページ以降に示す。

■図表 2 調査項目

調査項目	把握する内容 ※太字は計画の数値目標に関わる項目
1. 個人属性	・回答者の属性を把握 →居住地、性別、 年代 、職業、自動車保有状況、免許保有
2. 日常の移動・外出実態	・現状の移動発生量を把握 →行先、目的、外出の時間帯、 頻度 、交通手段
3. 公共交通の利用実態	・公共交通の利用頻度 → 市内循環バス・民間路線バス ・鉄道の利用頻度
4. 公共交通の満足度・評価	・公共交通に対する満足度を把握 → 路線バス、市内循環バスの満足度
5. 公共交通に関する近年の取り組みについて	・計画策定後の取り組みの認知度・利用状況等 →ぐるっとくん再編後の利用状況、バスロケの認知度、公共交通マップの認知度等
6. 今後の公共交通に関する取り組みについて	・公共交通の必要性 ・困りごと及びそれに対する施策 →現在の困りごと、将来の困りごと →力を入れてほしい施策（現計画の施策＋新たな施策候補）
7. タクシー活用について	・タクシーを活用した新たな交通の認知度、利用意向等 →認知度、利用意向、行きたい場所、曜日、時間帯
8. 自由記述	その他自由意見

(4) 実施スケジュール

- ・12月10日（水）配布開始
- ・12月29日（月）回答期限

(5) アンケートの依頼文・調査票

【依頼文】

	上尾市の公共交通に関する アンケートにご協力ください Survey on Public Transportation in Ageo City <For other languages, please answer via the website using a translation tool.>	
日頃から、上尾市の市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。 上尾市では令和4年3月に「上尾市地域公共交通計画」を策定し、バスや鉄道などの公共交通が、より使いやすくなるようにさまざまな取り組みを展開してきました。 本アンケートは、上尾市にお住まいの方を対象として、皆様の日常の移動実感や公共交通に対する考え方をお聞きし、今後の取り組みの参考とするための大変重要なものです。 ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。 令和7年12月 上尾市		
■アンケートは、市内にお住まいの満15歳以上の方を対象に住民基本台帳から4,000人を無作為に抽出し、調査へのご回答をお願いしています。お答えいただいた内容は、統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。 ■アンケートは、15分程度で回答できます。 ■紙面とWEBのいずれかでご回答ください。 ■WEB回答の場合、下記のURLか右の二次元バーコードからアクセスしてください。 (WEBのURLはこちらです。Please access here.) https://forms.gle/kVGfGTzHcEckbeKk7 ■この調査には、宛名のご本人様にご回答ください。(※おひとり1回のみ) ■ご本人様によるご回答が難しい場合、「宛名のご本人様のこと」について、ご家族の方に代筆または代理入力していただきますよう、よろしくお願いいたします。 ■郵送の場合、ご回答いただいた調査票を同封の「返信用封筒」に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。(切手は不要です) ※12月29日(月)までに、ご回答(投函またはWEB回答)くださいますよう、お願いいたします。  回答用二次元バーコード (website)		
【お問い合わせ先】 <調査の実施主体> 上尾市 市民生活部 交通防犯課 所在地：〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号 電話：048-775-5138(直通) FAX：048-775-9927 <上尾市からの調査委託先・調査票の返送先> 八千代エンジニアリング株式会社 所在地：〒111-8648 東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー 電話：03-5822-6023(担当：池田、加藤、森) FAX：03-5822-2814  上尾市		

上尾市の公共交通に関するアンケート 調査票

問1 ご自身のことについてお伺いします。

1-1 ご自身に関する以下の項目をお答えください。(それぞれ1つに○。お住まいは記入か選択)

住まい	右の欄に町丁目を記入してください。 番地は不要です。 右の欄のいずれかの団地にお住まいの方は、1つに○を付けてください。	(記入例) 上尾市本町3丁目 1. 原市団地 2. 尾山台団地 3. 西上尾第一団地 4. 西上尾第二団地
性別	1. 男性 2. 女性 3. その他	
年代	1. 15～17歳 2. 18～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳 9. 75歳以上	
職業等	1. 生徒・学生 2. 会社員・公務員・団体職員 3. 自営業 4. 農業 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他	
自動車等の保有状況	1. 自動車あり 2. 自動二輪・原付あり 3. 自動車と自動二輪・原付の両方あり 4. なし	
運転免許の保有状況	1. 免許を持っている 2. 免許を持っているが運転しない 3. 免許を持っていたが返納した 4. 免許を持ったことがない	

問2 普段の外出についてお伺いします。

2-1 あなたの普段の生活での、外出回数をお答えください。(1つに○)

通勤や通学、買い物、通院、その他の私事を合わせてお考えください。

1. 週に5日以上	2. 週3～4日	3. 週1～2日
4. 月2～3回	5. 月1回程度	6. 年に数回程度

2-2 あなたが一番よく行く外出先への目的は何ですか。(1つに○)

1. 通学 2. 通勤 3. 買い物 4. 銀行・郵便局・市役所等 5. 通院・介護サービス 6. 家族などの通院・介護サービスの付き添い 7. 趣味・レジャー・習い事等 8. 家族などの送迎(車での送り迎え) 9. その他()

2-3 あなたが一番よく行く外出先の目的地の場所、施設名、または住所を記入してください。

(通勤先の場合、具体的な会社名等は記入せず、住所のみを記入してください)

施設名	住所(市町村名および町名(大字)まで)
(記入例) 上尾市役所	(記入例) 上尾市本町3丁目

2-4 前問2-3で記入した外出先に行く際の時間帯、外出回数、主な交通手段をお答えください。

外出時間帯	行きは(午前・午後 _____ 時台) 帰りは(午前・午後 _____ 時台)
外出回数 (1つに○)	1. 週に5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3回 5. 月1回程度 6. 年に数回程度
主な 交通手段 (1つに○)	1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(送ってもらう) 3. 自動二輪・原付 4. 自転車 5. タクシー 6. 市内循環バス「ぐるっとくん」(⇒乗車するバス停名: _____ 停留所) 7. 民間路線バス (⇒乗車するバス停名: _____ 停留所) 8. 鉄道 9. 徒歩 10. その他()

問3 公共交通の利用状況についてお伺いします。

- 3-1 普段あなたは、上尾市内の公共交通（①市内循環バス「ぐるっとくん」、②民間路線バス、③鉄道、④タクシー）をどのくらい利用していますか。（それぞれ1つに○）

①市内循環バス「ぐるっとくん」	②民間路線バス	③鉄道	④タクシー
1. 週に5回以上	1. 週に5回以上	1. 週に5回以上	1. 週に5回以上
2. 週に3～4回	2. 週に3～4回	2. 週に3～4回	2. 週に3～4回
3. 週に1～2回	3. 週に1～2回	3. 週に1～2回	3. 週に1～2回
4. 月に数回	4. 月に数回	4. 月に数回	4. 月に数回
5. 年に数回	5. 年に数回	5. 年に数回	5. 年に数回
6. 利用しない	6. 利用しない	6. 利用しない	6. 利用しない

問4 上尾市の公共交通への満足度についてお伺いします。

- 4-1 上尾市の公共交通に対する満足度について、お伺いします。以下の①市内循環バス「ぐるっとくん」、②民間路線バスの項目ごとに満足度をお答えください。（それぞれ1つに○）

①市内循環バス「ぐるっとくん」	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	わからない
1) 自宅とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
2) 目的地とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
3) バスの運行本数	5	4	3	2	1	?
4) バスの始発の時間	5	4	3	2	1	?
5) バスの終発の時間	5	4	3	2	1	?
6) バスの運賃	5	4	3	2	1	?
7) バス停の環境（ベンチ、屋根等）	5	4	3	2	1	?
8) バスの運行経路や行き先	5	4	3	2	1	?
9) バスの運行時間の正確さ（定時性）	5	4	3	2	1	?
10) バスへの乗り降りしやすさ（段差）	5	4	3	2	1	?
11) バスと自転車の乗り継ぎ	5	4	3	2	1	?
12) バスの運行情報のわかりやすさ	5	4	3	2	1	?
13) 市内循環バスの「総合評価」	5	4	3	2	1	?

②民間路線バス	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満足	不満足	わからない
1) 自宅とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
2) 目的地とバス停の距離	5	4	3	2	1	?
3) バスの運行本数	5	4	3	2	1	?
4) バスの始発の時間	5	4	3	2	1	?
5) バスの終発の時間	5	4	3	2	1	?
6) バスの運賃	5	4	3	2	1	?
7) バス停の環境（ベンチ、屋根等）	5	4	3	2	1	?
8) バスの運行経路や行き先	5	4	3	2	1	?
9) バスの運行時間の正確さ（定時性）	5	4	3	2	1	?
10) バスへの乗り降りしやすさ（段差）	5	4	3	2	1	?
11) バスと自転車の乗り継ぎ	5	4	3	2	1	?
12) バスの運行情報のわかりやすさ	5	4	3	2	1	?
13) 民間路線バスの「総合評価」	5	4	3	2	1	?

問5 公共交通に関する近年の取り組みについてお伺いします。

5-1 市内循環バス「ぐるっとくん」が令和7年4月に見直し（増便、一部便の起点・終点の変更）をしましたが、見直しをしてから、利用回数に変化はありましたか。（1つに○）

- | | | |
|------------------------------|-----------------------------|---------------------|
| 1. 利用回数は増えた | 2. 利用回数は減った | 3. 利用回数は変わらない |
| 4. 以前は利用しなかったが
利用するようになった | 5. 以前は利用していたが、
今は利用していない | 6. 以前も今も
利用していない |

5-2 市内循環バス「ぐるっとくん」では、令和7年4月からキャッシュレス決済（交通系ICカード、二次元バーコード決済のいずれか）ができるようになりましたが、ご存じですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 知っており、利用したことがある | 2. 知っているが利用したことがない |
| 3. 知っているが利用方法がわからない | 4. 知らなかった |

5-3 市内循環バス「ぐるっとくん」のバスの現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるサービス「バスロケーションシステム※1「BusGo!」」をご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 知っており、利用したことがある | 2. 知っているが利用したことがない |
| 3. 知っているが利用方法がわからない | 4. 知らなかった |

※1 バスロケーションシステム：バスの現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるサービス

5-4 民間路線バスでも、同様に現在位置や遅延情報をスマートフォンなどの端末で知ることができるバスロケーションシステム※2があることをご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 知っており、利用したことがある | 2. 知っているが利用したことがない |
| 3. 知っているが利用方法がわからない | 4. 知らなかった |

※2 民間路線バスのバスロケーションシステム：東武バス「バス現在位置情報検索サービス」、朝日バス「朝日自動車バスナビ」、丸建つばさ交通「BusGo!」等

5-5 「上尾市公共交通マップ」（A3 両面）はご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 知っており、使用したことがある | 2. 知っているが使用したことがない |
| 3. 知らなかった | |

5-6 スマートフォンでタクシーを呼ぶことができる、予約・配車アプリはご存知ですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 知っており、使用したことがある | 2. 知っているが使用したことがない |
| 3. 知らなかった | |

問6 上尾市での今後の公共交通のあり方についてお伺いします。

- 6-1 今後、地域の公共交通（バス・タクシー等）の役割はますます重要になると考えられます。一方、利用者の減少、乗務員の不足、市の費用負担の増加等により、現在のような形で持続することが難しくなることも考えられます。そこで、今後の上尾市の公共交通に対する、あなたのお考えに最も近いものを選んでください。（1つに○）

1. 市の費用負担が増加してでも、公共交通サービスを向上すべき
2. 市の費用負担を一定程度投入し、公共交通サービスを維持すべき
3. 市の費用負担を減らすため、公共交通のサービス水準を引き下げるべき
4. その他（ ）

- 6-2 現在の移動に関する困りごと、将来（5～10年後）の移動に関する不安について、それぞれあてはまるものをすべて選んでください。（それぞれ、あてはまるものすべてに○）

現在の移動に関する困りごと （あてはまるものすべてに○）	1. 困っていることは特にない
	2. バスの混雑
	3. 鉄道の混雑
	4. 道路の混雑
	5. 駐車場・駐輪場がない
	6. 外出にかかる移動費用が高い
	7. 雨の日の道路の混雑
	8. 雨の日のバス・鉄道の車内の混雑
	9. 予約が埋まるなどの理由でタクシーに乗れない
	10. 鉄道の本数・運行時間帯
	11. バスの本数・運行時間帯
	12. 自動車等の運転に不安がある
	13. 家族や知人の送迎や付き添いをするために、自分の自由な移動が制限される
	14. 家族や知人などに送迎してもらうことに抵抗がある
	15. 家族や知人など送迎を頼れる人がいない
	16. 駅やバス停が遠い
	17. 目的地まで行く手段がない
	18. 荷物が重く、荷物をもって移動できない
	19. 子連れでの公共交通の利用に不安がある（周囲への気遣い等）
	20. その他（ ）
将来（5～10年後）の移動に関する不安 （あてはまるものすべてに○）	1. 特に不安を感じない
	2. 足や体が弱くなり、外出するのが難しくなる
	3. 自分が自動車を運転できなくなる
	4. 家族や知人などが送迎や買い物をしてくれなくなる（できなくなる・いなくなる）
	5. 家族や知人の送迎や付き添いをするために、自分の自由な移動が制限される
	6. 鉄道、バスなどが減便・廃止になり、不便になる・移動手段がなくなる
	7. 鉄道、バス、タクシーなどの運賃が上がり、外出の費用が自分にとって負担になる
	8. 物価高騰などにより自動車等の維持費・購入費が負担になる
	9. 生活圏の商業施設や病院がなくなり、移動距離が長くなる
	10. その他（ ）

6-3 現在及び将来の困りごと、不安を解消するために、今後の交通施策として、あなたが特に力を入れてほしい、達成してほしいと思う施策は何ですか。（あてはまるもの3つまで○）

1. 駅でのバスの路線案内や発着案内を強化することで、公共交通の分かりやすさ向上を目指す
2. 公共交通マップや総合時刻表の作成・配布、啓発イベントの実施などにより、市民への公共交通の情報周知を図り、利用者増加・維持を図る
3. バス情報のオープンデータ化^{※3}を推進し、公共交通の利便性向上を促進する
4. ぐるっとくんやタクシーのICカード、キャッシュレス決済をさらに拡充し、利便性向上を図る
5. 障害者や介助者への運賃割引制度を引き続き実施し、市民の移動性の向上を図る
6. 市内の施設や企業の送迎車両等の地域資源を最大限に活用し、既存の公共交通を補完する移動手段の確保を検討する
7. ぐるっとくんについて、令和7年4月に実施した運行見直しの効果を検証したうえで、さらなる再編を検討する
8. ぐるっとくんについて、JR 桶川駅への乗り入れや桶川市コミュニティバスとの連携を継続し、JR 東大宮駅への乗り入れも検討する
9. ぐるっとくんについて、新たな商業施設の開業に合わせ、ぐるっとくんと民間路線バスが連携して施設へのアクセス性向上を検討・実施する
10. 民間路線バスについて、利用者数減少の中で持続可能な公共交通ネットワークを構築するために運行の維持を図る
11. バスまちスポット^{※4}の展開やバス停の屋根・ベンチの設置などにより、利用環境の改善を図る
12. 公共施設や駅でのタクシー待合環境を改善し、アプリ等を活用して料金や所要時間の案内を充実させることで、タクシーの利用向上を目指す
13. 交通弱者の移動手段確保のため、タクシー車両の有効活用方法について有効な施策を検討する
14. ぐるっとくん・民間路線バスを維持するため、運転手不足の解消を図る支援をする
15. 地域の移動手段が十分に確保できない地区において、新たな交通施策を検討する
16. バス・タクシーなどで脱炭素に向けた取り組みを推進する（EV 車等）
17. 自転車の駐輪場・通行空間の整備、シェアサイクルの促進などを進める
18. 自動運転・グリーンスローモビリティ^{※5}・MaaS^{※6}等の新技術について研究する
19. その他（ ）

※3 バス情報のオープンデータ化 バスの時刻表・バス停位置・ルート・リアルタイム情報等のデータを、利用のルールを定めたとえでも自由に利用可能な形で公開し、利用者や関係者による利活用の促進を図る取り組み

※4 バスまちスポット 出歩きやすいまちづくりの一環として、バス停の屋根 50m 以内にある商店や施設等で、時刻表の掲示等を行って利用者がバスを気軽に待ったり休憩したりできるようにした場所

※5 グリーンスローモビリティ 時速 20km 未満で公道を走る、CO2 排出量が少ない電動車を活用した、地域住民や観光客向けの小さな移動サービスとその車両の維持

※6 MaaS ICT 技術を活用し、複数の公共交通やその他の移動サービスを一つのサービスとしてシームレスにつなぎ、検索・予約・決済を一括で行うもの

問7 タクシーの有効活用についてお伺いします。

道路が狭い、利用が限定的といった理由からバスの運行が困難な地域において、将来の移動手段のあり方を研究しています。その選択肢の一つとして、タクシーの有効活用（オンデマンド交通^{※7}、ライドシェア^{※8}等）が考えられます。これを踏まえ、以降の設問にお答えください。

※7 オンデマンド交通 バスとタクシーの中間的な位置にある交通で、予約に応じてダイヤやルート柔軟に変えて運行する乗合型の交通

※8（日本版）ライドシェア：タクシー事業者の管理下で、自家用車や一般ドライバーを活用し、タクシー不足を補う運送サービス

7-1 タクシーを有効活用した交通について、どの程度ご存知ですか。（それぞれ1つに○）

オンデマンド交通	1. よく知っている	2. 聞いたことがある程度	3. 知らなかった
ライドシェア	1. よく知っている	2. 聞いたことがある程度	3. 知らなかった

7-2 上尾市におけるタクシーの有効活用について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。（1つに○）

1. 輸送人員数の劣るタクシーの活用より、現在のバス（市内循環バス「ぐるっとくん」）の活用を基本として、運行ルートやダイヤの効率化を進めるべき
2. 現在運行している「ぐるっとくん」について、路線数は維持し、利用者の少ない路線の一部区間を廃止し、廃止した区間でタクシーの有効活用を行うべき
3. 現在運行している「ぐるっとくん」について、利用者の少ない路線を廃止し、廃止路線を補うようタクシーを有効活用した交通手段を導入すべき
4. その他（ ）

7-3 タクシーを有効活用した交通サービス（オンデマンド交通やライドシェア等）について、あなたはどの程度利用したいと考えますか。（1つに○）

1. 普段から利用したい
2. 時間帯や天候次第で利用したい
3. 機会があれば利用してみたい
4. 料金によっては利用したい
5. 利用しない

7-4 前問7-3で1～4の選択肢を選んだ方にお伺いします。タクシーを活用した交通サービスで行きたい場所、利用したい曜日・時間帯をお答えください。

行きたい場所 (2つまで○)	1. 駅	2. 公共施設	3. 病院	4. 商業施設	5. その他
行きたい場所の 具体例	(記入例) 上尾市役所				
利用したい曜日 (1つに○)	1. 平日のみ 2. 土休日のみ 3. 平日・土休日どちらも				
利用したい時間帯	行きは(午前・午後 ____ 時台) 帰りは(午前・午後 ____ 時台)				

問8 公共交通全体について、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて、12月29日（月）までに返送してください（切手は不要です）

(6) 配布・回収状況

前回は各地区に均等に配布したが、今回は人口に応じた傾斜を掛けて配布を行っている。
回収率は各地区で大きな差はなく概ね平均の36%と同様の値に収まっている。なお、配布枚数を変えたため、地区ごとの回答者数については全回答者における比率は前回と異なっている。
また、郵送（紙面）での回答とwebでの回答の比率はそれぞれ約7割、約3割となっている。

■図表3 配布・回収状況（前回との比較）

地区別 配布数・回収数	前回調査(R1)				今回調査(R7)				回答者における比率の差 (ポイント)
	配布数	回収数	回収率	回答者における比率	配布数	回収数	回収率	回答者における比率	
上尾地区	200	59	30%	8%	690	264	38%	18%	11%
平方地区	200	70	35%	9%	430	142	33%	10%	1%
原市地区	200	154	77%	20%	550	209	38%	15%	-6%
大石地区	200	153	77%	20%	600	212	35%	15%	-5%
上平地区	200	77	39%	10%	530	184	35%	13%	3%
大谷地区	200	81	41%	11%	550	198	36%	14%	3%
原市団地	200	30	15%	4%	100	33	33%	2%	-2%
尾山台団地	200	35	18%	5%	100	38	38%	3%	-2%
西上尾第一団地	200	42	21%	6%	150	51	34%	4%	-2%
西上尾第二団地	200	31	16%	4%	150	52	35%	4%	0%
外国人	—	—	—	—	150	(不明)	—	—	—
無回答・不明	—	25	—	3%	—	45	—	3%	0%
合計	2,000	757	38%	100%	4,000	1428	36%	100%	0%

■図表4 回答種別ごとの回答数

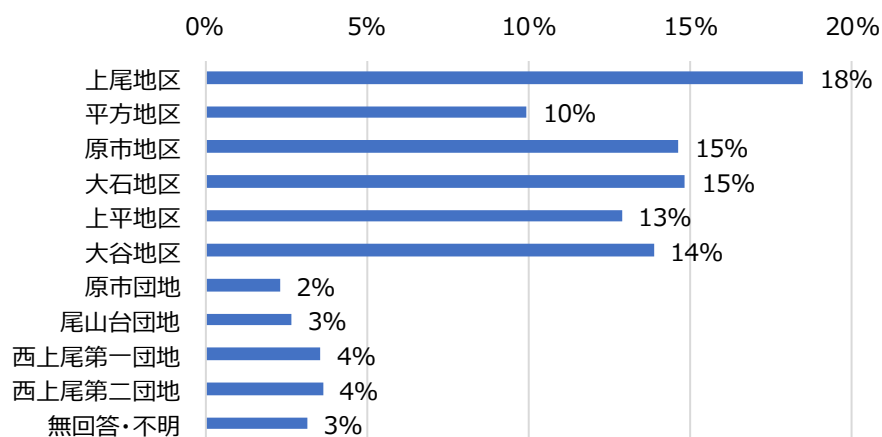
回答種別	回答数	比率
紙面	955	67%
web	473	33%
回答数	1,428	100%

2 集計結果

(1) 属性

①住まい（地区）

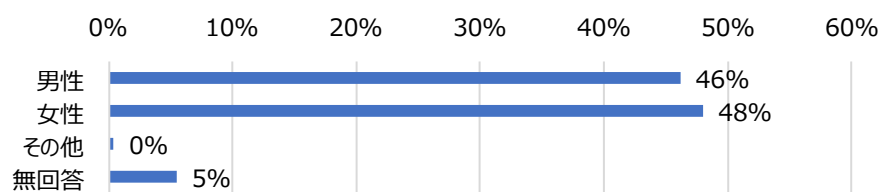
上尾地区が 18%と最も多く、次いで大石地区、原市地区が 15%と続く。



■図表 5 住まい（地区）

②性別

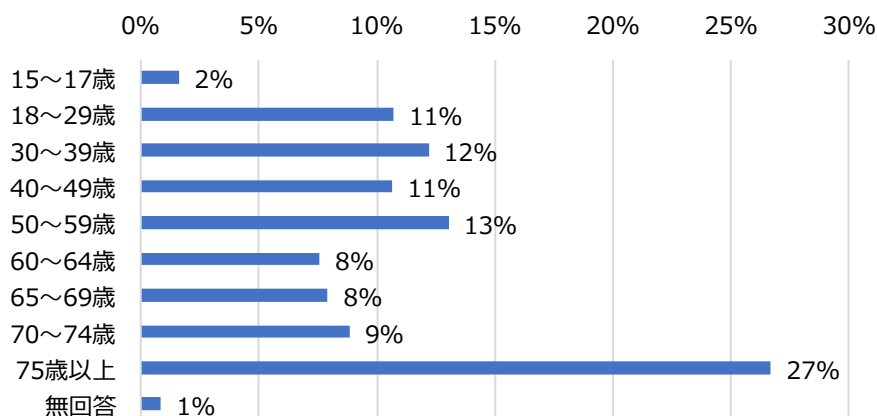
女性が 48%と最も多く、次いで男性が 46%と続く。



■図表 6 性別

③年代

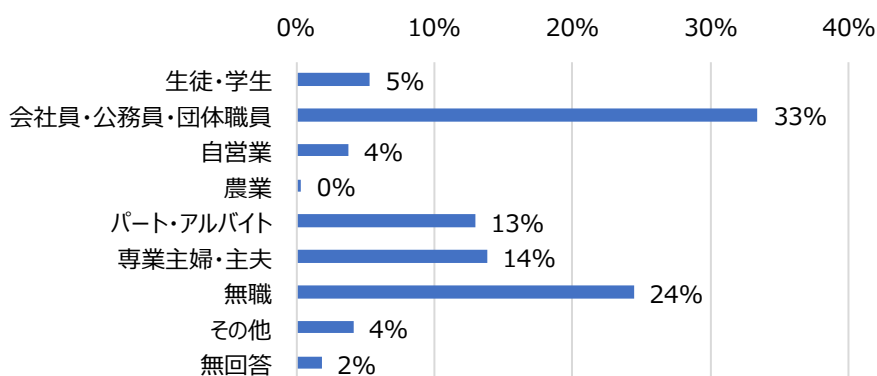
75歳以上が27%と最も多く、次いで50～59歳が13%と続く。



■図表 7 年代

④職業等

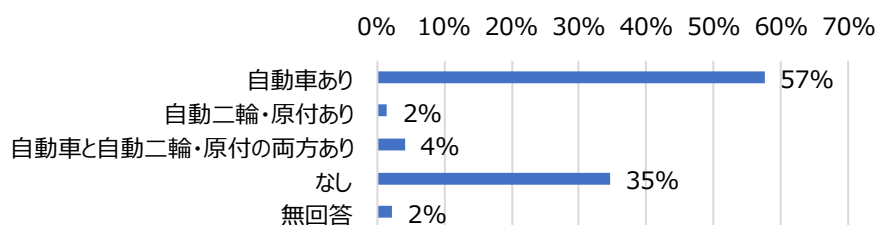
会社員・公務員・団体職員が33%と最も多く、次いで無職が24%と続く。



■図表 8 職業等

⑤自動車等の保有状況

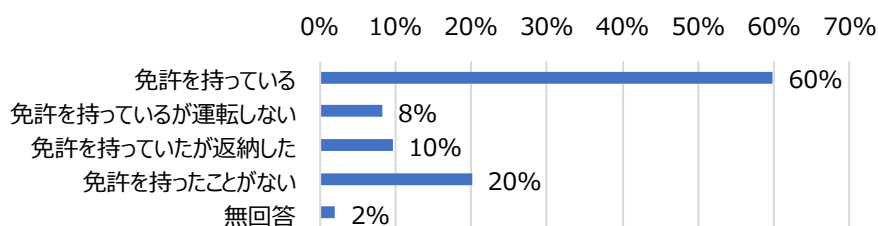
自動車ありが57%と最も多く、次いでなしが35%と続く。



■図表 9 自動車等の保有状況

⑥運転免許の保有状況

免許を持っているが 60%と最も多く、次いで免許を持ったことがないが 20%と続く。

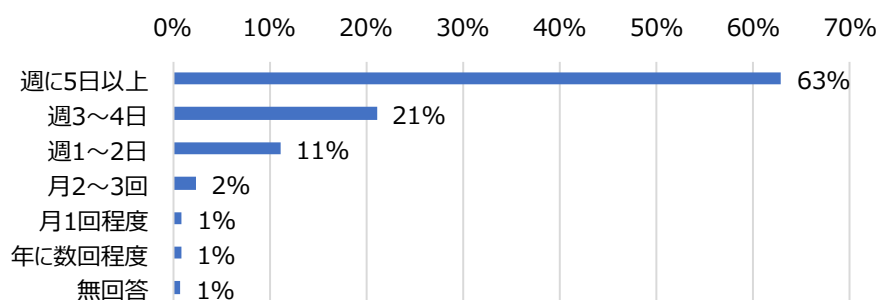


■図表 10 運転免許の保有状況

(2) 普段の外出について

①普段の生活での外出回数

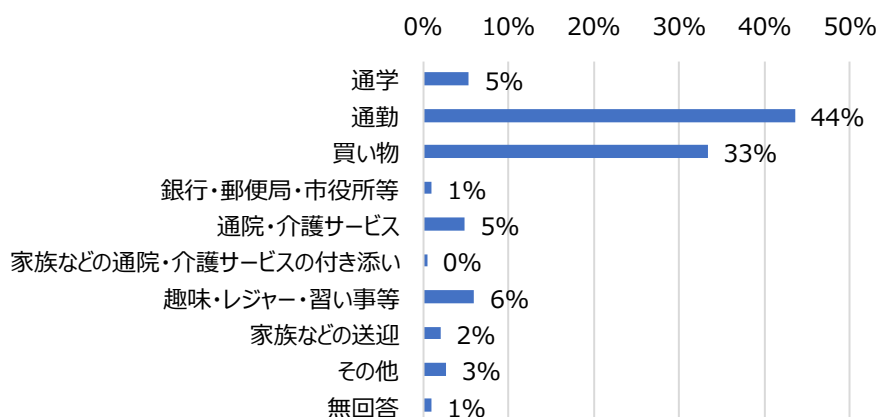
週に 5 日以上が 63%と最も多く、次いで週 3～4 日が 21%と続く。



■図表 11 普段の生活での外出回数

②一番よく行く外出先への目的

通勤が 44%と最も多く、次いで買い物が 33%と続く。

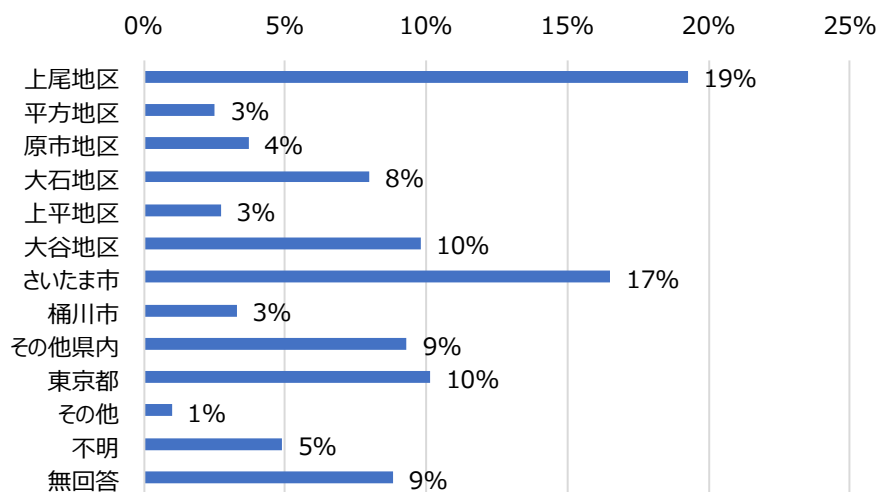


■図表 12 一番よく行く外出先への目的

③一番よく行く外出先の地区、上位施設

1)外出先の地区

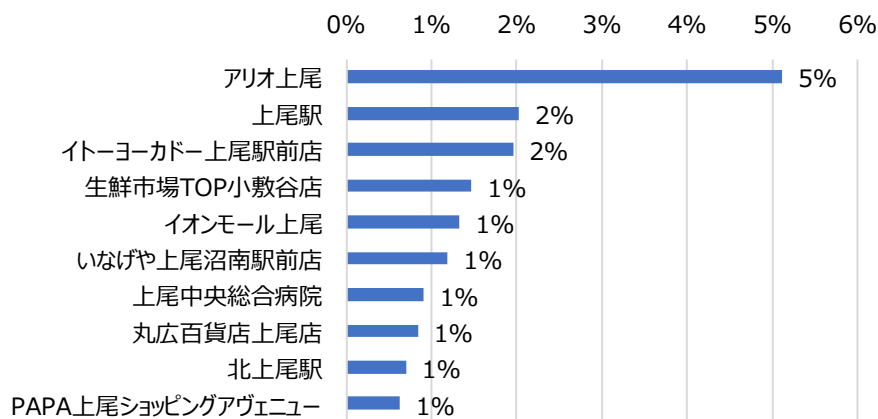
上尾地区が 19%と最も多く、次いでさいたま市が 17%と続く。



■図表 13 一番よく行く外出先の地区

2)上位施設

実際に目的地の施設名の記入があった施設について、アリオ上尾が 5%（73 名）と最も多く、次いで上尾駅、イトーヨーカドー上尾駅前店が 2%と続く。

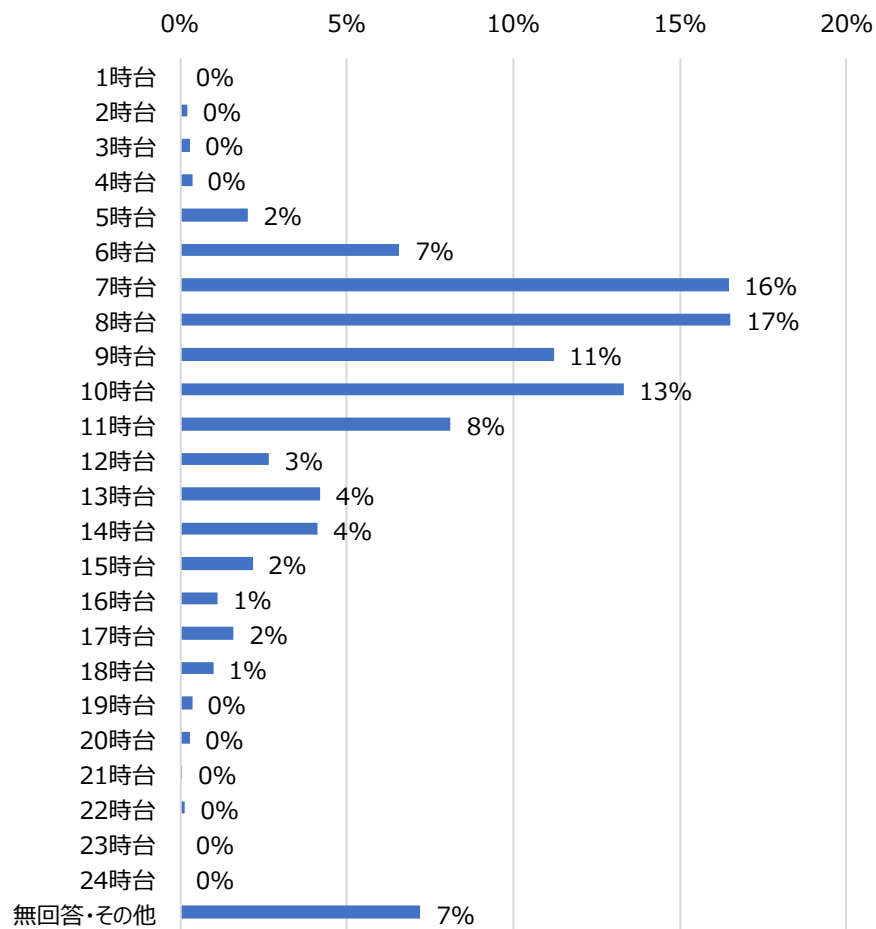


■図表 14 一番よく行く外出先の上位施設

④一番よく行く外出先への外出時間帯

1)行きの時間帯

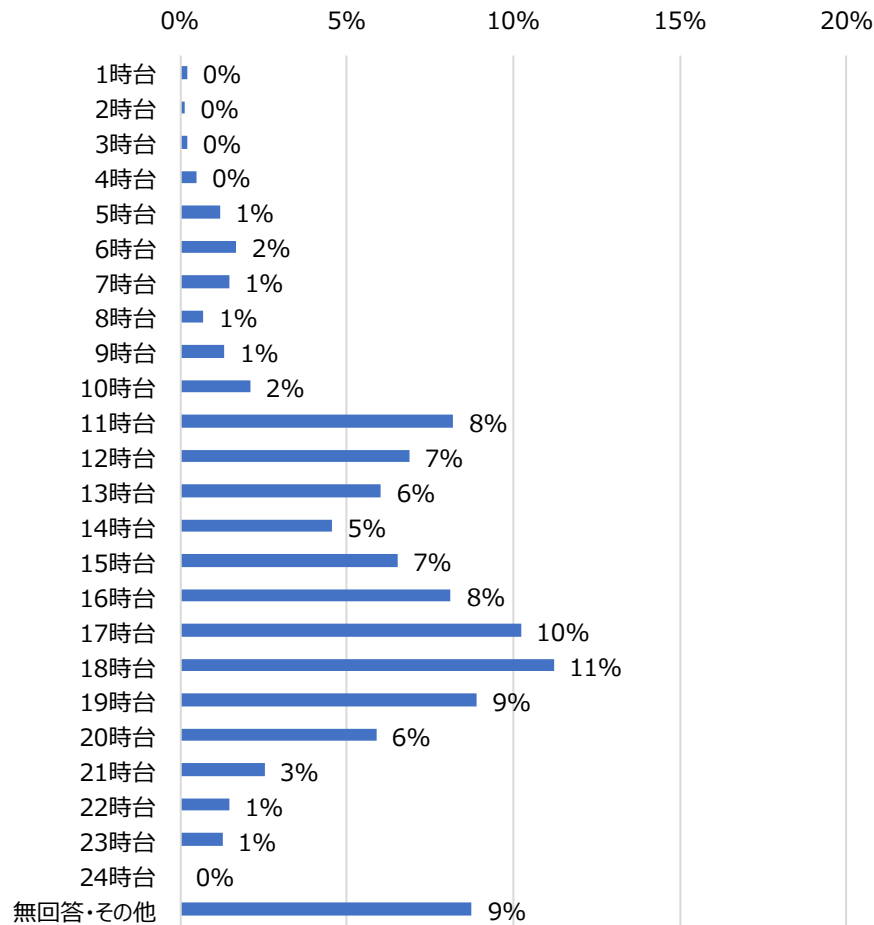
行きについて、7～8 時台がそれぞれ 16%、17%と多く、9～10 時台も多くなっている。



■図表 15 一番よく行く外出先へ行く際の行きの時間帯

2) 帰りの時間帯

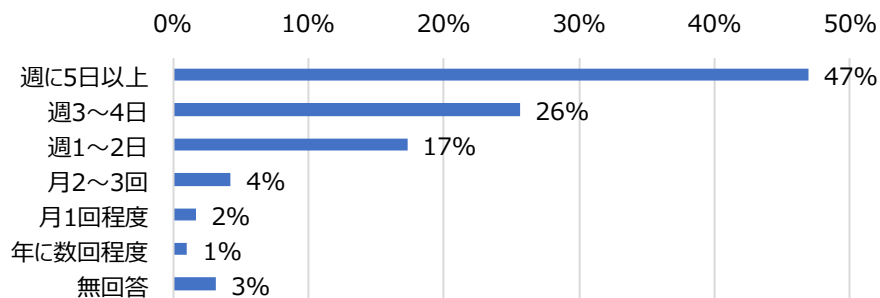
帰りについて、18 時台が 11%と最も多く、夕方 16～19 時台と昼の 11 時台に山がある。



■図表 16 一番よく行く外出先へ行く際の帰りの時間帯

⑤一番よく行く外出先への外出回数

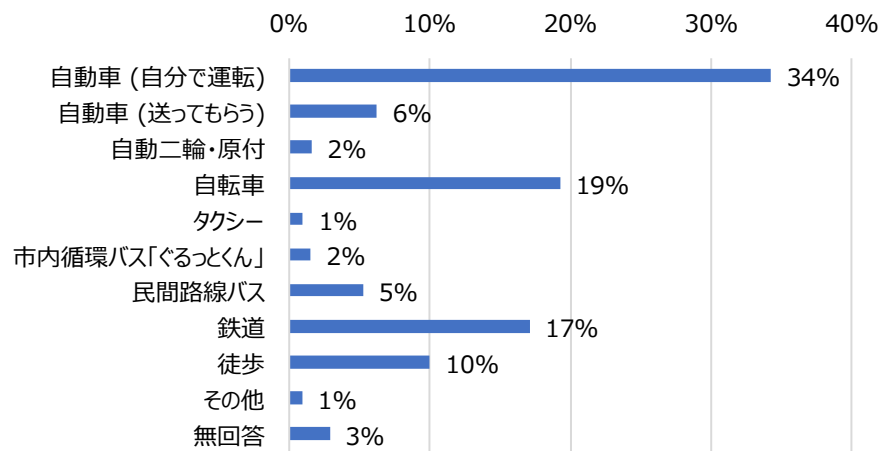
週に 5 日以上が 47%と最も多く、次いで週 3～4 日が 26%と続く。



■図表 17 一番よく行く外出先への外出回数

⑥一番よく行く外出先への主な交通手段

自動車（自分で運転）が 34%と最も多く、次いで自転車が 19%と続く。鉄道は 17%、民間路線バスは 5%、市内循環バス「ぐるっとくん」は 2%と少なくなっている。

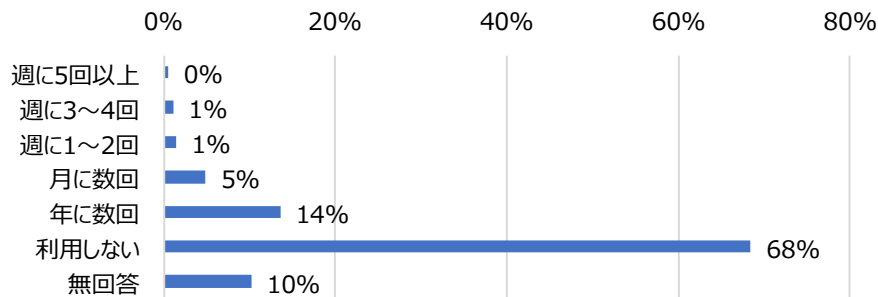


■図表 18 一番よく行く外出先への主な交通手段

(3) 公共交通の利用状況

①市内循環バス「ぐるっとくん」

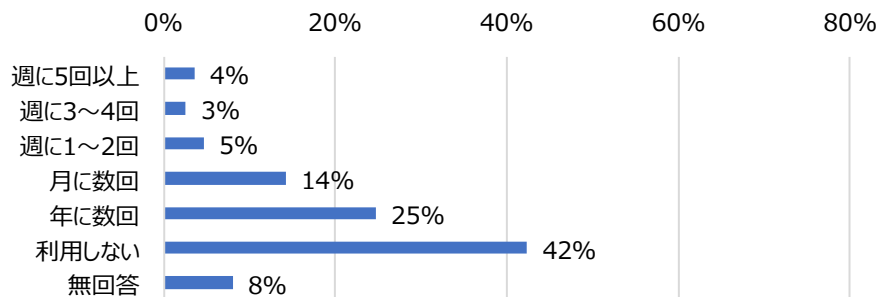
利用しないが 68%と最も多く、次いで年に数回が 14%と続く。



■図表 19 市内循環バス「ぐるっとくん」の利用状況

②民間路線バス

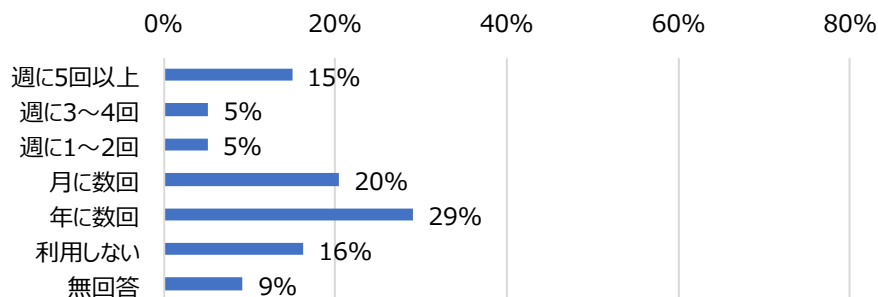
利用しないが 42%と最も多く、次いで年に数回が 25%と続く。



■図表 20 民間路線バスの利用状況

③鉄道

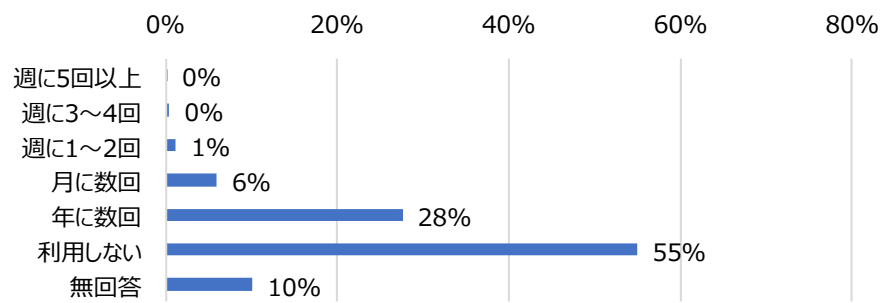
年に数回が 29%と最も多く、次いで月に数回が 20%と続く。



■図表 21 鉄道の利用状況

④タクシー

利用しないが 55%と最も多く、次いで年に数回が 28%と続く。

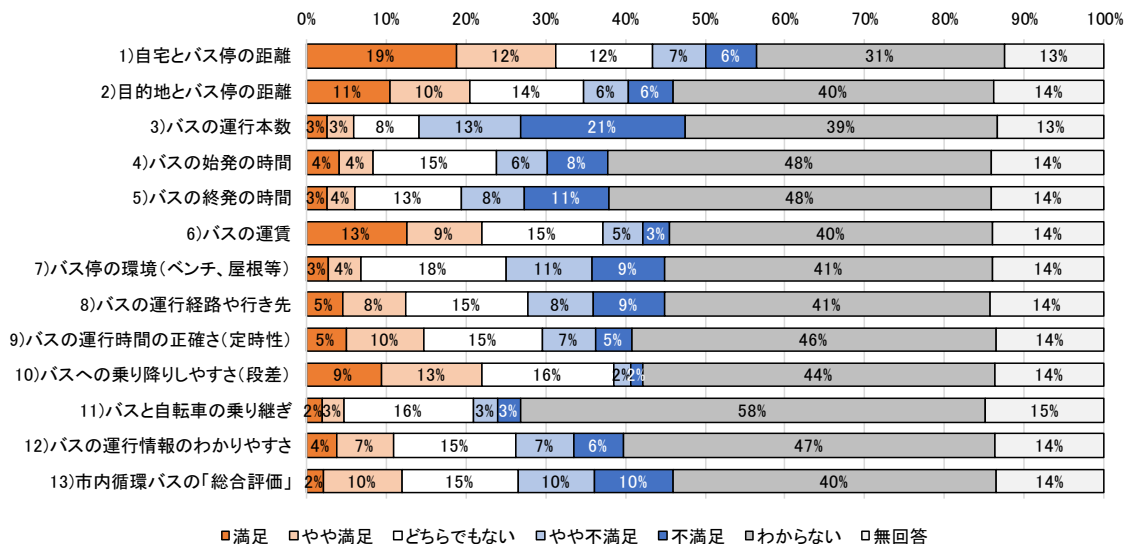


■図表 22 タクシーの利用状況

(4) 上尾市の公共交通の満足度

①市内循環バス「ぐるっとくん」

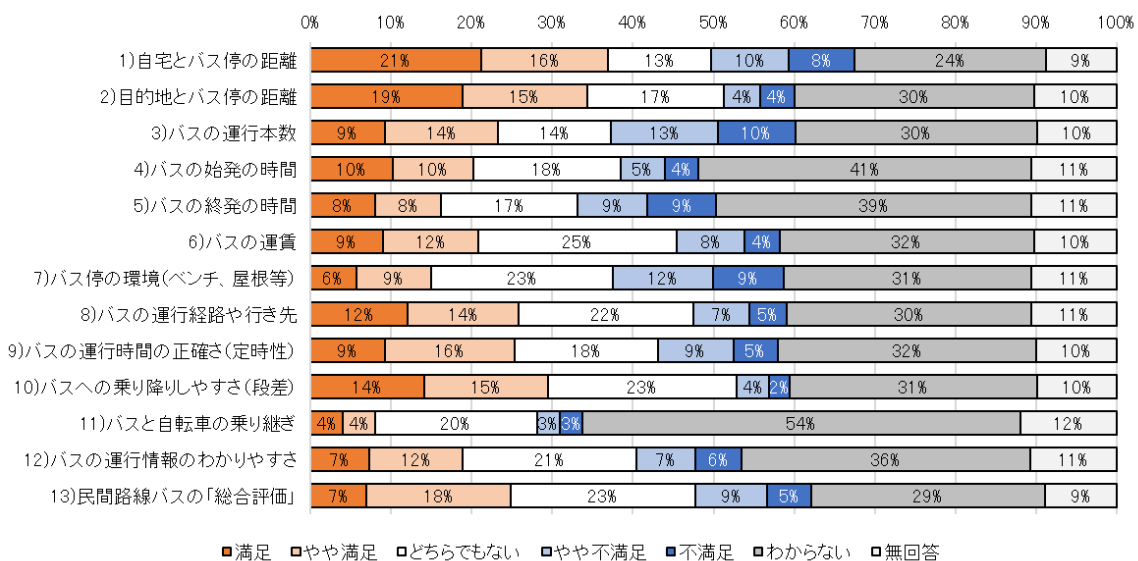
総合評価「満足」「やや満足」と回答した方の合計は 12.0%となっている。どの項目も「満足」「やや満足」は最大 2 割程度で低く、わからないという方は 3～6 割程度いる。項目別では「自宅とバス停の距離」「目的地とバス停の距離」「バスの運賃」「バスの乗り降りのしやすさ」は比較的満足度は高いが、「バスの運行本数」「バス停の環境」は満足度が低くなっている。



■ 図表 23 市内循環バス「ぐるっとくん」の満足度（わからない・無回答含む）

②民間路線バス

総合評価「満足」「やや満足」と回答した方の合計は 24.9%となっている。どの項目も「満足」「やや満足」は最大 4 割程度で低く、わからないという方は 2～5 割程度で、ぐるっとくんよりは満足度が高く、わからないという方が少なくなっている。項目別では「自宅とバス停の距離」「目的地とバス停の距離」は比較的満足度は高いが、「バスの運行本数」「バス停の環境」は満足度が低くなっている。

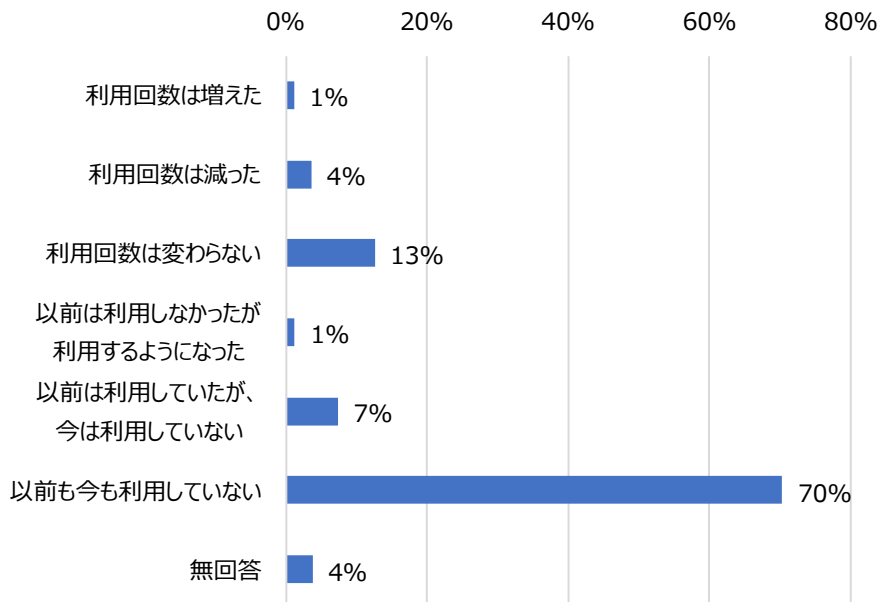


■ 図表 24 民間路線バスの満足度（わからない・無回答含む）

（５）公共交通に関する近年の取り組みについて

①市内循環バス「ぐるっとくん」の令和 7 年 4 月の見直し以降の利用回数の変化

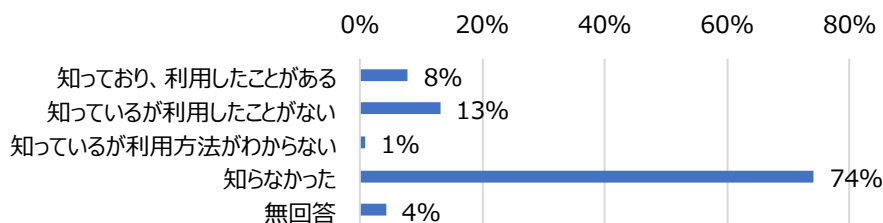
以前も今も利用していないが 70%と最も多く、次いで利用回数は変わらないが 13%と続く。



■図表 25 市内循環バス「ぐるっとくん」の令和 7 年 4 月の見直し以降の利用回数の変化

②市内循環バス「ぐるっとくん」のキャッシュレス決済の認知度

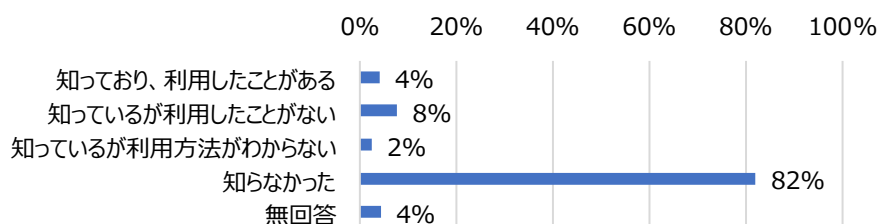
知らなかったが 74%と最も多く、次いで知っているが利用したことがないが 13%と続く。



■図表 26 市内循環バス「ぐるっとくん」のキャッシュレス決済の認知度

③市内循環バス「ぐるっとくん」のバスロケーションシステムの認知度

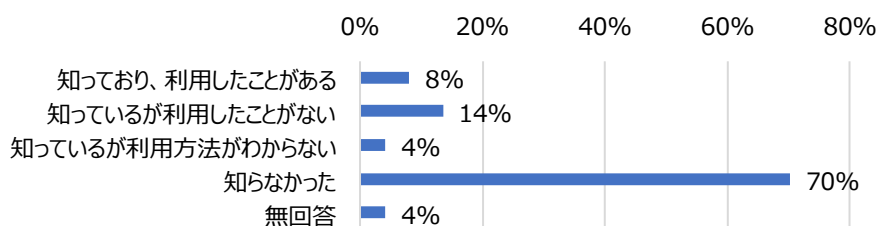
知らなかったが 82%と最も多く、次いで知っているが利用したことがないが 8%と続く。



■図表 27 市内循環バス「ぐるっとくん」のバスロケーションシステムの認知度

④民間路線バスのバスロケーションシステムの認知度

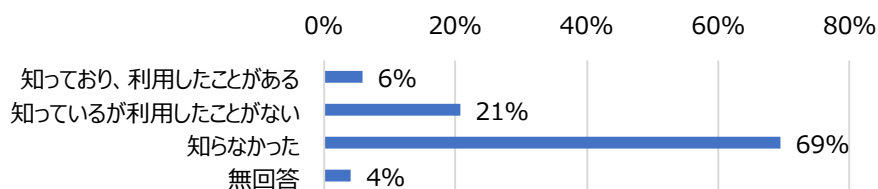
知らなかったが 70%と最も多く、次いで知っているが利用したことがないが 14%と続く。



■図表 28 民間路線バスのバスロケーションシステムの認知度

⑤上尾市公共交通マップの認知度

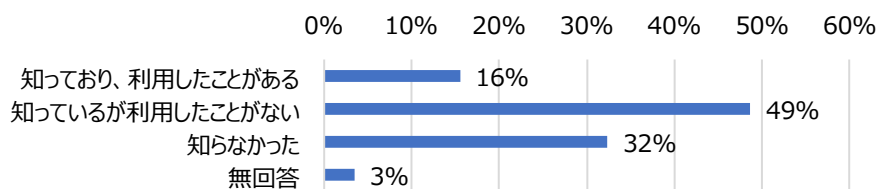
知らなかったが 69%と最も多く、次いで知っているが利用したことがないが 21%と続く。



■図表 29 上尾市公共交通マップの認知度

⑥スマートフォンでタクシーを呼ぶことができる、予約・配車アプリの認知度

知っているが利用したことがないが 49%と最も多く、次いで知らなかったが 32%と続く。

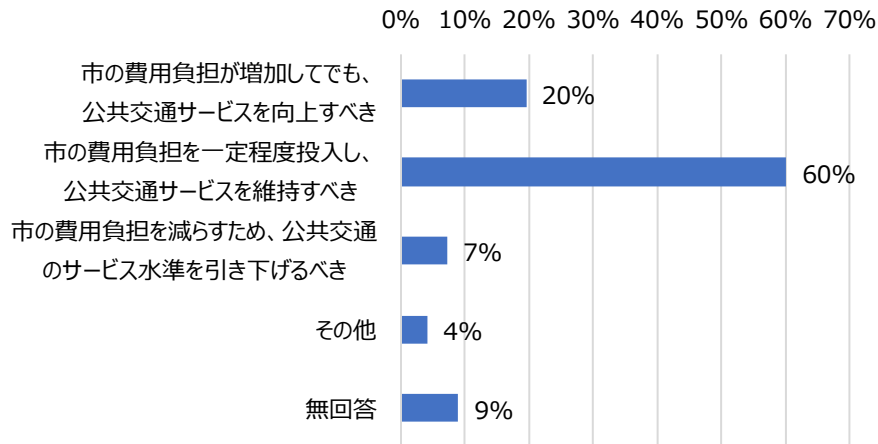


■図表 30 タクシー予約・配車アプリの認知度

（６）上尾市の今後の公共交通のあり方

①上尾市の公共交通に関する費用負担のあり方

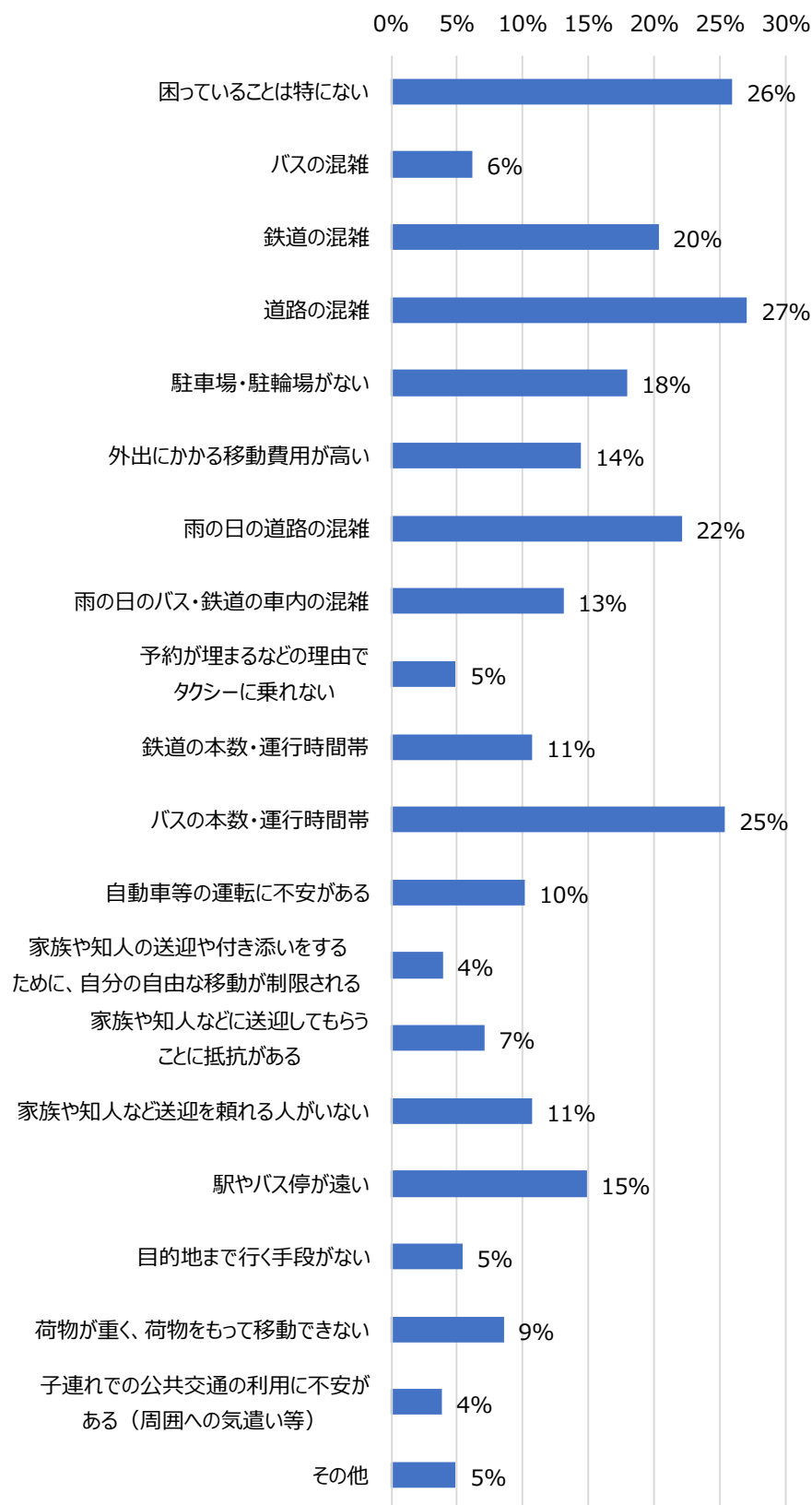
「市の費用負担を一定程度投入し、公共交通サービスを維持すべき」が 60%と最も多く、次いで「市の費用負担が増加してでも、公共交通サービスを向上すべき」が 20%と続き、市が費用負担して公共交通サービスを維持または向上するべきとの回答が合計約 8 割を占める。



■図表 31 上尾市の公共交通に関する費用負担のあり方

②現在の移動に関する困りごと

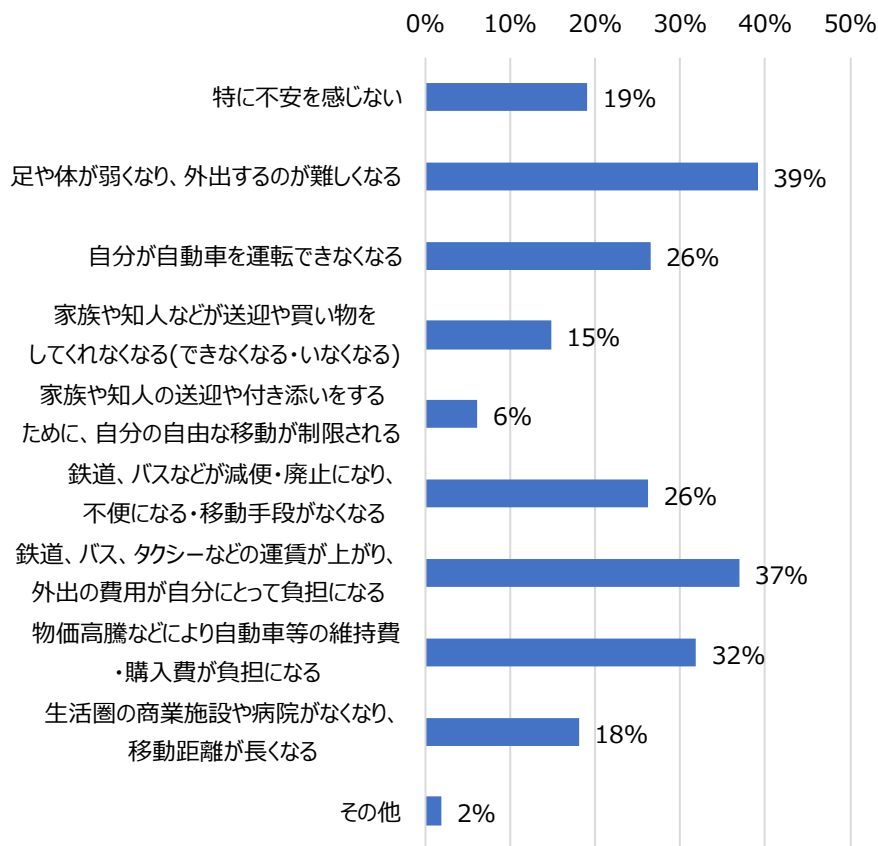
「道路の混雑」が27%と最も多く、次いで「困っていることは特にない」が26%、次いで「バスの本数・運行時間帯」が25%となっている。



■図表 32 現在の移動に関する困りごと

③将来の移動に関する不安

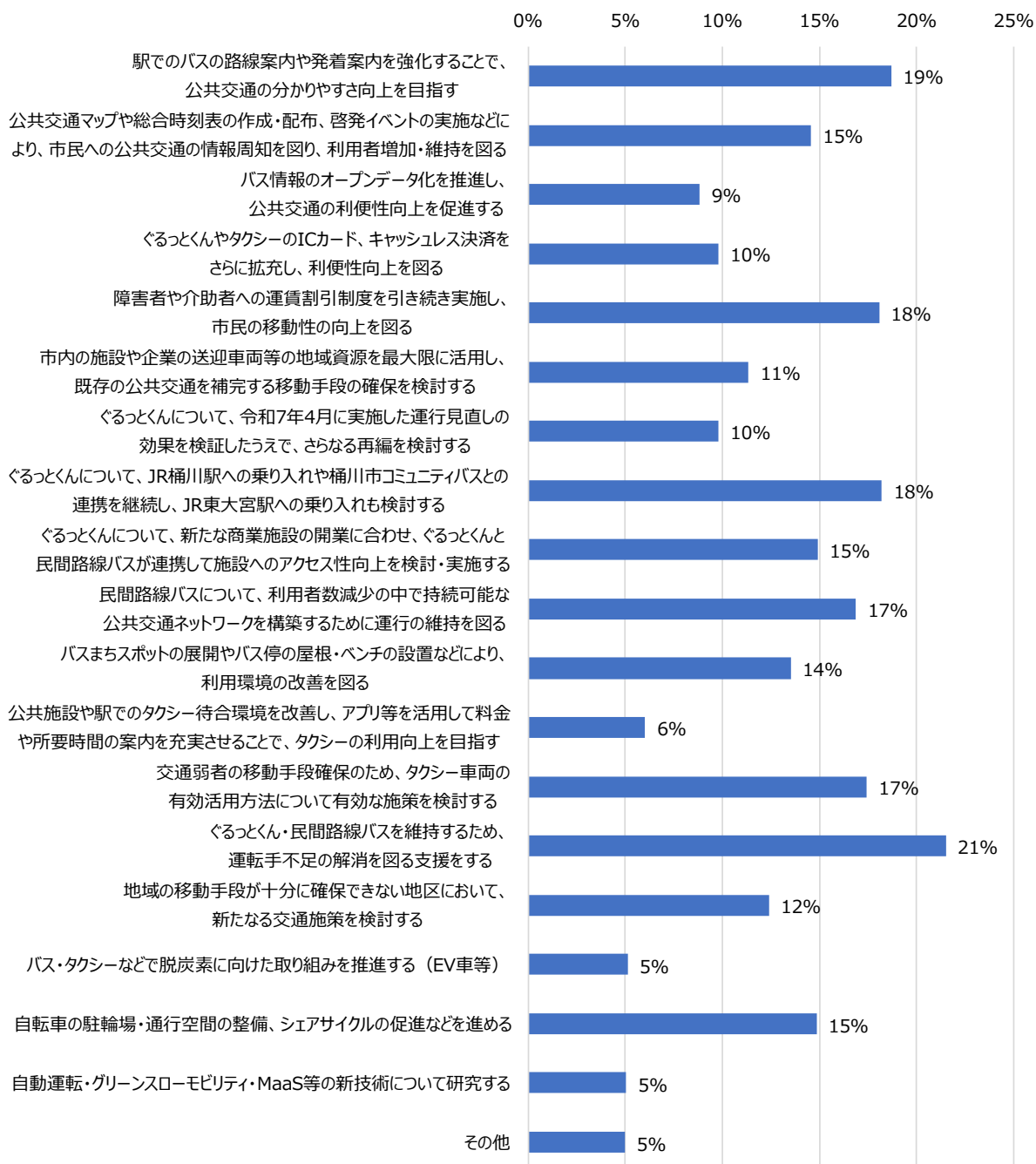
「足や体が弱くなり、外出するのが難しくなる」が 39%と最も多く、次いで「鉄道、バス、タクシーなどの運賃が上がり、外出の費用が自分にとって負担になる」が 37%、次いで「物価高騰などにより自動車等の維持費・購入費が負担になる」が 32%となっている。



■図表 33 将来の移動に関する不安

④今後の交通施策として特に力を入れてほしい、達成してほしいという施策

「ぐるっとくん・民間路線バスを維持するため、運転手不足の解消を図る支援をする」が21%と最も多く、次いで「駅でのバスの路線案内や発着案内を強化することで、公共交通の分かりやすさ向上を目指す」が19%、「障害者や介助者への運賃割引制度を引き続き実施し、市民の移動性の向上を図る」、「ぐるっとくんについて、JR 桶川駅への乗り入れや桶川市コミュニティバスとの連携を継続し、JR 東大宮駅への乗り入れも検討する」が18%となっている。

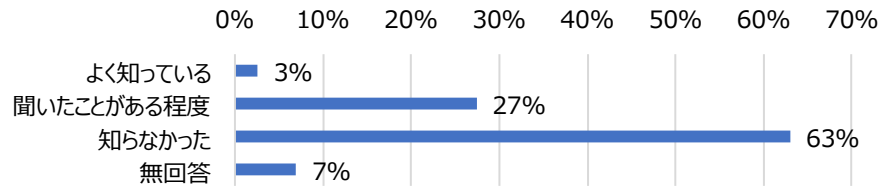


■図表 34 今後の交通施策として特に力を入れてほしい、達成してほしいという施策

(7) タクシーの有効活用について

①オンデマンド交通の認知度

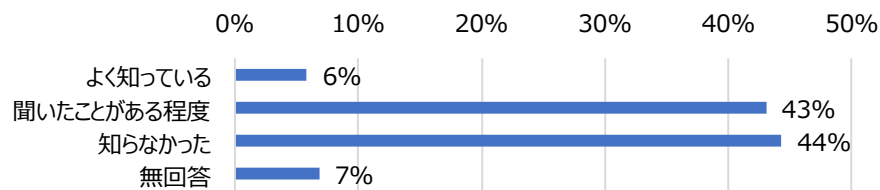
「知らなかった」が63%と最も多く、次いで「聞いたことがある程度」が27%と続く。



■図表 35 オンデマンド交通の認知度

②ライドシェアの認知度

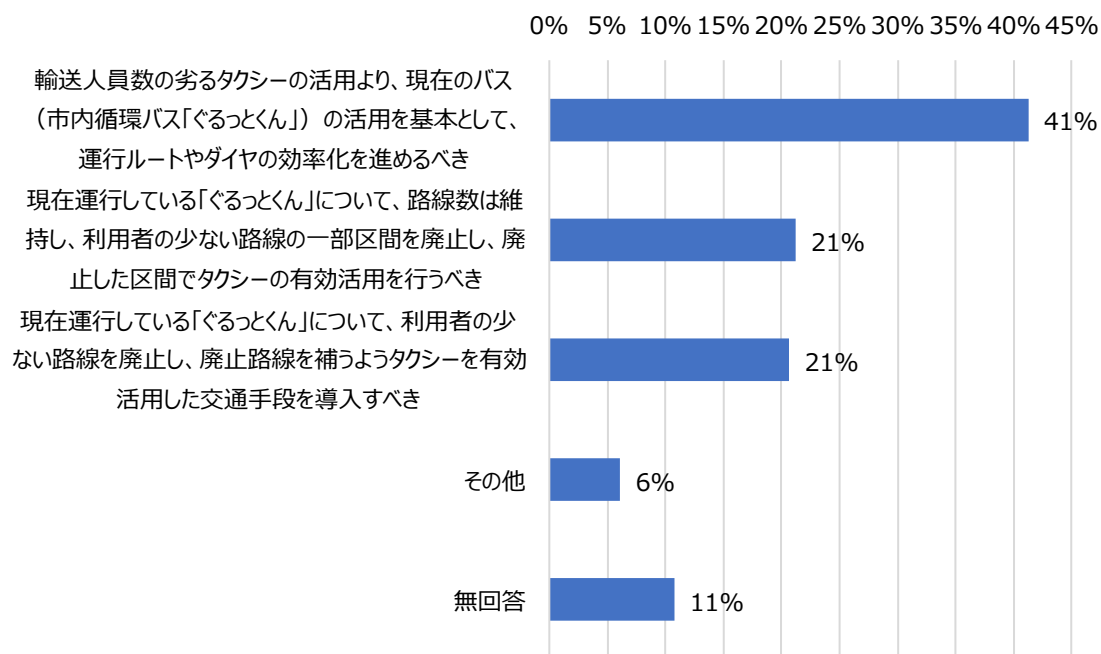
「知らなかった」が44%と最も多く、次いで「聞いたことがある程度」が43%と続く。



■図表 36 ライドシェアの認知度

③上尾市におけるタクシー有効活用に対する考え

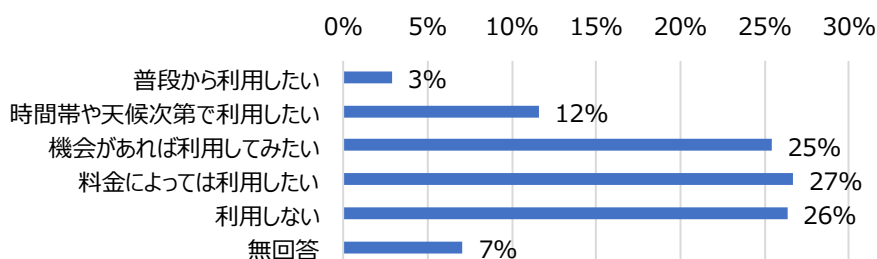
「輸送人員数の劣るタクシーの活用より、現在のバス（市内循環バス「ぐるっとくん」）の活用を基本として、運行ルートやダイヤの効率化を進めるべき」が41%と最も多く、次いで「現在運行している「ぐるっとくん」について、路線数は維持し、利用者の少ない路線の一部区間を廃止し、廃止した区間でタクシーの有効活用を行うべき」、「現在運行している「ぐるっとくん」について、利用者の少ない路線を廃止し、廃止路線を補うようタクシーを有効活用した交通手段を導入すべき」が21%と続く。



■図表 37 上尾市におけるタクシー有効活用に対する考え

④タクシーを有効活用した交通サービスの利用意向

料金によっては利用したいが27%と最も多く、次いで利用しないが26%と続く。



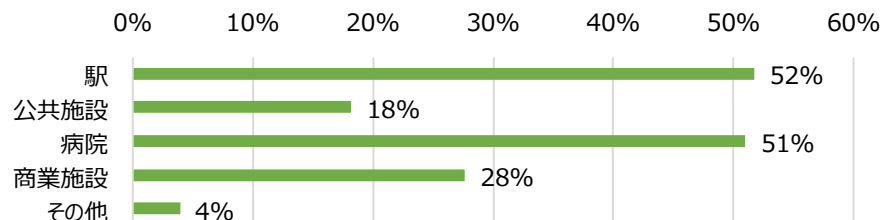
■図表 38 タクシーを有効活用した交通サービスの利用意向

⑤タクシーを有効活用した交通サービスを利用したい方のご意見

前問で利用しない、無回答を除く、利用したいと答えた 951 名に関して、タクシーを有効活用した交通サービスに関する意見を伺った。下記、951 名を 100%として整理する。

1)行きたい場所

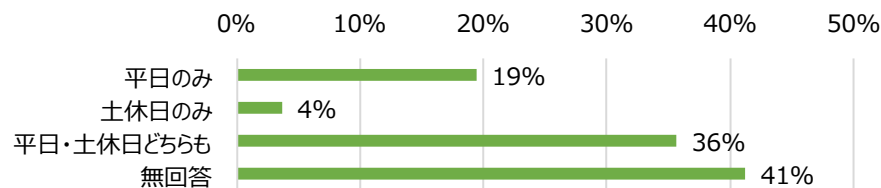
駅が 52%と最も多く、次いで病院が 51%と続く。



■図表 39 タクシーを有効活用した交通サービスで行きたい場所

2)利用したい曜日

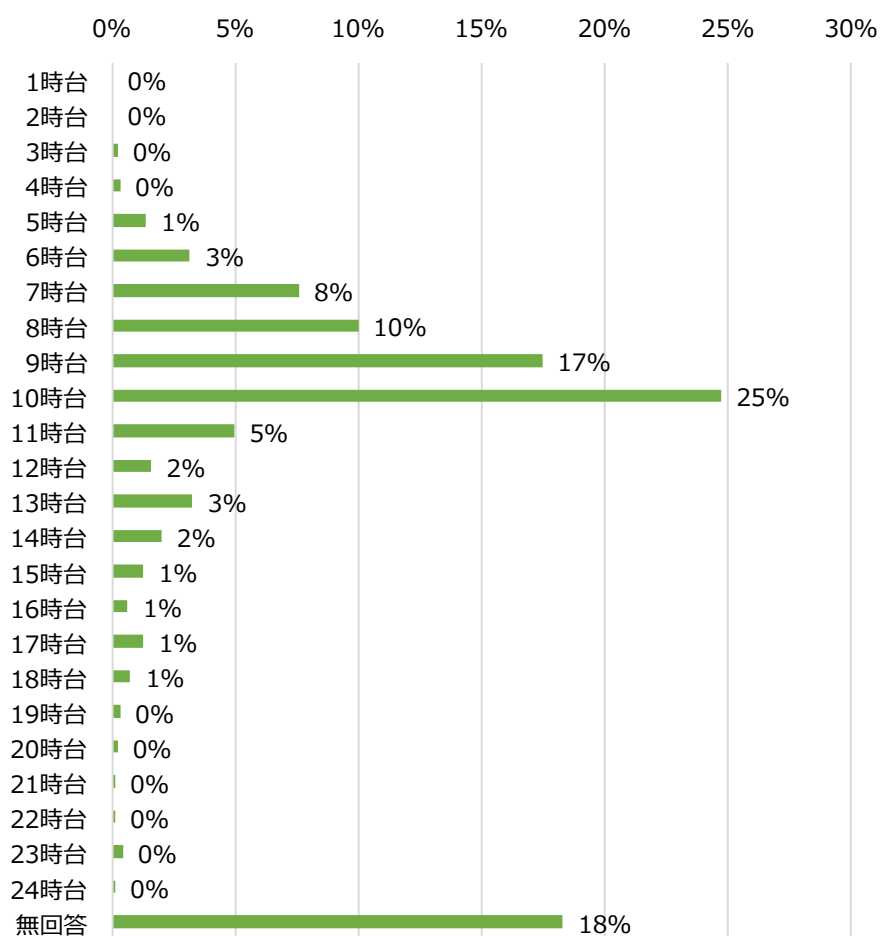
「平日・土休日どちらも」が 36%と最も多く、次いで「平日のみ」が 19%と続く。



■図表 40 タクシーを有効活用した交通サービスを利用したい曜日

3)利用したい方の、行きの時間帯

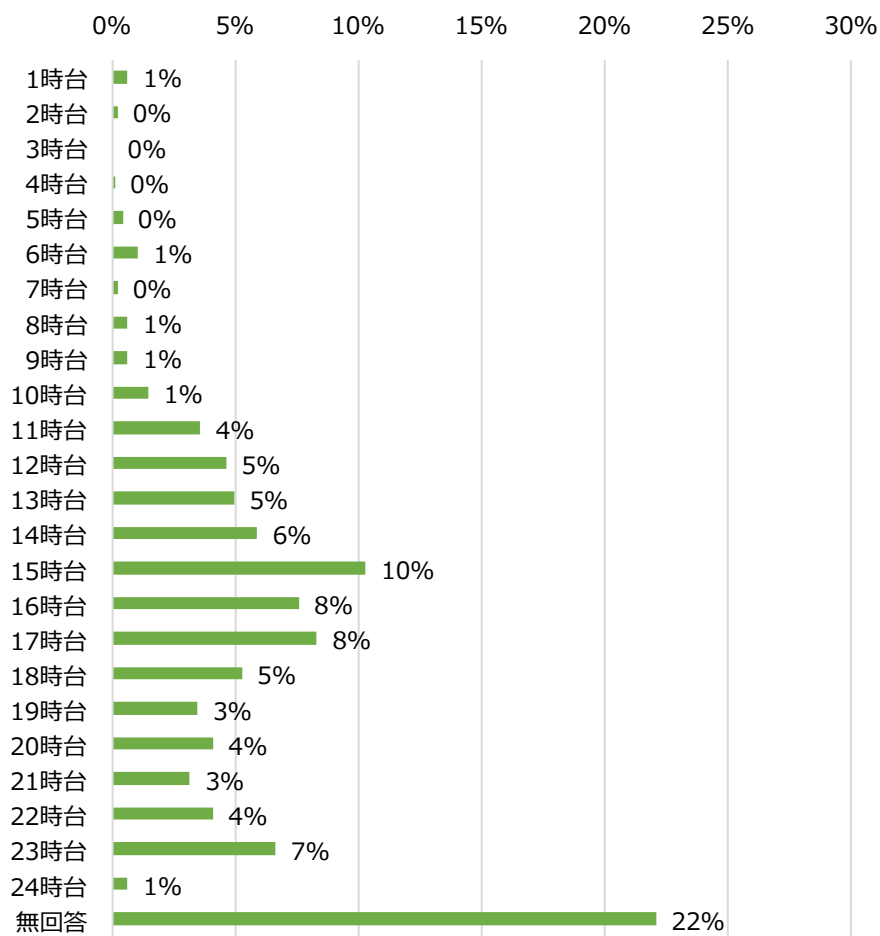
行きについて、7～10 時頃に回答が集中しており、10 時台が 25%と最も多く、次いで 9 時台が 17%と続く。



■図表 41 タクシーを有効活用した交通サービスを利用したい時間帯

4)利用したい方の、帰りの時間帯

帰りについて、午後が多いが回答に偏りはなく、15 時台が 10%と最も多く、次いで 17 時台が 8%と続く。



■図表 42 タクシーを有効活用した交通サービスを利用したい時間帯

（８）公共交通に関する自由意見のまとめ

●バス（市内循環バス・民間路線バス）に関する意見

- ・「ぐるっとくん」は本数が少なく、ルートが迂回的で目的地までの所要時間が長いため、利用しづらいとの意見が多数ある。
- ・JR 東大宮駅や桶川駅など、生活圏に合わせて市外駅への乗り入れや接続強化について、特に原市地区や市境地域の住民から多くある。
- ・民間路線バスの減便に対する懸念や、通勤・通学時の満員による通過、日中の便数不足に対する不満が見られる。
- ・バス停までの距離が遠く、高齢者にとって利用しづらいとの声がある。
- ・キャッシュレス決済（バーコード決済等）の読み取りにくさや、交通系 IC カードへの対応要望など、決済システムの改善が求められている。
- ・路線図や時刻表が分かりにくく、インターネットでの検索性も低いため、情報の周知とオープンデータ化が必要との意見がある。

●タクシー、ライドシェア等に関する意見

- ・タクシーは運賃が高く、年金生活者や頻繁に通院が必要な高齢者にとって日常的な利用は困難であり、助成制度を求める声がある。
- ・早朝・深夜や雨天時、また東大宮駅周辺などでタクシーがつかまらない、予約ができないといった声がある。
- ・バス路線の維持が困難な地域や時間帯において、オンデマンド交通やライドシェアの導入を前向きに検討すべきとの意見がある。
- ・一方で、ライドシェア等の導入に際しては、外国人ドライバーを含む運転手の質や安全性、事故時の責任所在に対する懸念の声がある。

●道路環境・自転車・歩行者に関する意見

- ・上尾駅周辺や国道 17 号の慢性的な渋滞がバスの定時運行を妨げており、一般車の送迎スペースが不足しているとの声がある。
- ・自転車専用レーンが未整備で狭く、車道走行に危険を感じるため、インフラ整備とルールの周知徹底が必要であるとの声がある。
- ・駅周辺の駐輪場の不足や料金への不満、放置自転車対策と利便性のバランスを求める声がある。

●将来の移動手段と地域間格差に関する意見

- ・現在は自家用車で移動しているが、将来の免許返納後に「買い物難民」や「通院困難」になることへの不安の声が多くある。
- ・高齢者が孤立せず自立した生活を送るために、行政による移動手段の確保（ドア・ツー・ドアの支援等）が不可欠であるとの声がある。
- ・同じ市内であっても、居住地区によって利用できる交通手段の選択肢が著しく異なり、是正を求める声がある。

利用者アンケート結果について

1 調査概要

市内循環バス「ぐるっとくん」を実際に利用している乗客に対し、アンケート調査を実施し、利用者属性、利用状況、満足度のほか、令和7年4月1日に実施した運行見直し（路線再編・運賃改定）に伴う利用状況の変化、今後の運行見直しに向けた要望等の調査を行った。調査概要と調査内容は以下の通りである。

（１）調査日時

調査日は以下の通り。平日、休日各1日とし、いずれも始発から終発まで調査対象とした。

- ・平日：令和8年（2026年）1月28日（水）
- ・休日：令和8年（2026年）2月1日（日）

（２）対象路線

上尾市市内循環バス「ぐるっとくん」の全路線とした。

（３）調査方法

調査方法は以下の通りである。

平日：全便に調査員が1名乗り込み、利用者に調査票を配布

休日：上尾駅及び北上尾駅において調査員がバス停付近に待機し、乗降客に調査票を配布

（４）調査票回収方法

回収方法は郵送・WEBの併用とした。利用者には調査票を封入した返信用封筒を配布し、回答後、封入して返信用封筒を投函する方式とした。なお、料金受取人払いとし、返送料に関する回答者負担は発生しなかった。また、調査票に記載の二次元バーコードからのWEB回答も可能とした。

（５）調査内容

調査票は以下の通り、A4で表裏の構成とし、WEB回答フォーム併用とした。

WEB回答フォームは調査票右上の二次元バーコードから接続可能とした。

(6) 調査票

【表面】

市内循環バス「ぐるっとくん」利用者アンケート		表面
いつもご利用ありがとうございます。 市内循環バス「ぐるっとくん」の利便性向上の検討に向け、ご利用の皆様のご意見をお聞かせください。		WEB 回答も可能です。 二次元バーコードを 読み取りください。  https://form.guide/MG3RoadBusPDF07
設問1 ご自身のことについてお伺いします。		
問1-1 ご自身のお住まい、年代、職業、よく利用する鉄道駅をお答えください。		
お住まい	市内 市内の方は右の欄に町丁目を記入してください。番地以降は不要です。 右の欄のいずれかの団地にお住まいの方は、○印を付けてください。 市外 市外にお住まいの方は右の欄のいずれかに○印を付けてください。	上尾市 (記入例) 上尾市本町3丁目 1. 原市団地 2. 尾山台団地 3. 西上尾第一団地 4. 西上尾第二団地 5. さいたま市 2. 桶川市 3. その他埼玉県内 4. 県外
年代	1. 14歳以下 2. 15～17歳 3. 18～29歳 4. 30～39歳 5. 40～49歳 6. 50～59歳 7. 60～64歳 8. 65～69歳 9. 70～74歳 10. 75歳以上	
職業	1. 児童・生徒・学生 2. 会社員・公務員・団体職員 3. 自営業 4. 農漁 5. パート・アルバイト 6. 専業主婦・主夫 7. 無職 8. その他	
よく利用 する駅 (3つまで)	※鉄道を利用する方は、最も利用する駅と次によく利用する駅をそれぞれ番号でご記入ください(最も利用する駅のみも可)。「7. その他」の方は具体的な駅をご記入ください。 最も利用する駅()。次によく利用する駅() 1. 上尾駅 2. 北上尾駅 3. 東大宮駅 4. 原市駅 5. 沼南駅 6. 桶川駅 7. その他(具体的な駅を記入)	
設問2 市内循環バス「ぐるっとくん」の利用状況についてお伺いします。		
問2-1 市内循環バス「ぐるっとくん」の路線について、最もよく利用する路線と次によく利用する路線を、次の選択肢からそれぞれ番号でご記入ください(最もよく利用する路線のみでも可)。		
最もよく利用する路線()。次によく利用する路線() 1. 大石桶川線 2. 大石篠家北上尾線 3. 平方丸山公園線 4. 平方小敷谷循環 5. 大谷循環 6. 上平筑の木循環 7. 上平菅谷北上尾線 8. 原市早塚循環 9. 原市瓦葺線		
問2-2 問2-1でお答えいただいた路線のうち、最もよく利用する路線について、利用目的や利用区間などの利用状況をお答えください。		
利用目的(当てはまる選 択肢全てに○)	1. 通学 2. 通勤 3. 買い物 4. 通院 5. その他の私用	
利用区間	乗車停留所: () 降車停留所: ()	
利用日数 (1つに○)	1. 週に5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月2～3回 5. 月1回程度 6. 年に数回程度	
利用時間帯	行きは(午前・午後 時台) 帰りは(午前・午後 時台)	
主な目的地	施設名: (記入例) 上尾市役所 又は住所: (記入例) 上尾市本町3丁目	
支払い方法(当てはまる 選択肢全てに○)	1. 現金 2. 回数券 3. 交通系ICカード 4. CR決済 5. 無料	
問2-3 市内循環バス「ぐるっとくん」を利用する際に、他の移動手段との乗り継ぎはありますか。 当てはまる選択肢全てに○をつけてください。		
1. 鉄道(JR、ニューシャトル) 2. 民間路線バス(東武バス・朝日バス・けんちゃんバス) 3. 市内循環バス「ぐるっとくん」の他路線 4. 桶川市のコミュニティバス「べにばな80」 5. 他の交通手段への乗り継ぎはしない 6. その他()		
→裏面に続きます		

●市内循環バス「ぐるっとくん」について

市内循環バス「ぐるっとくん」は、お買い物や通院、また通勤・通学など市民の移動を支えるため、民間路線バスを補完するものとして、上尾駅を中心に市内を広範囲にわたり運行しています。

その中で、令和7年4月に運行見直し（路線の再編・運賃見直し）を実施しました。

市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直し後の利用状況を踏まえ、今後の利便性向上の取り組みについて、以降の設問への回答にご協力ください。

設問3 市内循環バス「ぐるっとくん」の運行見直しについてお伺いします。

問3-1 令和7年4月に実施した運行見直しについてお答えください。

運行見直し前後での利用頻度の変化	1. 増えた 2. 変わらない 3. 減った 4. 運行見直し後に初めて利用するようになった
運行見直し後、便利になったか	1. 便利になった 2. 変わらない 3. 不便になった
便利になったと感じる点 (当てはまる選択肢全てに○)	1. 便数の増加 2. ルートの変更 3. 上尾駅の乗り場の変更 4. 支払い方法の追加 5. その他 ()
不便になったと感じる点 (自由記述)	

問3-2 今後、市内循環バス「ぐるっとくん」をより利用しやすくするための取り組みについて、以下の取り組みの中から必要と思うものについて、当てはまる選択肢全てに○をつけてください。
具体的な内容があれば、選んだ選択肢の横に内容をご記入ください。

1. 今のままでよい	
2. バス停の新設（具体的な地域・目的地等）	（内容： ）
3. ルートの変更（具体的な区間等）	（内容： ）
4. 所要時間の短縮（具体的な区間等）	（内容： ）
5. 運行便数の増加（具体的な区間・時間帯等）	（内容： ）
6. 支払い方法の追加（具体的な方法等）	（内容： ）
7. バス停やHP等での情報案内の強化	（内容： ）
8. その他	（内容： ）

問3-3 ぐるっとくんの良いところやその他ご意見があればご記入ください。（自由記述）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

※WEB でご回答いただくか、回答した調査票を返信用封筒に入れてポストに投函ください。

（どちらかの方法でご回答ください。ポストに投函いただく場合、切手は不要です）。

※回答及びポストへの投函は、誠に恐れ入りますが、2月16日（月）までにお願います。

【本アンケートに関するお問い合わせ】

実 施 者：上尾市役所市民生活部交通防犯課 交通防犯担当 TEL：048-775-5138（直通）

調査受託者：八千代エンジニアリング株式会社 道路・交通部 TEL：03-5822-6023（直通）

(7) 配布回収状況

平休合計で 990 票を配布し、回収は 416 票、回収率は 42%であった。また、回収数に対する WEB 回答率は 18.8%であった。利用者に対する配布率として、平日は 67%、休日は 51%の方に配布した。

■図表 1 アンケートの配布状況・回収率

□平日（2026/1/28（水））バス事業者別配布状況

バス事業者	配布数	配布率
丸建つばさ交通	343	64%
協同バス	278	68%
東武バス	144	76%
合計	765	67%

□休日（2026/2/1（日））駅別配布状況

駅	乗り場	配布数	配布率
上尾駅東口	⑤	44	83%
	⑥	15	60%
上尾駅西口	⑤	69	57%
	⑦	79	43%
小計		207	54%
北上尾駅	東口	8	22%
	西口	10	48%
小計		18	31%
合計		225	51%

□合計配布数

平日（1/28）	765
休日（2/1）	225
合計	990

□回収数・回収率

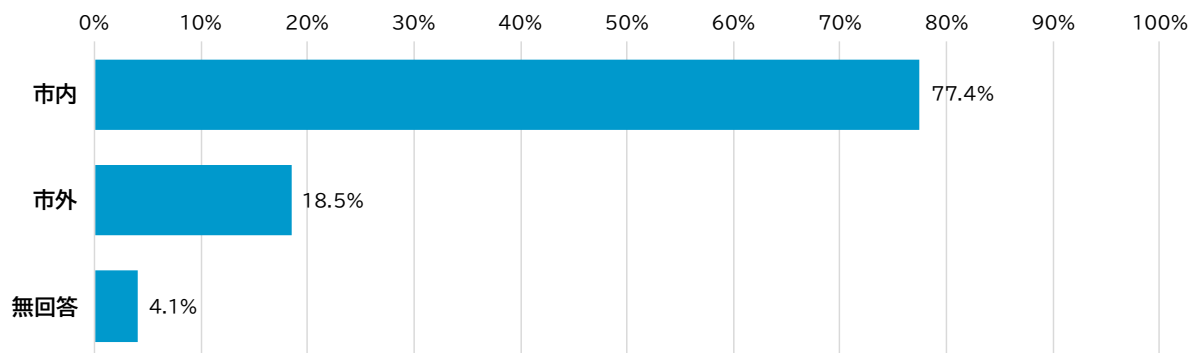
回収数	416
うちWEB回収数	78
回収率	42.0%
WEB回答率	18.8%

2 集計結果

(1) 回答者の属性

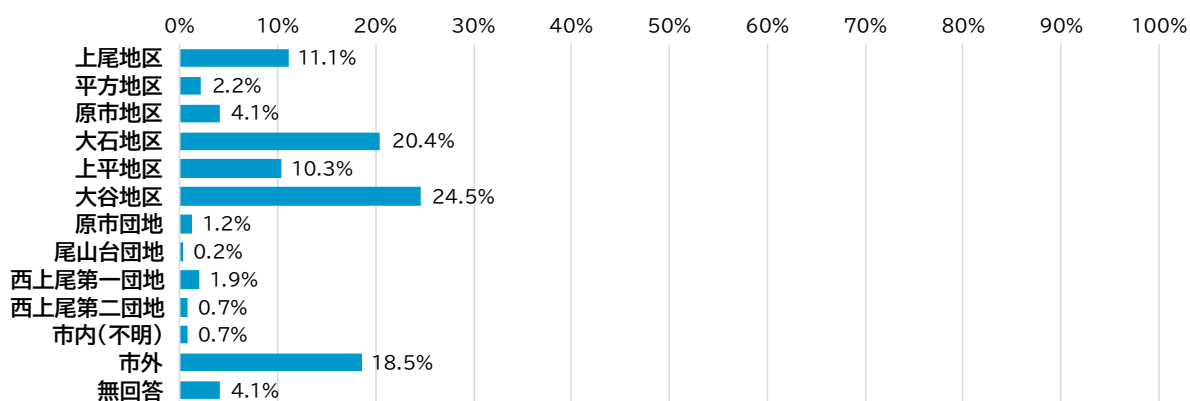
①居住地

回答者の8割程度が市内の方、2割程度が市外の方となっている。

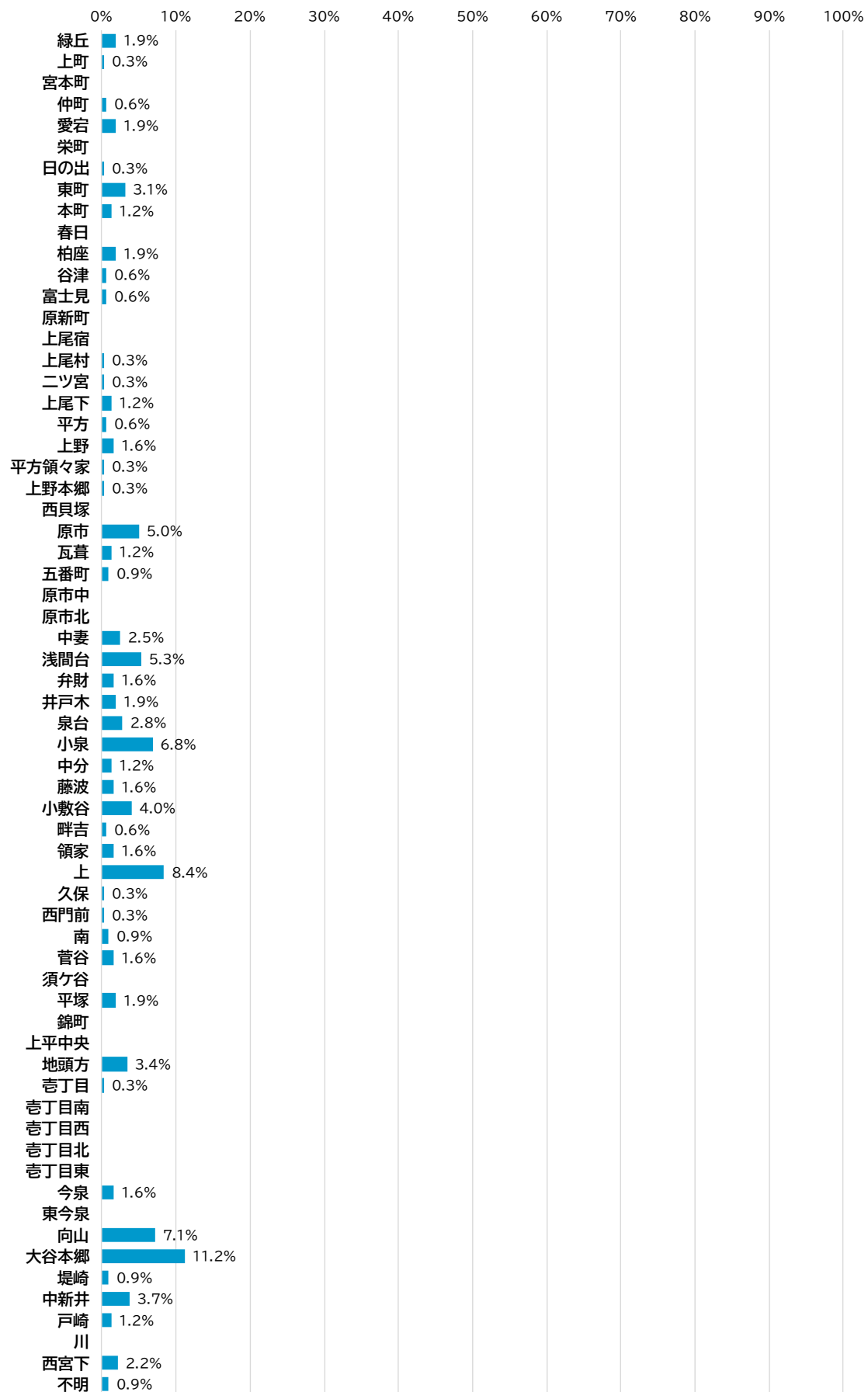


■図表 2 回答者の居住地

居住地は以下の通りで、大谷地区が24.5%、大石地区が20.4%と多くなっている。

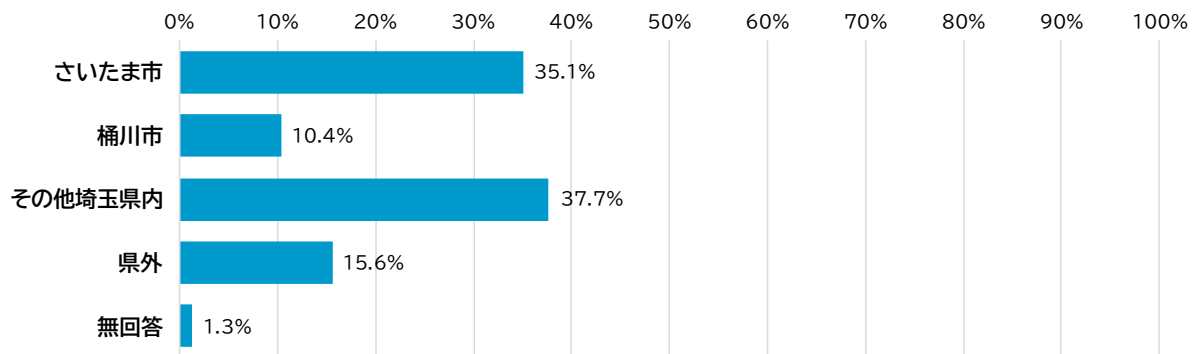


■図表 3 市内在住の方の居住地区



■図表 4 市内在住の方が居住する町字

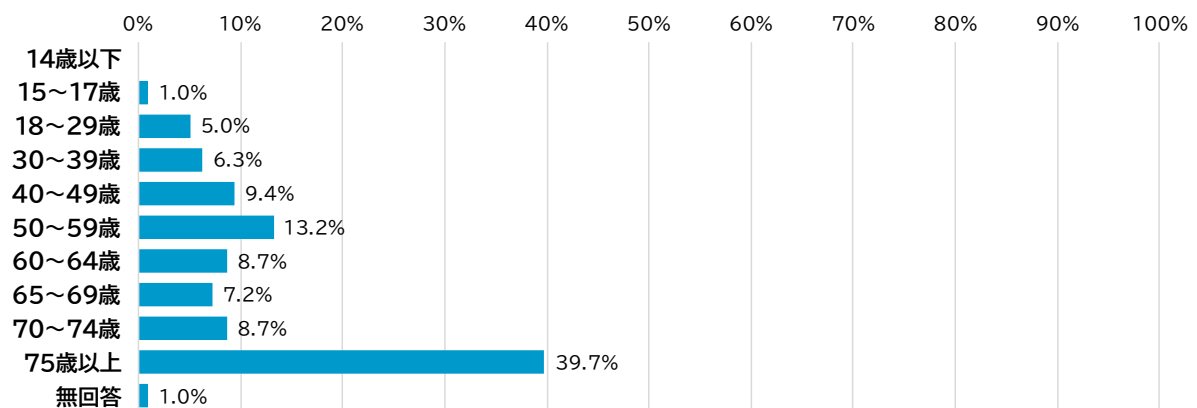
市外在住の方の居住地は、埼玉県内が約 8 割を占め、そのうちさいたま市が 35%と多くなっている。



■図表 5 市外在住の方の居住地

②年代

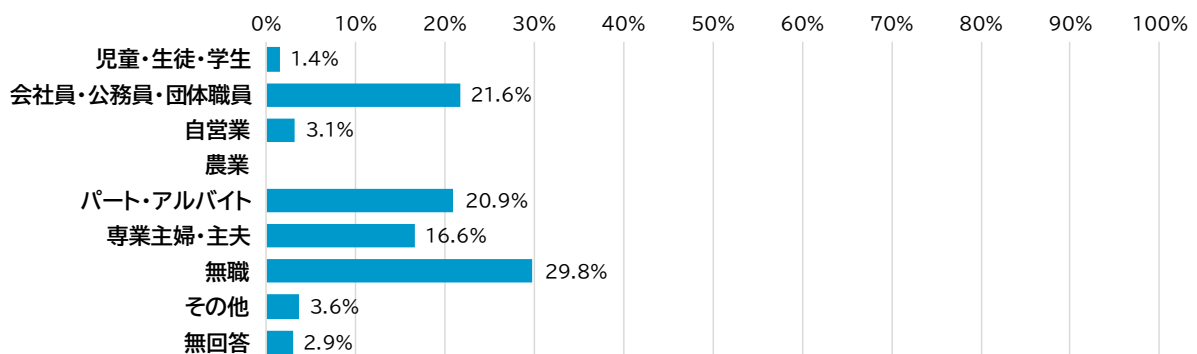
回答者の過半数が 65 歳以上の高齢者となっており、特に、75 歳以上の比率が高い。



■図表 6 回答者の年代

③職業

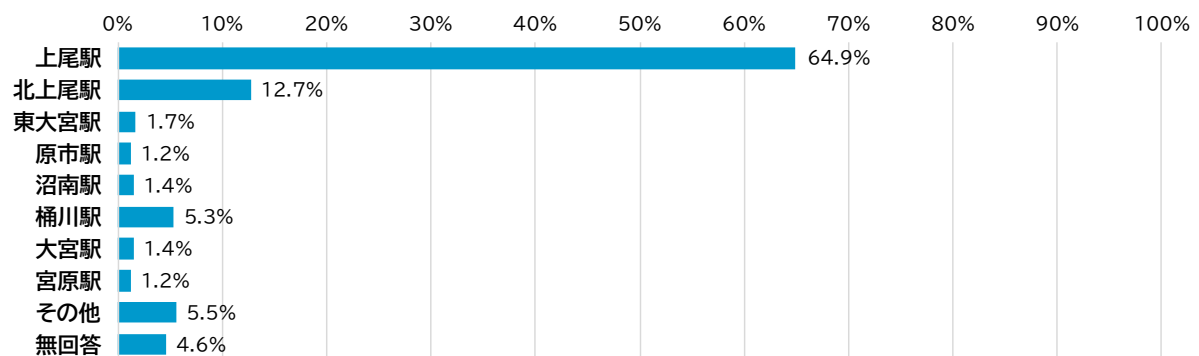
無職、会社員・公務員・団体職員、パート・アルバイト、専業主婦・主夫の方の順に多くなっている。自営業や学生は少数となっている。



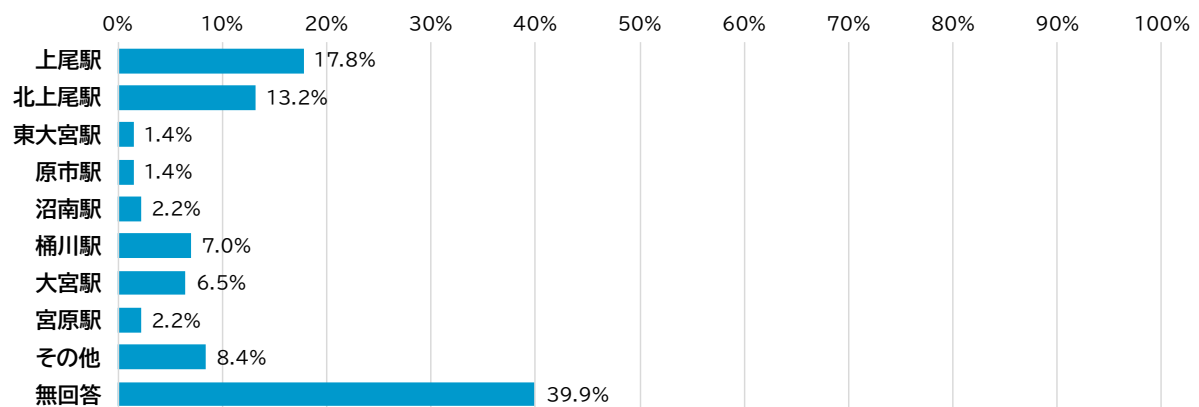
■図表 7 回答者の職業

④主な利用駅

最もよく利用する鉄道駅は上尾駅が約6割と最も多く、次いで北上尾駅が多くなっている。



■図表 8 回答者が最もよく利用する鉄道駅

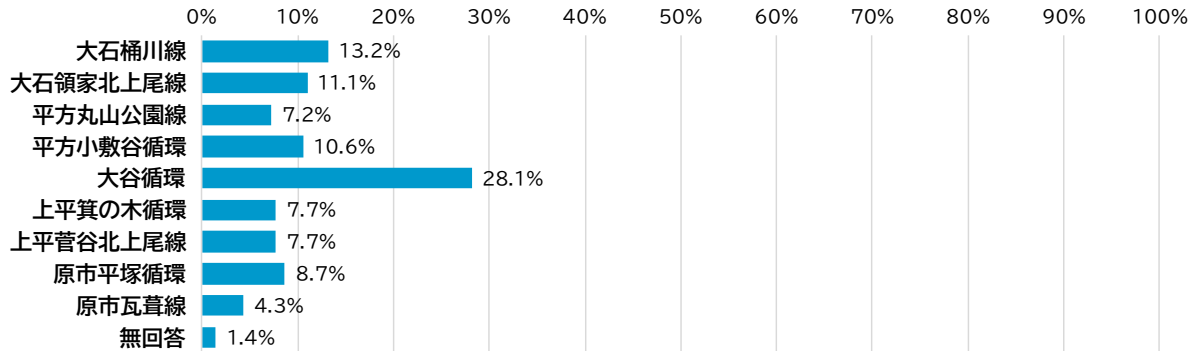


■図表 9 回答者が2番目によく利用する鉄道駅

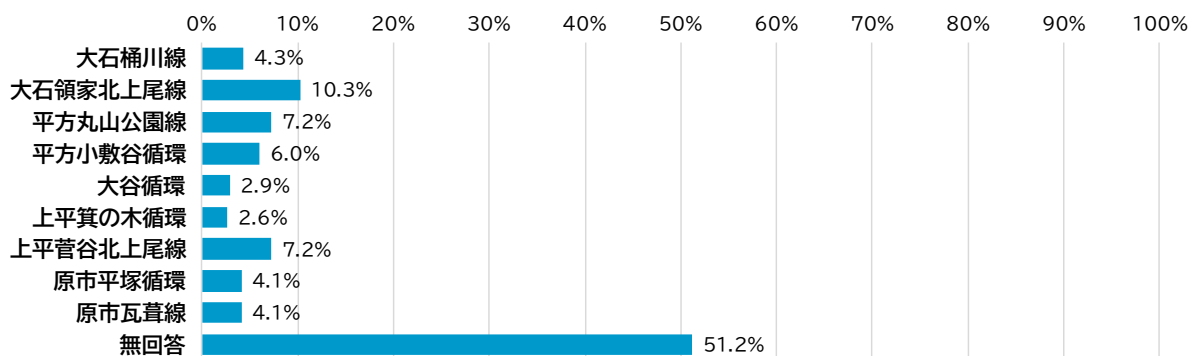
(2) ぐるっとくんの利用状況

①主な利用路線

大谷循環を最もよく利用するという方が3割近くで最も多く、他の路線を利用する方はそれぞれ約1割前後となっている。



■図表 10 回答者が最もよく利用するぐるっとくんの路線

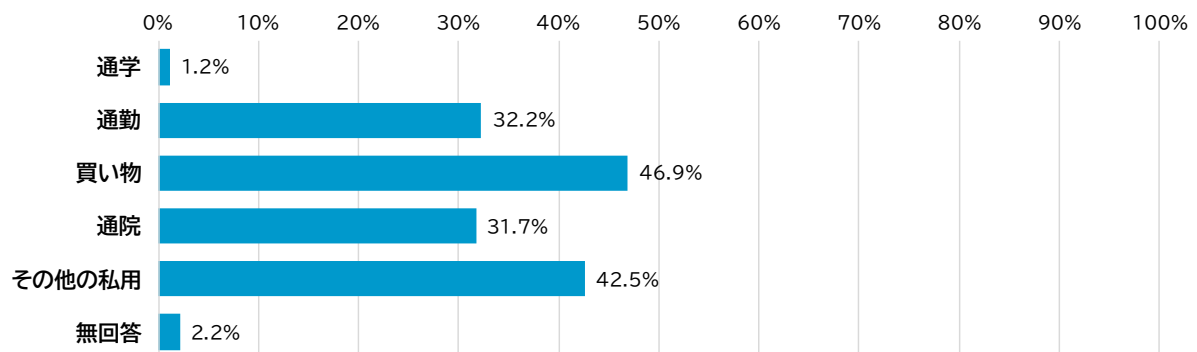


■図表 11 回答者が2番目によく利用するぐるっとくんの路線

以降、最もよく利用する路線についての利用状況についての回答となっている。

②利用目的

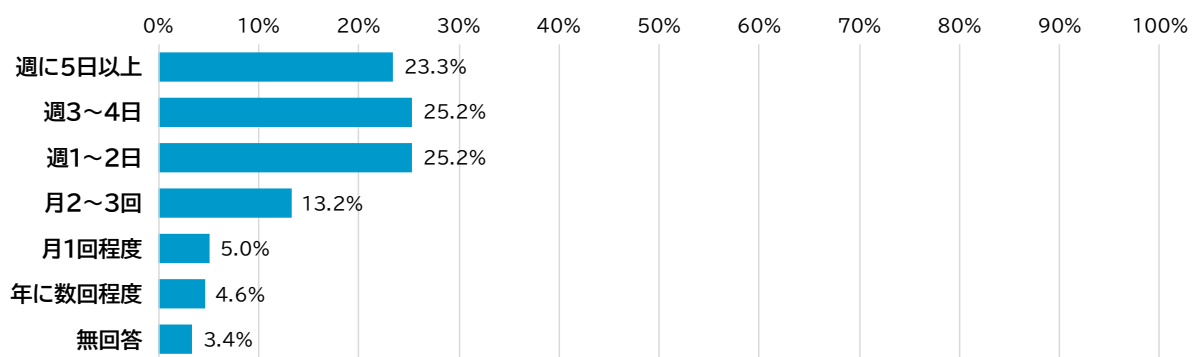
ぐるっとくんの利用目的は、買い物、その他の私用、通勤、通院の順に多くなっており、通学での利用は少ない。



■図表 12 ぐるっとくんの利用目的（複数回答）

③利用頻度

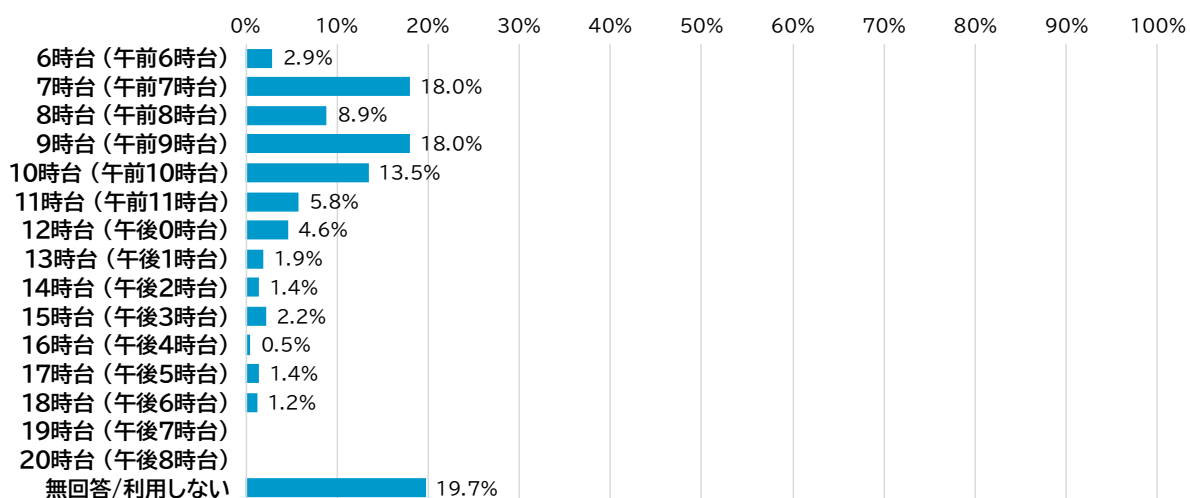
週に5日以上、週3～4日、週1～2日の比率がそれぞれ約2割以上となっており、週に1日以上利用する方は回答者全体の約7割となっている。



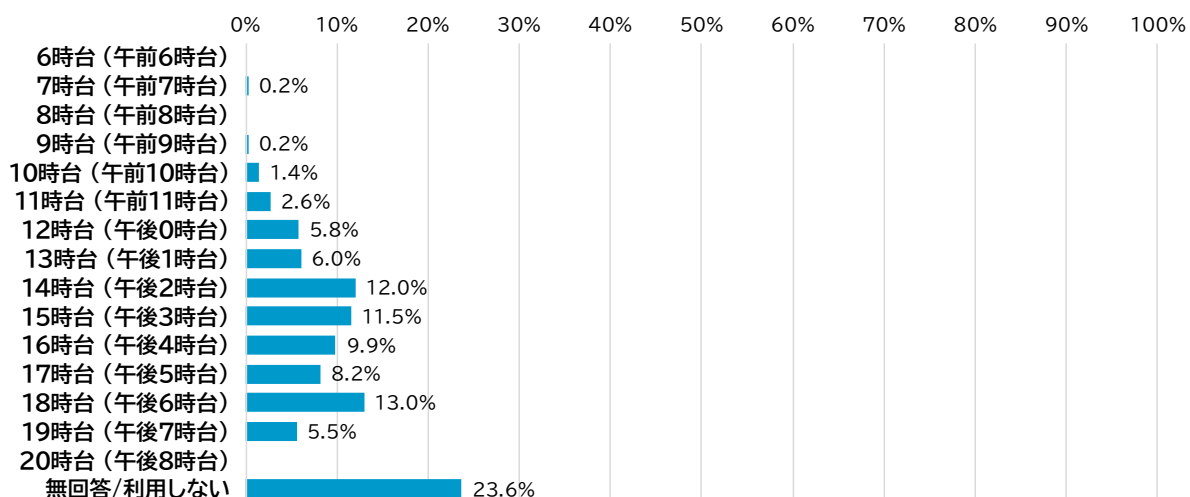
■図表 13 りるっとくんの利用頻度

④利用時間帯

行きは概ね午前 7 時台～10 時台の利用が多く、帰りは概ね午後 2 時台～6 時台の利用が多くなっている。



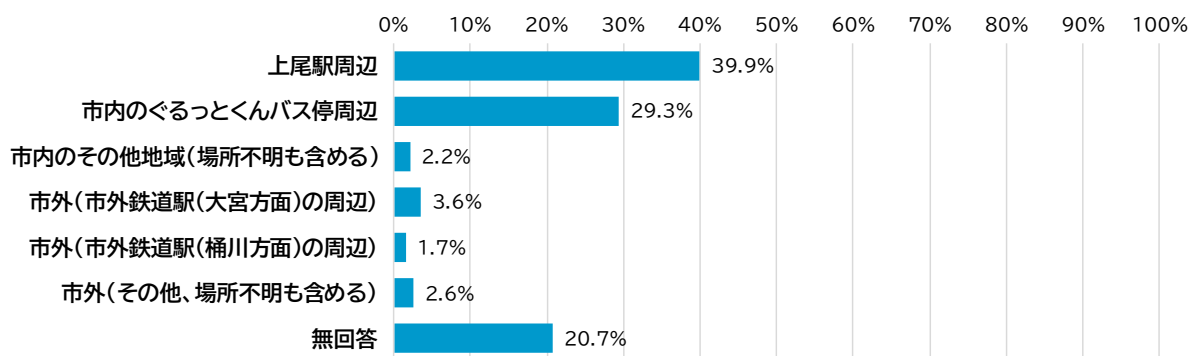
■図表 14 るっとくんの利用時間帯（行き）



■図表 15 るっとくんの利用時間帯（帰り）

⑤主な目的地

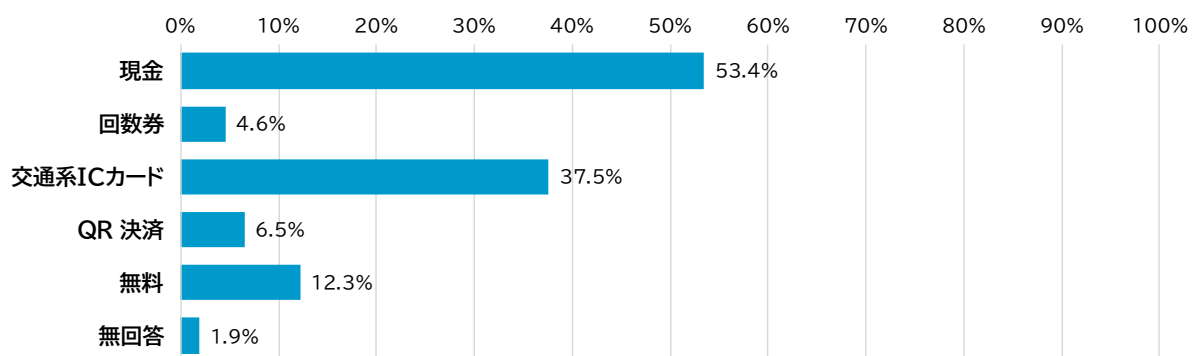
回答者の半数程度が上尾駅周辺（駅近隣の商業施設や医療施設、上尾中央総合病院も含む）と回答している。市外へ移動する方は全体の1割程度となっている。



■図表 16 ぐるっとくんを利用した移動の主な目的地

⑥決済方法

回答者の半数程度が現金と回答しており、次いで交通系 IC カードが多くなっている。

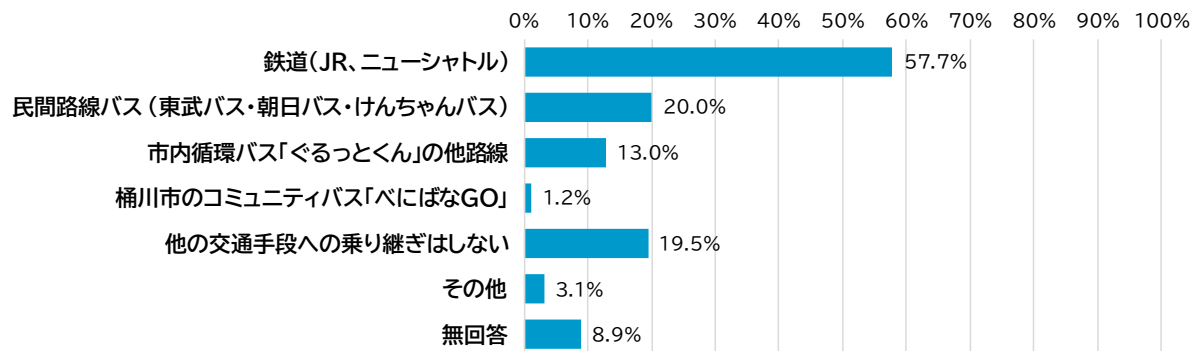


■図表 17 ぐるっとくん利用時の決済方法（複数回答）

⑦乗継手段

鉄道（JR、ニューシャトル）への乗り継ぎが約 6 割と最も多く、次いで民間路線バスへ乗り継ぐという方が約 2 割となっているおり、ぐるっとくんの他路線への乗り継ぎも 1 割程度みられる。他の交通手段への乗り継ぎはないという方は約 2 割となっている。

「その他」の具体的な内容としては、タクシーへの乗り継ぎや、徒歩、鉄道、送迎など別の手段を片道のみ使う、などである。

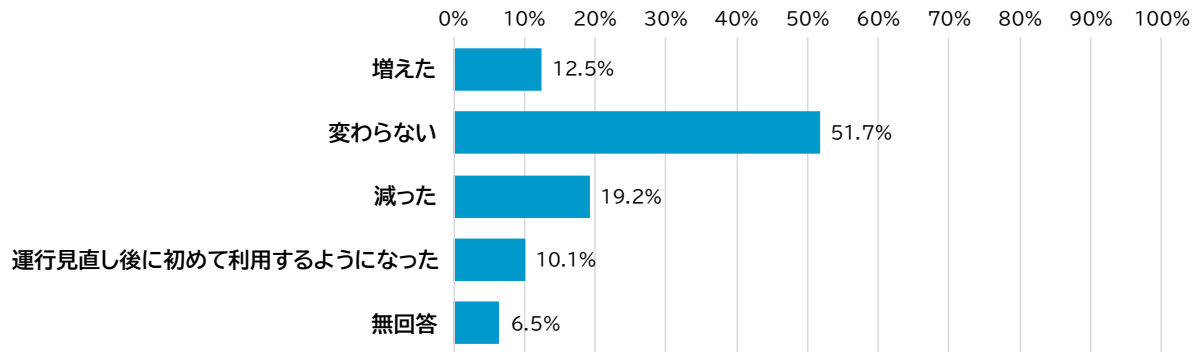


■図表 18 ぐるっとくんと他の交通手段との乗継状況（複数回答）

(3) 運行見直しに関する意見

①見直し前後での利用頻度の変化

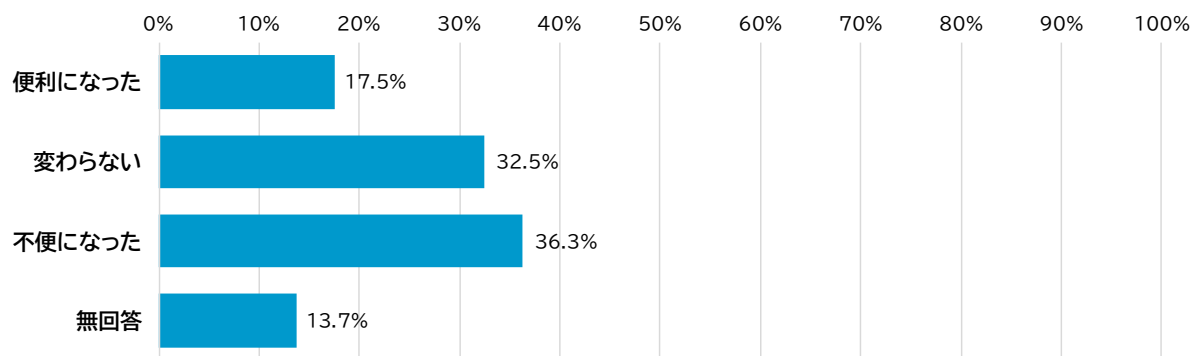
利用頻度が変わらないという方が約 5 割で最も多くなっている。増えたという方と見直し後に利用するようになったという方はそれぞれ約 1 割であり、減ったという方は約 2 割となっている。



■図表 19 運行見直し前後での利用頻度の変化

②見直し前後での利便性の変化

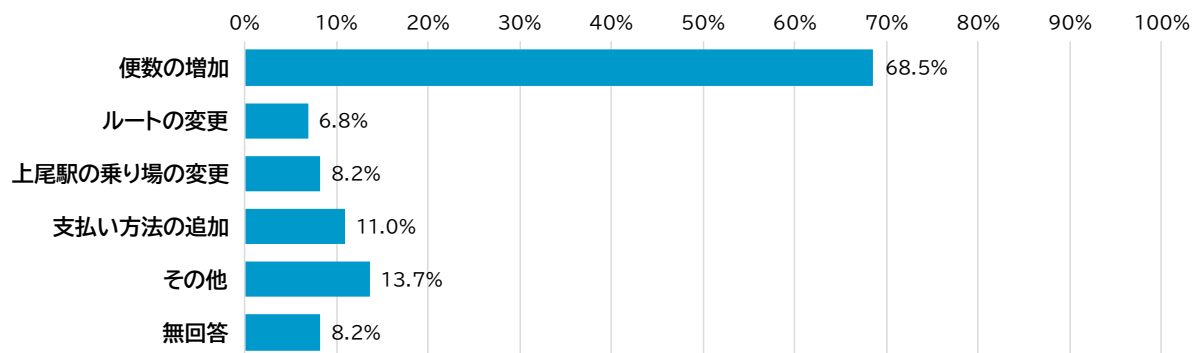
不便になったという方が 36.3%と最も多く、便利になったという方は 2 割弱にとどまっている。



■図表 20 運行見直し前後での利便性の変化

③見直し後に便利になったと感じる点

見直し後にぐるっとくんが便利になったと回答した方（73 名）について、便利になったと感じる点を選択式で尋ねたところ、便数の増加が約 7 割と最も多くなっている。



■図表 21 運行見直し後に便利になったと感じる点（複数回答）

「その他」の具体的な記述内容の要旨は、以下の通りである。

- ・ 朝夕などの通勤時間帯に新たな便が設定された
- ・ 以前よりも遅延が減少した
- ・ 高齢者割引制度がありがたい
- ・ 駅前の停留所が整備されて、雨天時でも利用しやすくなった

④見直し後に不便になったと感じる点

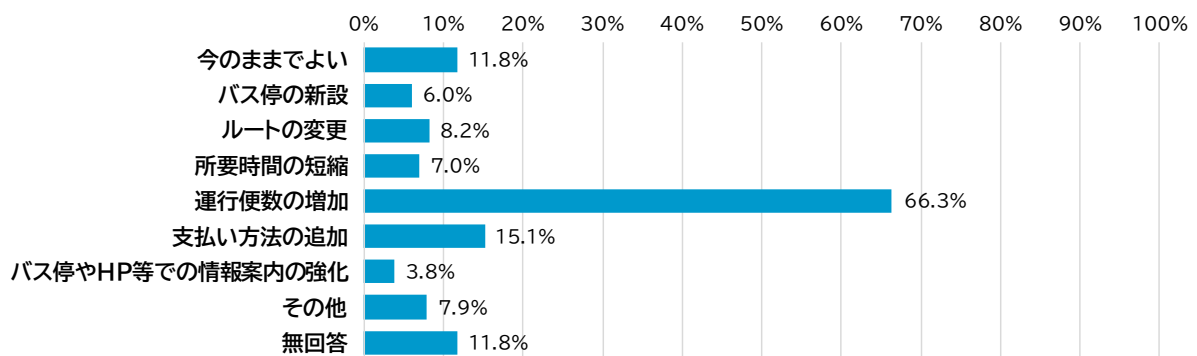
見直し後にぐるっとくんが不便になったと回答した方（151 名）を対象に、不便になったと感じる点を自由記述で尋ねたところ、概ね下記の回答が得られた。ダイヤ・運行便数に関する意見が圧倒的に多くなっていた。

■図表 22 運行見直し後に不便になったと感じる点

分類	意見の要旨
ダイヤ・運行便数	・ これまで利用していた便が廃止された／利用したい時間帯と便が合わなくなった ・ 最終バスの時間帯が早くなった／遅い時間帯の便がほしい ・ 便数が減った／運行間隔が空くようになった
運賃・支払い方法	・ 運賃が 100 円から 200 円に値上げされて不便を感じる ・ 値上げにもかかわらず増便されない／ダイヤが不便になった ・ 交通系 IC カードが使えなくなった ・ 紙幣の両替ができない ・ IC カード等のキャッシュレス決済時に読み取りが遅い
ルート・停留所	・ 上尾駅西口の降車位置変更に伴いロータリーを一周するため、降車までに時間がかかるようになった ・ 途中停留所止まりの便が増えて、目的地に行くまでに乗り換えを要することが増えた ・ ルート変更に伴い、目的地まで遠回りになった／最寄り停留所が遠くなった
遅延	・ キャッシュレス決済時の乗客や運転手の操作に時間がかかり、バスの遅延が多くなった
その他	・ 車両が小型化され、座席が減った ・ 最終バスの繰り上げに伴い、駅前ロータリーに送迎車両が増えて混雑するようになった

⑤ぐるっとくんを利用しやすくするために必要な取組み

運行便数の増加が 66.3%と最も多くなっている。



■図表 23 ぐるっとくんを利用しやすくするために必要な取組み（複数回答）

具体的な取組み内容に関する意見の要旨は、次ページの通り。

■図表 24 むるっとくんを利用しやすくするために必要な具体的な取組み内容（要旨）

取組みの種類	具体的な意見の要旨
バス停の新設	【具体的な場所等】 ・花の丘公園～西新井間 ・上平北小学校西～消防署上平分署前間 ・PAPA上尾ショッピングアヴェニューへの新設 ・中新井～大谷本郷間 ・上尾中央総合病院の代替として、「上尾駅入口」の新設 ・「谷津」の上尾駅方面停留所の新設 ・上尾市コミュニティセンター付近への新設 ・小泉七丁目付近への新設 ・長浪公園～上尾第一団地西間 ・緑丘五丁目付近への新設
ルートの変更	・乗降の少ない停留所を経由することで遠回りになっているので、改善してほしい （戸崎公園、中新井付近、領家工業団地内、こどもの城など） ・民間路線バスとの重複区間を減らした方が良い ・大石桶川線の藤波経由便の運行間隔・時間帯の是正 ・上平箕の木循環の上平公園への乗入れ ・上尾市コミュニティセンターへの乗入れ ・工業団地北～ふじ学園入口間のルート新設 ・東大宮駅への乗入れ ・平方小敷谷循環のアリオ上尾への乗入れ
所要時間の短縮	【ルート変更等による所要時間の短縮】 ・領家工業団地から北上尾駅等、大石領家北上尾線のルート見直し ・領家工業団地への乗入れの取りやめ ・上尾中央総合病院への乗入れの取りやめ ・藤波団地から上尾駅までの直行便の運行 ・アッピーランドの通過 ・大石桶川線の藤波経由の減便 ・丸山公園付近のルート見直し 【乗車時間の短縮】 ・上尾駅西口の停留所位置変更による短縮 ・キャッシュレス決済の改善による操作時間の短縮 ・花の丘公園での停車時間の短縮
運行便数の増加	・1時間に1本程度は運行してほしい ・日中や夕方時間帯などの運行間隔が空く時間帯に便が欲しい ・6～7時台、20～22時台などをはじめ、朝夕に通勤・通学に使える便が欲しい（増便してほしい） ・学校のある路線で混雑が激しいため増便してほしい ・平日のみの便を土日にも運行してほしい ・スポーツ総合センターや聖学院大学等の施設にアクセスできる便を充実させてほしい
支払い方法の追加	・以前使えた路線など、全路線で交通系ICカードを使えるようにしてほしい ・交通系ICカードの決済スピードが遅い ・QR決済の読み取りが悪い ・クレジットカードや回数券を使えるようにしてほしい
バス停やHP等での情報案内の強化	・バス停で運行情報がリアルタイムでわかるとありがたい ・QRコードにURLを併記してほしい
その他	・停留所の待合環境を改善してほしい ・時刻表の文字の大きさ、似た名称のバス停の整理、駅前の整列位置の明示など、案内表示を改善してほしい ・JR線や他ルートとの接続を改善してほしい ・遅延を解消し、定時性を確保してほしい ・運賃の見直しや、回数券の車内・窓口販売を行ってほしい ・キャッシュレス決済に時間がかかる点を改善してほしい ・車両の乗り心地や座席数を改善してほしい

⑥ぐるっとくんに関する自由意見

自由意見の要旨は以下の通り。

■図表 25 ぐるっとくんに関する自由意見（要旨）

分類	意見の要旨
感謝の声等	・声かけなど運転手の接客が良い ・地域の足として民間路線バスが通らないエリアを運行している ・高齢者や障害者の割引があるなど、安価でありがたい ・高齢者の足として赤字でも廃止しないほしい ・バスロケーションシステムが便利
不満等	・キャッシュレス決済時の処理が遅い ・遅延が多い ・上尾駅西口ロータリーを一周した先に降車場があり、降車までに時間がかかる ・停留所での案内が不足している ・停留所での待合環境が悪い ・便数が少なく、運行間隔が空く時間帯がある ・一部運転手の接客対応等が悪い ・車両の乗り心地が悪い
具体的な要望	・定期券の導入 ・冷暖房の徹底 ・値上げに見合う便数の確保 ・民間路線バスとのダイヤ調整や、乗り継ぎ利便性の向上 ・交通系ICカード決済への対応を復活させてほしい ・土日祝日の運行を拡充してほしい ・その他、具体的な運行ルートへの要望

バス事業者および タクシー事業者ヒアリング報告について

令和8年5月
上尾市交通防犯課

<目次>

1. 調査概要について.....	1 ページ
2. バス事業者へのヒアリング結果について.....	2 ページ
3. タクシー事業者へのヒアリング結果について.....	4 ページ
4. アンケート結果によるタクシー車両の活用の考え方について…	6 ページ
5. ヒアリング結果のまとめ.....	8 ページ

1. 調査概要について

①＜調査の目的＞

本市では、上尾市公共交通計画の令和4年度から令和8年度までの基本施策として、「タクシー車両の有効活用方法の研究」を掲げており、令和6年度においては様々な自治体、民間事業者とデマンド交通に関する情報交換や調査を実施してきた。

令和7年度においては、市内を運行している民間バス事業者およびタクシー事業者の実情を把握することを目的とし、各事業者に対しヒアリング調査を実施した。特に、深刻化する運転手不足の現状、今後の設備投資の意向、およびタクシー車両を活用した新たな移動手段に対する各事業者の姿勢を確認するとともに、次期計画における具体的な施策検討の資料とする。

②＜調査の方法＞

調査期間：令和7年12月～令和8年3月まで

対 象：市内で運行している民間路線バス事業者およびタクシー事業者

調査方法：事業所を訪問してのヒアリング調査および電話による聞き取り

※なお、回答結果については、事業者の意向により、回答に対する個別の事業者名は出さないこととする。

調査対象 バス事業者名
東武バスウエスト 株式会社
朝日自動車 株式会社
丸建つばさ交通 株式会社

調査対象 タクシー事業者名
飛鳥交通 株式会社
上尾交通 有限会社
有限会社 富士交通
有限会社 伊奈交通
株式会社 上尾タクシー

2. バス事業者へのヒアリング結果について

<ヒアリング結果>

【回答状況】 対象：3社 / 回答：3社

(1) 運転士の現状と課題

運転士の平均年齢： 56.3 歳

令和 6 年度の平均採用人数： 4.7 人

運転士の不足状況： 1 社平均 6 人不足

その他ご意見：

- ・ 不足はしているが、上尾はまだ他地域に比べればましな方である。
- ・ 大幅に人員が不足しており、このままでは現状の路線・本数を維持することも難しい可能性がある。
- ・ 運転士募集のため、募集案内のリンクを市 HP に作成や、広報誌への掲載をしてほしい。

(2) 今後の設備投資予定（今後 5 年程度）

環境・バリアフリー対応： EV バスの導入、太陽光発電設備の増強、
大型ノンステップバスの導入

労働環境の改善： 女性運転士確保に向けた女子トイレ・更衣室の整備

(3) 行政（次期計画）に期待する支援・要望

人材確保・育成支援： 運転士や事務職の確保対策、資格取得・就職支援
に対する補助金

設備投資支援： 設備投資への補助金、GTFS（バス情報フォーマット）対応に伴うデータ整備・更新費用の補助

物価の高騰対策：安定的なバスの運行を確保するため、物価高騰対策の補助金を市で実施希望

交通環境の改善：上尾駅東口ロータリーの改善（バス乗り場の増設、ロータリー内を円滑に回遊できる導線確保）

その他ご意見：上尾駅周辺の慢性的な道路渋滞の解消

(4) デマンド交通に対する見解

ルートの棲み分け：既存の路線バスとルートの重複・競合が発生するため、導入する場合は棲み分けの基準を明確化してほしい。

駅への乗り入れ：上尾駅は競合の問題だけでなく、発着スペースの不足やロータリー内の混雑を考慮すると、デマンド車両の乗り入れは物理的に難しい。

運賃設定：・バス運賃の倍以上

- ・バスの初乗り運賃の倍程度では、利用者の大幅減につながると考えている。既存のタクシー運賃と同程度の運賃設定を検討していただきたい。

その他ご意見：・対象者は日常生活移動に支援が必要と思われる方に限定してほしい。

- ・運行は日中の生活移動を補完する時間帯のみとし、通勤通学時間帯は運行しないことが望ましい。

3. タクシー事業者へのヒアリング結果について

<ヒアリング結果>

市内で運行しているタクシー事業者の5社のうち、1社については業務多忙により聞き取り調査を行えなかったため、4社について結果を報告する。

【回答状況】 対象：5社 / 回答：4社

(1) 運転士の現状と稼働状況

運転士の平均年齢： 60.7 歳

令和6年度の平均採用人数： 6.3 人

運転士の不足状況： 1社平均 10.6 人不足

・運転手は都内に取られてしまっている。

稼働率と需給バランス：

- ・全体の稼働率は約7～8割程度。
 - ・日中は需要に対して供給が概ね追いついている。
 - ・平日の需要ピークは「朝(7～9時)」「夕(17～19時)」「深夜(23～1時)」。
- 休日は特定のピーク時間が読めない状態。

利用者の特徴： ・比較的高齢者が多く、主な行き先は「病院」「商業施設」「駅」「知人宅」など。

・常連の高齢者が多い。

(2) 今後の設備投資予定（今後5年程度）

車両更新： UD（ユニバーサルデザイン）車両への順次入れ替え

施設改修： ・営業所の舗装工事、洗車設備やコンプレッサー等、老朽化機器の新調

・利益の見込みがたたないため、更新が少し遅れている。

(3) 行政（次期計画）に期待する支援・要望

まちづくり： 高齢者から若者まで、上尾市への移住者が増えるような「住みやすい街づくり」を進めてほしい。

労働環境の改善： 市内の東西に、タクシーの「無線待機所（休憩所）」を設置してほしい。

その他ご意見： タクシーの利用促進のため、利用者へのタクシー補助を実施してほしい。

(4) デマンド交通に対する見解

運行対応の可否： 回答 4 社のうち、3 社は運行対応が不可との回答だった。1 者は乗合デマンド交通の運行対応について、「条件付きで検討可能」と回答。

対象者の限定： 導入する場合は、75 歳以上の高齢者や障害をお持ちの方など、「真に生活移動の支援が必要と思われる移動困難者」のみを対象としてほしい。

導入の必要性への疑問： ・公共交通網が既に発達している上尾市内において、そもそも多額の費用をかけてデマンド交通を導入する必要があるのか、慎重な議論が必要との意見あり。

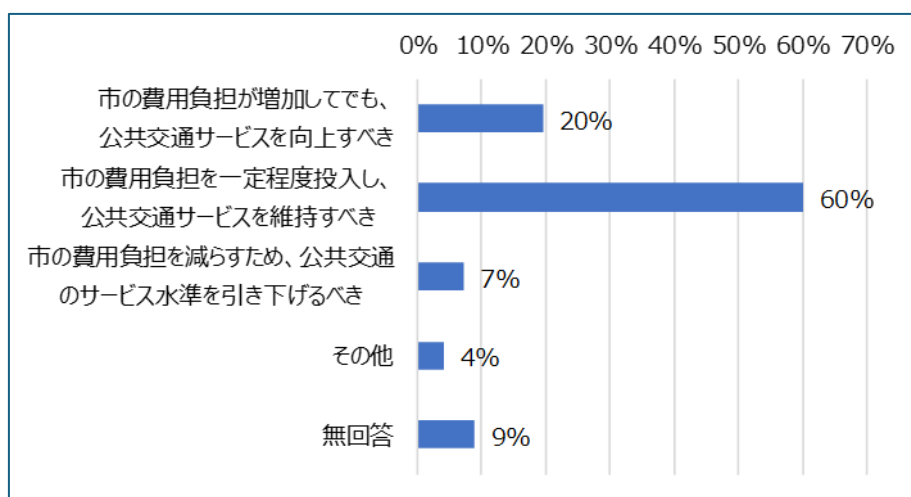
・現状でもタクシーが多く、客待ちの時間が長い状態。デマンド交通が導入されると、売り上げ減少、廃業の危機になりかねない。

4. 市民アンケート結果によるタクシー車両の活用の考え方について

①公共交通に対する費用負担のあり方

公共交通の維持・向上に向けた公費投入の考え方について調査したところ、以下の結果となった。

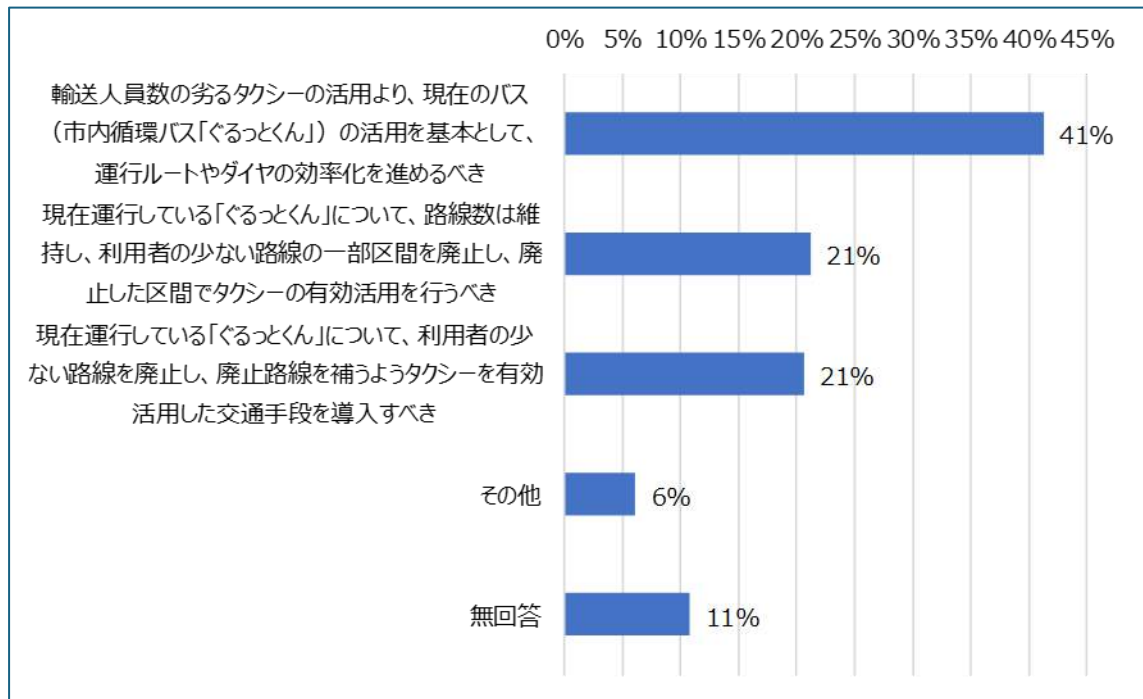
- ・ 「市の費用負担を一定程度投入し、公共交通サービスを維持すべき」との回答が約 6 割（60%）で最多となった。
- ・ 一方で、「市の費用負担が増加してでも、公共交通サービスを向上すべき」とする積極的な向上を望む意見は、わずか 2 割（20%）に留まっている。



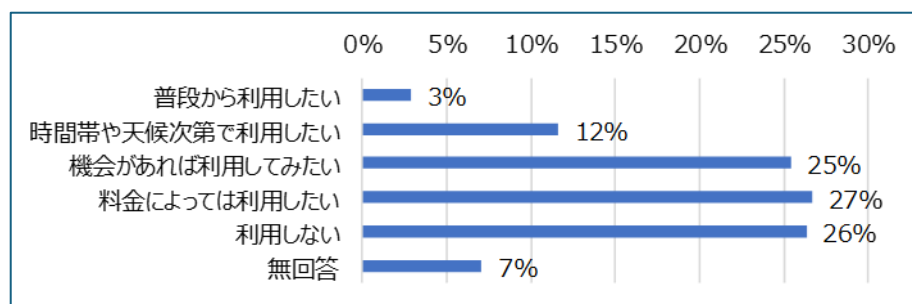
この結果から、多くの市民は「無制限な予算投入による新サービスの構築」よりも、現在の公費負担の枠組みの中で「既存のサービスをいかに効率的に維持するか」を重視していることが判明した。

②タクシー車両の有効活用に対する考え方

タクシー車両の活用方法についても、既存バスとのバランスを重視する傾向が確認できた。



- 「輸送人員数の劣るタクシーの活用より、現在のバス（ぐるっとくん）の活用を基本として、効率化を進めるべき」という意見が41%と最も多い。
- 利用者の少ない一部区間でのタクシー転換を支持する声もあるが、あくまで「バスを補完する形」での検討が求められている。
- タクシー車両の利用意向についても、「ぜひ利用したい」という積極的な層は3%と極めて少数であり、約7割の方は「料金（自己負担額）次第」や「利用しない」という慎重な姿勢を示している。



5. ヒアリング結果のまとめ

今回のヒアリング調査結果について、以下の通り取りまとめる。

1. 各質問項目

- 運転士については、タクシー事業者からは、「日中は需要に対して供給が追いついている」との回答があるが、一方でバス・タクシーともに慢性的に運転士が不足しているとの意見がある。
- 設備投資については、バス事業者及びタクシー事業者共に、バリアフリー対応車両等の導入予定や、必要な様々な設備更新に迫られている。
- 行政（次期計画）での支援・要望では、バス事業者からは、人材確保や設備投資に関する支援を求める声があがっている。タクシー事業者からは、中心市街地以外の市内東西の待機場所の設置を求める声や、利用者に対するタクシー補助制度の実施を求める声が上がっている。
- デマンド交通に対する見解では、バス事業者からは、既存の路線バスとの競合や、上尾駅ロータリーへの乗り入れを不安視する意見や、対象者や運賃、運行時間について限定するよう意見が出ている。タクシー事業者からは、回答いただいた4社のうち3社からデマンド交通事業を受託する余裕がないとの回答があり、その他にも、上尾市での必要性、本業への悪影響を懸念する意見が上がっている。

2. 総論

現時点では、バス事業者、タクシー事業者共に依然として運転手不足の影響下にある。一方、設備投資も必要だが、厳しい経営環境のため、注力が難しい面がある。このため、行政（次期計画）に対しては、こうした点に対する様々な支援策を期待する声の他に、これまでに経験のあるタクシー利用補助制度の施策について、利用促進のため実施が求められている。また、「乗合型デマンド交通」については、タクシー事業者に実施する余力がなく、実施する場合にも様々な課題が懸念されている。

以上の結果を踏まえ、次期計画における各施策を検討する。

施策 1-5 障害者割引運賃制度の実施【継続】					
○実施目的					
・ 障害者の運賃割引制度を引き続き実施、市民の移動性の向上を図る					
○実施内容					
・ 市内循環バスにおける障害者、介助者の運賃割引制度の継続					
○実施主体	上尾市				
○スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8
	実施				

施策 1-6 交通不便地域における輸送資源を活用した移動手段確保の検討【新規】

○実施目的

・ 市内の地域資源を最大限活用し、既存公共交通（鉄道、民間路線バス、市内循環バス）を補完する地域交通を確保し、市内の移動性の向上に努める

○実施内容

・ 市内各種施設（乳幼児施設、福祉施設、商業施設等）での地域資源活用としての意向確認

・ 公共交通による移動が不便な地域における地域資源を活用した移動手段確保の検討

・ 移動手段の確保における制度面の検討

■ 地域資源の総動員による旅客運送サービスの確保のイメージ（国土交通省資料より）

URL <https://www.mlit.go.jp/common/001374657.pdf>



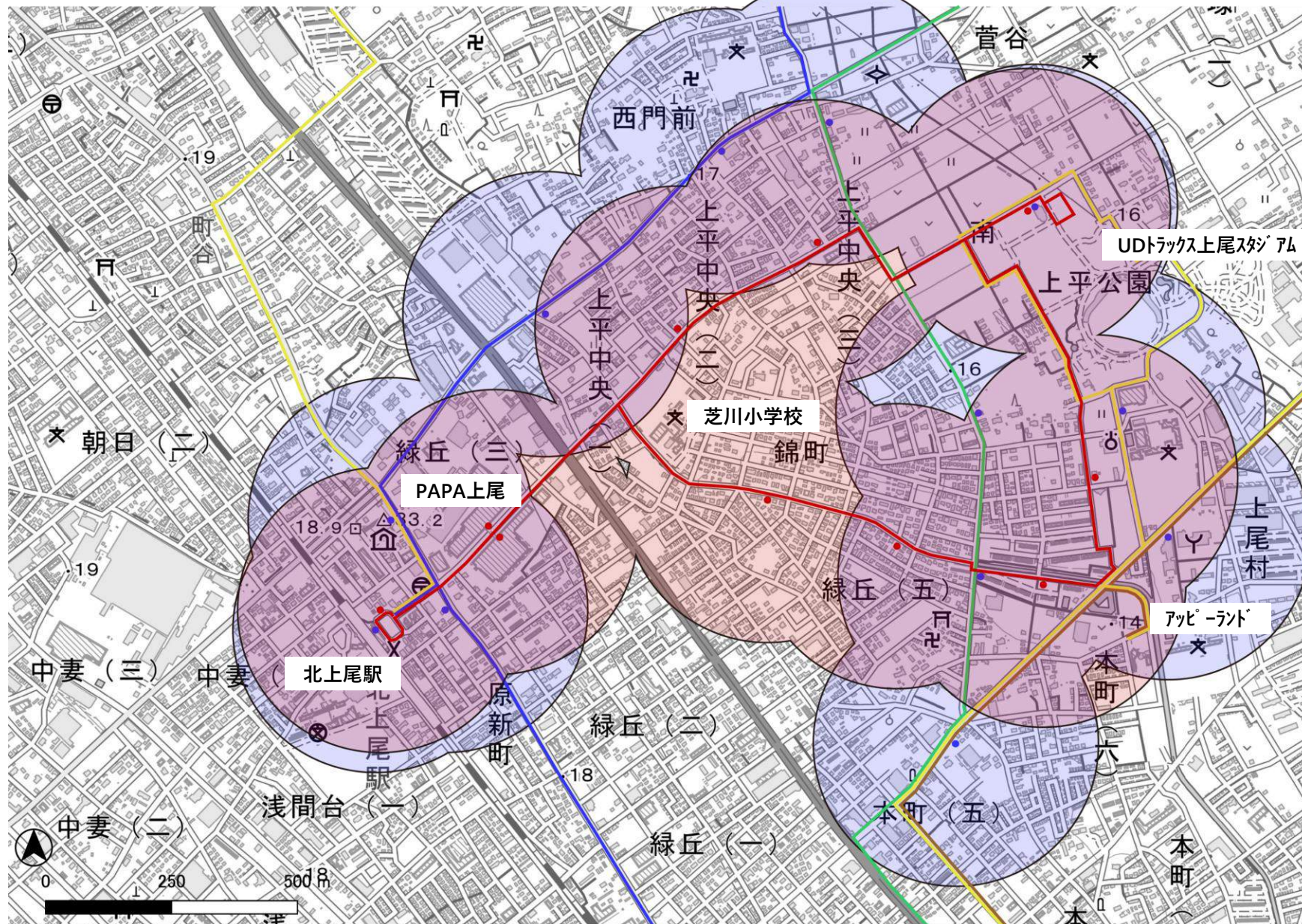
○実施主体	上尾市・各種施設				
○スケジュール	R4	R5	R6	R7	R8
	検討・計画・実施				

自家用有償旅客運送路線図

※資料 2 - 1



■ = バス停候補地 — = 計画路線 — = 朝日バス路線 (上尾駅～伊奈学園) — = 市内循環バス路線



計画路線
朝日バス

上平箕の木循環
原市平塚循環
上平菅谷北上尾線

路線バス・市内循環バス停
計画バス停

路線バス・市内循環バス停 半径300m
計画バス停 半径300m



自家用有償旅客運送ダイヤ（案）

※資料 4

停留所	所要時間	1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
1 北上尾駅東口		10:00	10:40	11:20	12:15	12:55	13:35	14:15
2 PAPA前	1	10:01	10:41	11:21	12:16	12:56	13:36	14:16
3 上平中央 2 丁目	3	10:04	10:44	11:04	12:19	12:59	13:39	14:19
4 上平中央 3 丁目	1	10:05	10:45	11:05	12:20	13:00	13:40	14:20
5 UDトラックスタジアム （上平公園）	4	10:09	10:49	11:09	12:24	13:04	13:44	14:24
6 木の実薬局前	3	10:12	10:52	11:12	12:27	13:07	13:47	14:27
7 上尾東団地第二公園	3	10:15	10:55	11:15	12:30	13:10	13:50	14:30
8 緑丘五丁目 1 9 番	2	10:17	10:57	11:17	12:32	13:12	13:52	14:32
9 緑丘五丁目 9 番	1	10:18	10:58	11:18	12:33	13:13	13:53	14:33
10 PAPA前	4	10:22	11:02	11:22	12:37	13:17	13:57	14:37
11 北上尾駅東口	2	10:24	11:04	11:24	12:39	13:19	13:59	14:39

自家用有償旅客運送 運行カレンダー(案)

 運行日

2026	10月						12 日
日	月	火	水	木	金	土	
				1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30	31	

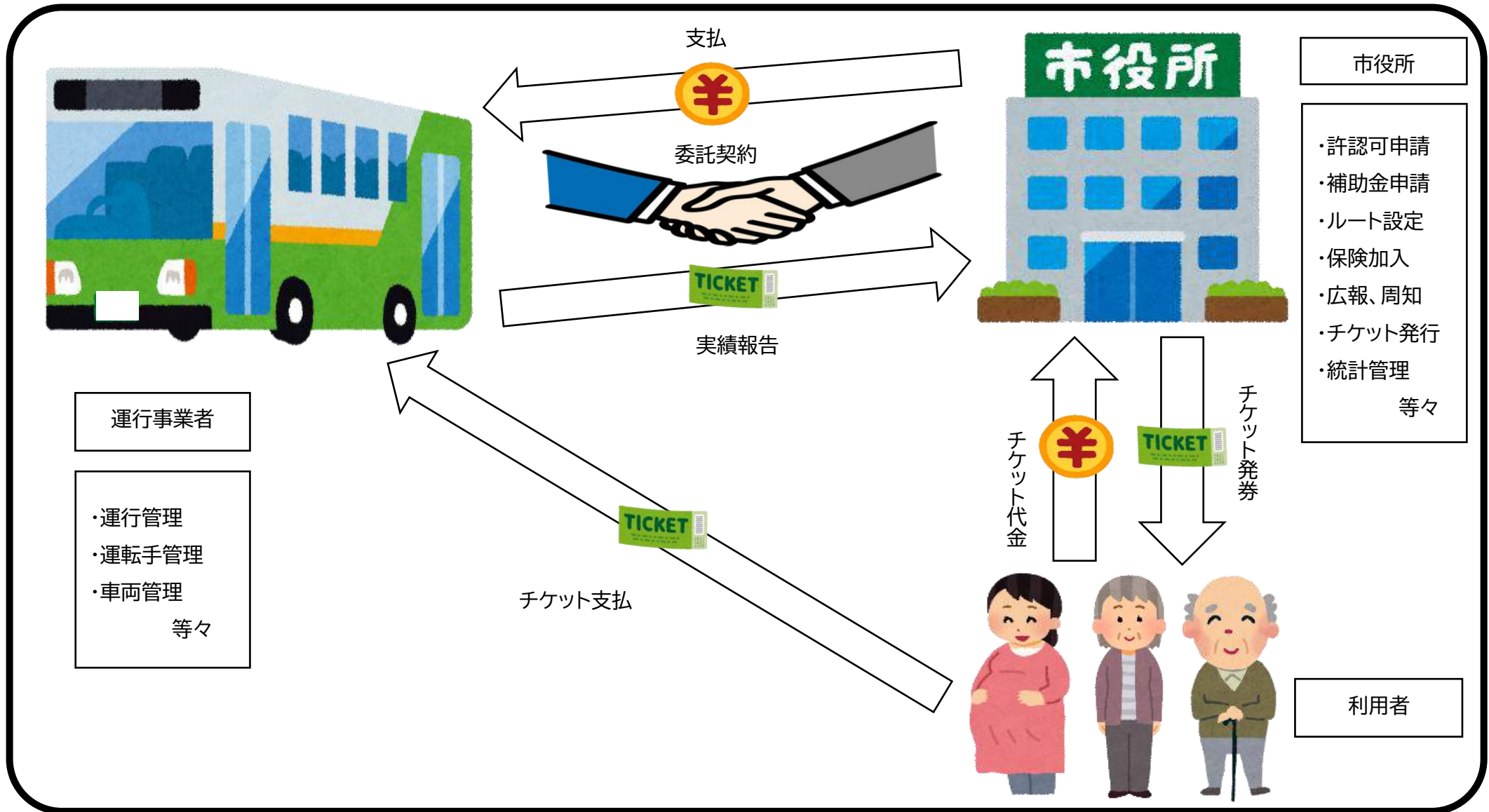
2026	11月						11 日
日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

2026	12月						11 日
日	月	火	水	木	金	土	
		1	2	3	4	5	
6	7	8	9	10	11	12	
13	14	15	16	17	18	19	
20	21	22	23	24	25	26	
27	28	29	30	31			

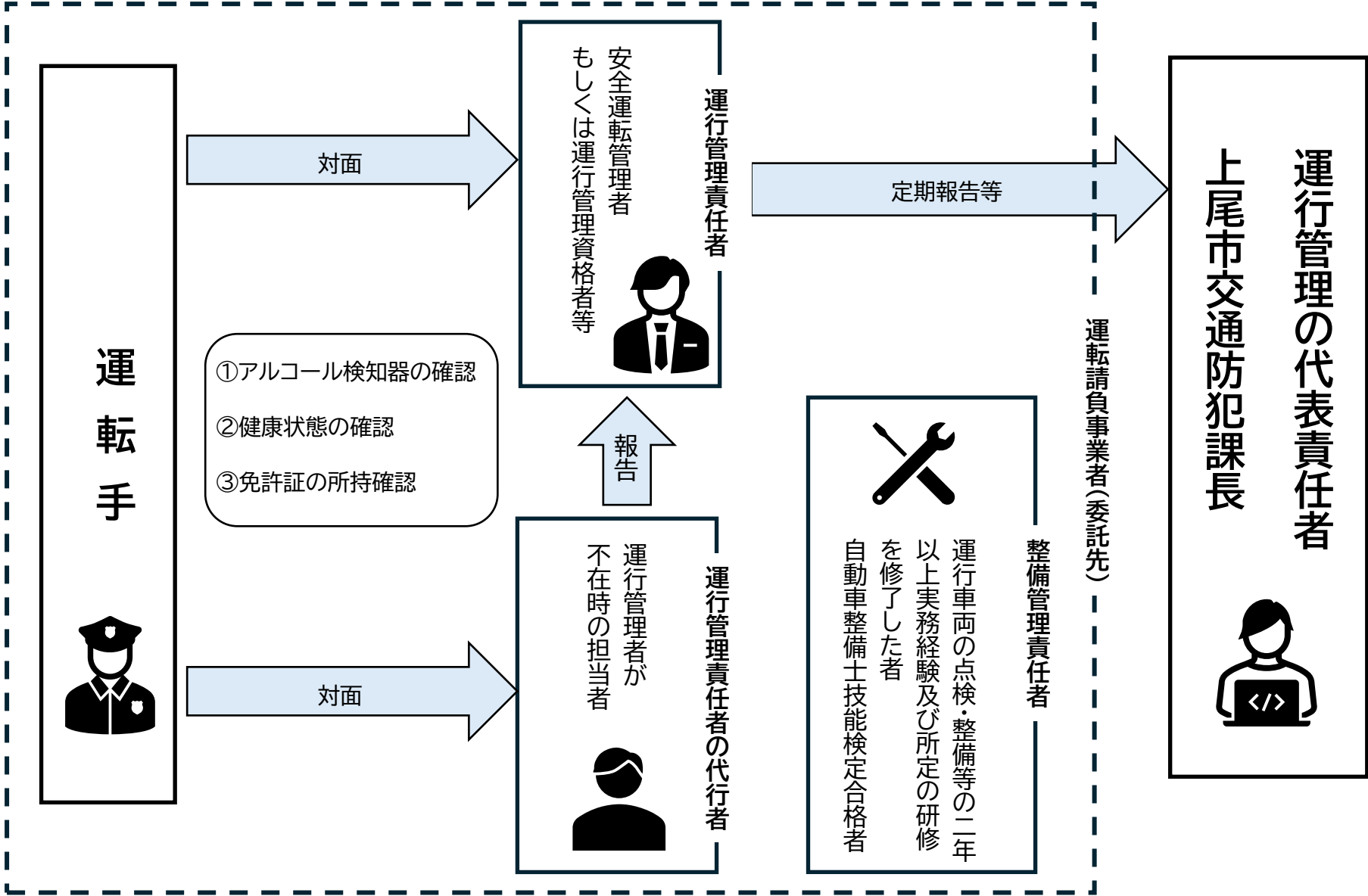
2027	1月						11 日
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	
31							

合計 43 日

自家用有償旅客運送 事業スキーム (国土交通省 共同化・協業化促進タイプ実証運行事業)



運行管理体制等



事業実施スケジュール

※資料 8

[illegible]

新たなバスの実証運行に関するアンケート調査まとめ

(1) 調査概要

対象者	・実施路線周辺住民 1,000 人（無作為抽出） （上平中央、上尾東団地、錦町、緑丘五丁目）						
主な調査項目	・属性（性別、年齢、お住まい、職業、運転免許有無） ・普段の外出について ・新たなバスの実証運行について ・公共交通全体について						
調査方法	・紙面アンケートの郵送・投函回収						
調査期間	・令和 8（2026）年 4 月 9 日～4 月 22 日						
回答数	・500 票（回答率 50.0%）						
内 訳		属性	実数	割合	属性	実数	割合
	性 別	男性	209	41.8%	女性	272	54.4%
		その他	1	0.2%	無回答	18	3.6%
	年 齢	16～19 歳	11	2.2%	20～29 歳	24	4.8%
		30～39 歳	29	5.8%	40～49 歳	52	10.4%
		50～59 歳	72	14.4%	60～64 歳	32	6.4%
		65～69 歳	40	8.0%	70～74 歳	46	9.2%
		75 歳以上	190	38.0%	無回答	4	0.8%
	職 業	仕事をしている	205	41.0%	学生である	15	3.0%
		就業・就学していない	230	46.0%	無回答	50	10.0%
	住 ま い	上平中央	111	22.2%	上尾東団地	82	16.4%
		錦町	165	33.0%	緑丘五丁目	131	26.2%
		無回答	11	2.2%			
	免 許	免許を持っている	274	54.8%	免許を持っているが運転しない	35	7.0%
		免許を持っていたが返納した	80	16.0%	免許を持ったことがない	100	20.0%
		無回答	11	2.2%			

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計値が 100%とならない場合があります

新たなバスの実証運行に関するアンケート調査 にご協力ください

上尾市では、令和8年度、民間バスや市内循環バス「ぐるっとくん」の路線から離れた地域を対象として、市内の企業の送迎バス車両を活用した、新たな地域交通の実証運行を予定しています。

本アンケート調査は、実証運行に先立ち、実施予定地域の皆様に対し、普段の移動実態やお困りごとの有無、新たな地域交通に対する利用意向を伺い、運行計画の作成や評価に用いるものです。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和8年4月 上尾市

■本アンケート調査は、実証運行を予定する地域にお住まいの満16歳以上の方を対象に、住民基本台帳から1,000人を無作為に抽出し、ご回答をお願いしています。お答えいただいた内容は、統計的に処理し、調査目的以外に使用することはありません。

■調査票は、10分程度でご記入いただけます。

■ご記入後の調査票を同封の「返信用封筒」に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。（切手は不要です）

■本アンケート調査は、宛名のご本人についてお答えいただきますよう、お願いします。

※恐れ入りますが、4月22日（水）までに、ご回答（投函）くださいますよう、お願いいたします。

【お問い合わせ先】＜調査の実施主体＞

上尾市 市民生活部 交通防犯課

所在地：〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号

電話：048-775-5138(直通) FAX：048-775-9927



※裏面の詳しい実証運行の内容をご覧ください、ご回答ください。



■新たな地域交通の実証運行内容

○運行の概要 ※現時点で予定するもので、今後変更の可能性があります。

予定時期	令和8年10月～令和9年1月の平日（週3日間運行） ※運行曜日は検討中
運行区域	JR 北上尾駅→上平中央→上平公園→上尾東団地→錦町・緑丘五丁目→JR 北上尾駅（循環線）
所要時間	1周20分～30分程度
運行時間帯	日中の時間帯（10時～15時など）
運行間隔	40分に1本程度（1日6～8便）
使用車両	マイクロバス
運賃	1乗車200円程度（75歳以上100円程度）
支払方法	あらかじめチケットを購入し、乗車時にチケットを渡す方法 ※販売場所は、上尾市役所支所や地域内の商店を検討中

○運行ルート案



新たなバスの実証運行に関するアンケート調査

問1 ご自身のことについてお伺いします。

1-1 ご自身に関する以下の項目をお答えください。(それぞれ1つに○)

年齢	1. 16～19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳
	4. 40～49歳	5. 50～59歳	6. 60～64歳
	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
性別	1. 男性	2. 女性	3. その他
就業、就学	1. 仕事をしている	2. 学生である	3. 現在就業・就学はしていない
お住まい	1. 上平中央	2. 上尾東団地	3. 錦町 4. 緑丘五丁目
運転免許の 保有状況	1. 免許を持っている	2. 免許を持っているが運転しない	
	3. 免許を持っていたが返納した	4. 免許を持ったことがない	

問2 普段の外出についてお伺いします。

2-1 あなたの普段の生活での、外出回数をお答えください。(1つに○)

通勤や通学、買い物、通院、その他の私事を合わせてお考えください。

1. 毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日 5. 月数日以下

2-2 あなたの普段の生活で、どちらの方面に行くことが多いですか。(1つに○)

※その他回答例：職場、町内から出ないなど

1. 上尾駅方面 2. 北上尾駅方面 3. 桶川駅方面 4. 伊奈町方面
5. 大宮駅、浦和駅、東京都方面 6. その他 ()

2-3 前問2-2で回答した方面へ行く際の主な移動手段は何ですか。(1つに○)

※鉄道を利用する際は、鉄道駅までの移動手段をご回答ください。

1. 自家用車(自分で運転) 2. 自家用車(家族や知人などが運転) 3. バス 4. 自転車
5. タクシー 6. 徒歩(シニアカーを含む) 7. その他 ()

2-4 前問2-2で回答した方面へ行く際の最も多い目的は何ですか。(1つに○)

1. 買い物 2. 通院 3. 食事、趣味、娯楽 4. ご家族の送迎
5. 通勤・通学 6. その他 ()

2-5 前問2-4で回答した目的で外出する際の行きと帰りの時間帯をお答えください。

行きは (午前・午後 _____ 時台) 帰りは (午前・午後 _____ 時台)

2-6 現在、あなたが移動に関して困っていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 使いたい時間にバスが運行していない 2. 行きたい方面にバスが運行していない
3. 家族や知人に送迎を頼みづらい 4. タクシーが来ない、予約できない
5. 自家用車の維持が金銭的に負担である 6. 運転が難しくなってきた
7. 長距離を歩くのがつらい 8. その他 ()
9. 困っていることは特にない

問3 新たなバスの実証運行についてお伺いします。

依頼文(別紙)の裏面に、令和8年度に予定する、実証運行の内容をお示ししています。こちらの利用意向について、本紙の裏面でお答えください。

3-1 新たなバスの実証運行について、使ってみたいと思いますか。(1つに○)

また、その理由について当てはまるものを以下からお選びください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. できる限り利用してみたい | 2. 悪天候の場合など機会があれば利用してみたい |
| 3. 利用する機会は限られるが興味はある | 4. 利用の可能性はない |

↓ 1、2、3のいずれかを回答した方

1. バスが近くにあると便利のため
2. ご家族の送迎に頼らなくて済むため
3. 路線バスやぐるっとくんのバス停が遠い
4. バスに興味があるため
5. その他 ()

↓ 4と回答した方

1. 自家用車など現在の移動手段で満足のため
2. バス停が遠くて使いづらいため
3. 移動の目的地が異なるため
4. その他 ()

↓ 3-2～3-7をご回答ください

→ 3-8をご回答ください

3-2 新たなバスの実証運行をどのような目的で利用したいと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

1. 買い物 2. 食事、趣味、娯楽 3. 通院 4. その他 ()

3-3 新たなバスの実証運行をどのくらい利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 週に1日以上 2. 月に数日 3. まずはお試しで使ってみたい 4. わからない

3-4 新たなバスの実証運行によって、あなたの普段の生活で得られるものや変化などはあると思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|----------------|
| 1. 外出回数が増える | 2. 外出手段を変更する | 3. 移動の時間が短縮できる |
| 4. 外出先が増える | 5. 移動の費用が減る | 6. 送迎の負担が減る |
| 7. 免許返納ができる | 8. その他 () | |

3-5 新たなバスの実証運行は、民間路線バスや市内循環バス「ぐるっとくん」の運賃を考慮し、1回あたり200円(75歳以上は100円)を予定しています。この金額についてどう思われますか。(1つに○、2もしくは3と回答した方は、希望の金額に○をつけてください)

1. 妥当だと思う
2. より高い金額でも利用する → 300円 400円 500円
3. より安い金額であれば利用する → 150円 100円 100円未満

3-6 新たなバスの実証運行で、希望する時間帯をお教えてください。

1. 午前 2. 午後 3. 正午を挟んで前後の時間 4. 夜間

3-7 新たなバスの実証運行の運行間隔(45分間隔)について、どのように思われますか。

1. とても満足 2. 満足 3. どちらでもない 4. 不満 5. とても不満

3-8 問3-1で「4. 日中での利用の可能性はない」と回答した方へ、その理由をお聞かせください。(1つに○)

1. 利用の仕方が面倒 2. 運賃が高い 3. 利用したい時間が合わない
4. 行先が合わない 5. 他の交通手段を使う 6. 送迎が頼める
7. その他 ()

問4 公共交通全体について、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

(2) 調査概要まとめ

① 普段の外出について

- 普段の生活での外出回数は、「毎日」と回答した方が 43.4%と最も多くなっている。このことから、通勤・通学や日常の買い物のために毎日外出する方が多くなっていると推察できる。
- 外出方面については「北上尾駅方面」と回答した方が 45.2%と最も多くなっている。本地域住民は日常的に北上尾駅周辺での買い物や北上尾駅より広域に移動していることが推察できる。
- 移動手段は、「自家用車（自分で運転）」と回答した方が 31.0%と最も多い。次いで「自転車」が 29.4%、「徒歩（シニアカーを含む）」が 15.2%となっており、実証運行を行うことで、自家用車から公共交通への転換が見込まれる。
- 移動目的は「買い物」と回答した方が 45.2%と最も多く、次いで「通勤・通学」が 30.0%となっており、日常的・移動が多い。
- 外出時の主な移動時間（行き、帰り）について、行きは「午前」と回答した方が 79.6%と最も多く、帰りは「午後」と回答した方が 80.6%と最も多くなっている。このことから、通勤・通学のほか目的地への移動のみではなく、買い物・食事・通院などと併せて行動していると推察できる。
- 移動に関して困りごとは、「行きたい方向にバスが運行していない」と回答した方が 38.4%と最も多く、次いで「使いたい時間にバスが運行していない」が 33.4%、「長距離を歩くのがつらい」が 30.4%となっている。このことから、北上尾駅への移動需要は前項目でも明らかとなっており、困りごとの解消につながると推察できる。

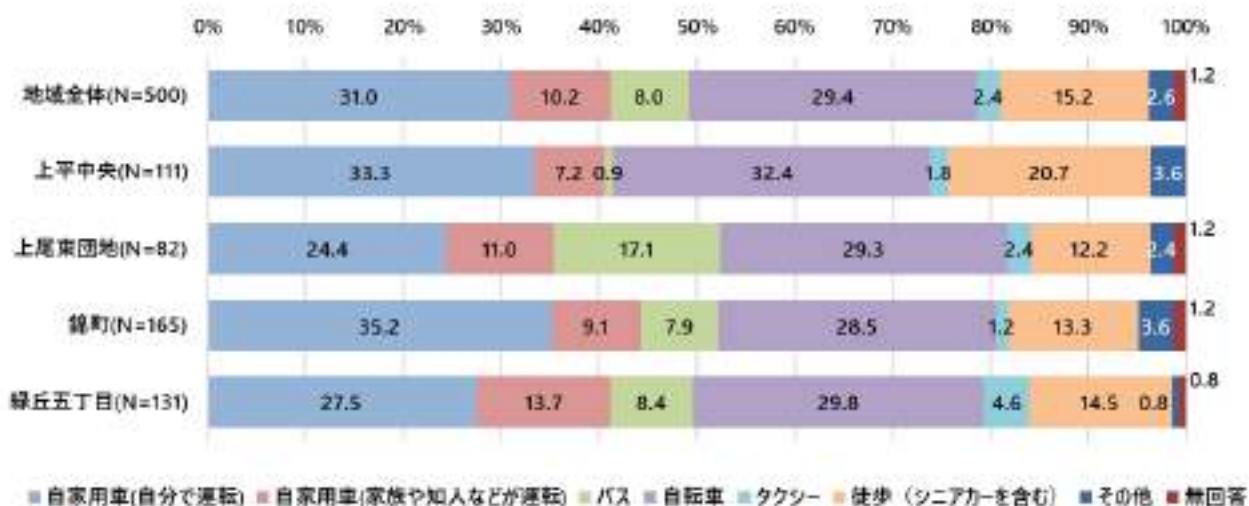
■ 外出回数



■ 外出方面



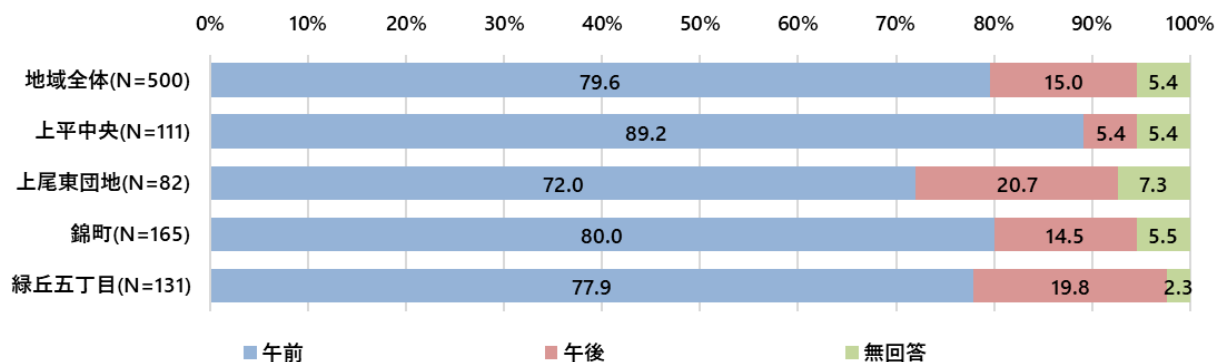
■移動手段



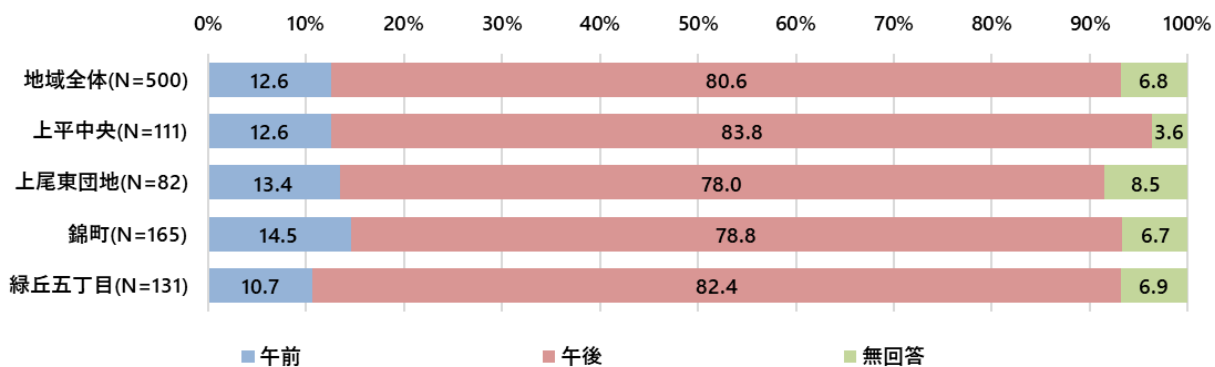
■移動目的



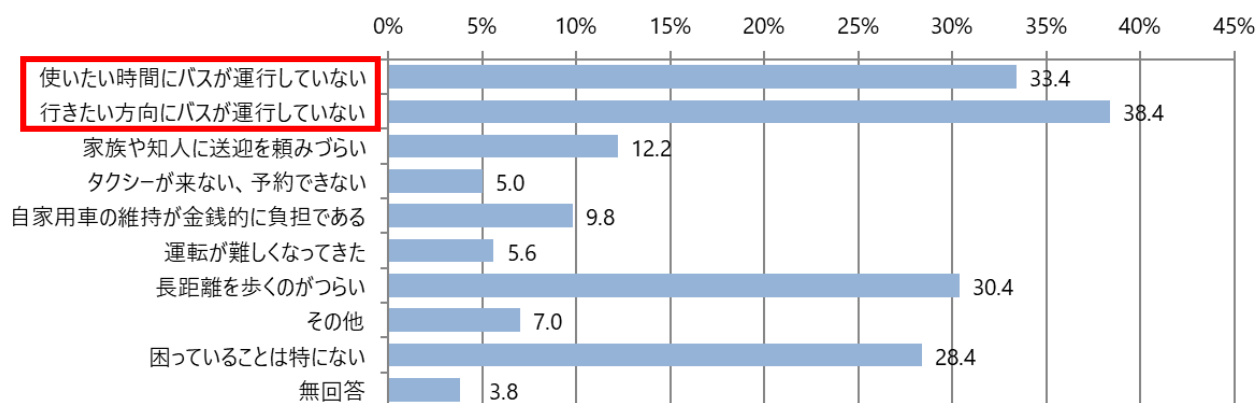
■主な外出時間 【行き】



【帰り】



■外出時の困りごと (N=461)



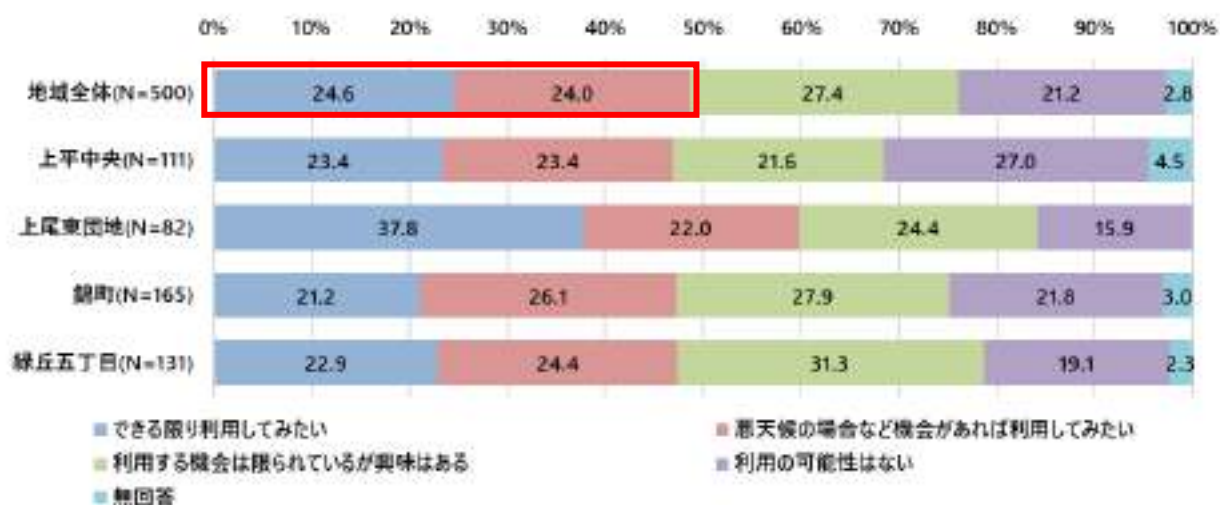
②新たなバスの実証運行について

○利用意向については、「利用する機会は限られてるが興味はある」と回答した方が 27.4%と最も多く、次いで、「できる限り利用してみたい」が 24.6%、「悪天候の場合など機会があれば利用してみたい」が 24.0%となっている。このことから、本地域住民における潜在的な需要は高いことが推察できる。

○【できる限り利用してみたい、悪天候など機会があれば利用してみたい、利用する機会は限られているが興味はあると回答した方】(N=380)

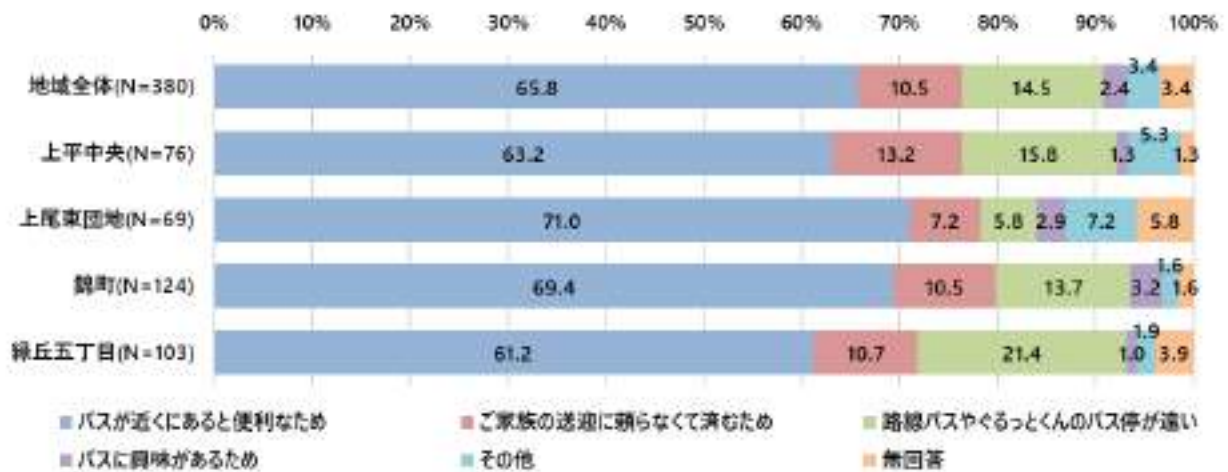
- ・利用意向の理由については「バスが近くにあると便利のため」と回答した方が 65.8%と最も多く、次いで「路線バスやぐるっとくんのバス停が遠い」が 14.5%、「ご家族の送迎に頼らなくて済むため」が 10.5%となっている。このことから、現状の公共交通に対して不便に感じている方が多いと推察できる。
- ・利用目的は、「買い物」と回答した方が 63.4%と最も多く、次いで「食事、趣味、娯楽」が 39.7%、「通院」が 29.7%となっており、日常生活行動で利用されることが推察できる。
- ・移動頻度は「まずはお試しで使ってみたい」と回答した方が 43.9%と最も多く、次いで「週に 1 日以上」が 20.8%、「わからない」が 17.4%となっており、本実証運行への期待値が高いことが推察できる。
- ・普段の生活で得られるものや変化は、「外出手段を変更する」が 28.9%と最も多く、次いで「外出回数が増える」が 19.5%、「移動の時間が短縮できる」が 17.4%となっている。このことから、本地域住民の移動手段が選択肢が広がることが推察できる。
- ・予定金額については「妥当だと思う」と回答した方が 76.3%と最も多く、次いで「より安い金額であれば利用する」が 22.9%、「より高い金額でも利用する」が 0.5%となっている。
- ・具体の金額については「100 円」と回答した方が 48.3%と最も多く、次いで「150 円」が 18.0%、「100 円未満」が 9.0%となっている。
- ・希望運行時間については「午前」と回答した方が 48.7%と最も多く、次いで「正午を挟んで前後の時間」が 32.4%、「午後」が 21.3%となっている。
- ・実証時の運行間隔の満足度は「どちらでもない」が 41.8%と回答した方が最も多く、次いで「満足」が 30.5%、「不満」が 15.8%となっている。前項目も含め便利なと思ってはいるもののまだ中立の立場であることが推察できるが、否定的な意見に偏ってはいない。

■利用意向

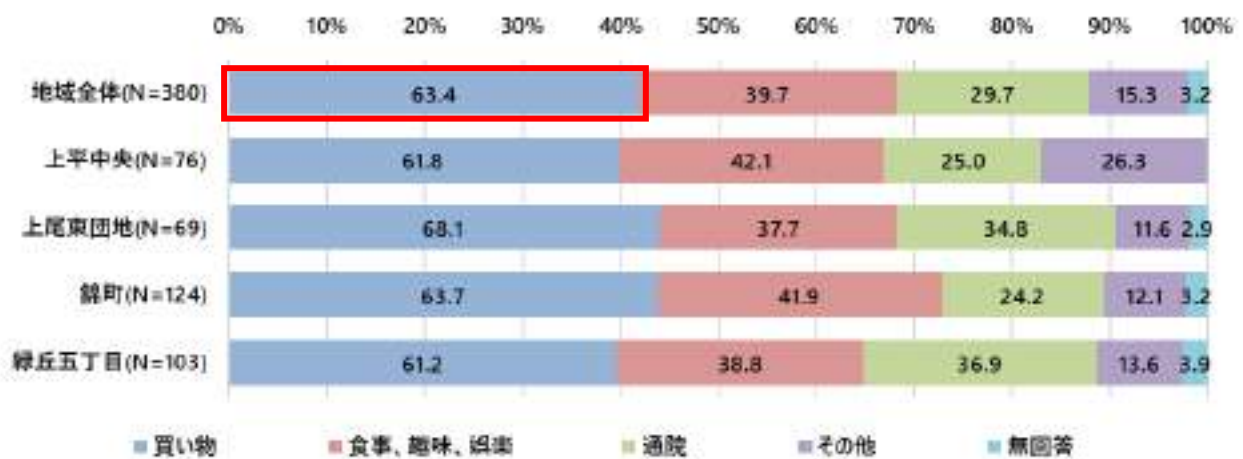


【できる限り利用してみたい、悪天候の場合など機会があれば利用してみたい、
利用する機会は限られているが興味はある】と回答した方

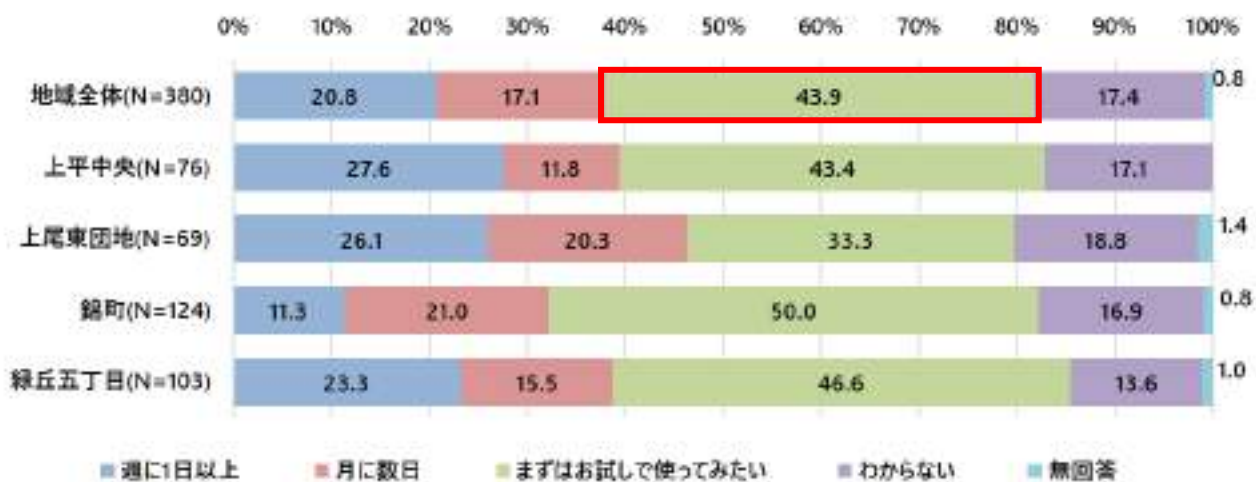
■利用意向の理由（N=354）



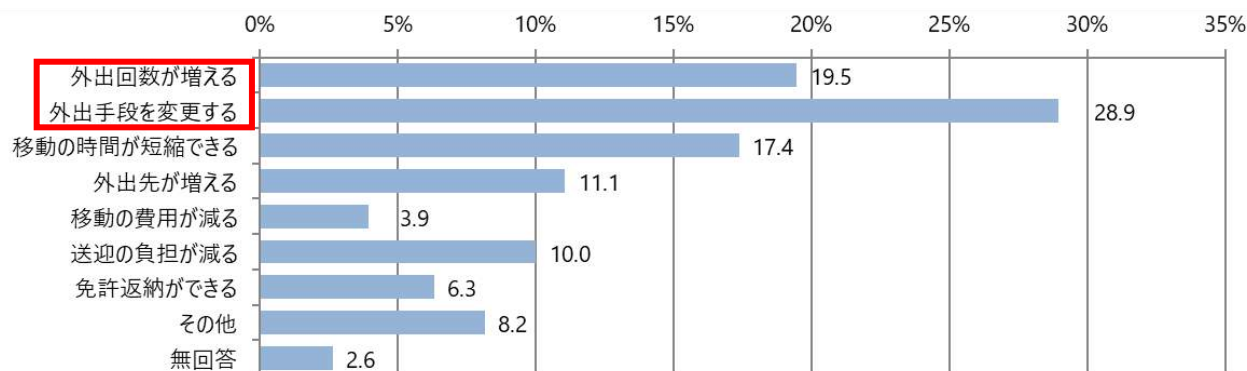
■利用目的



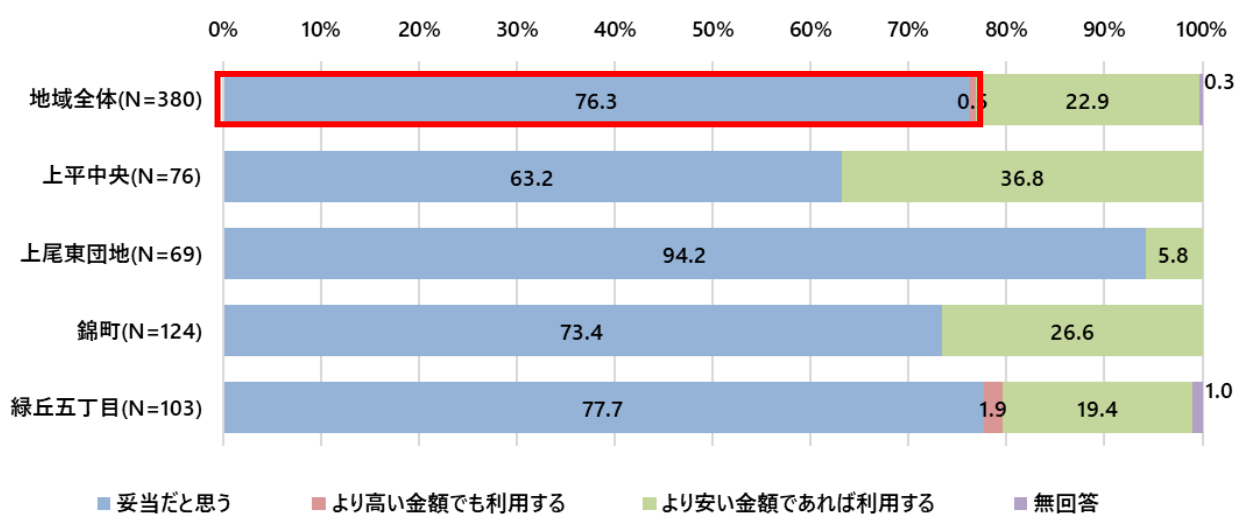
■利用頻度



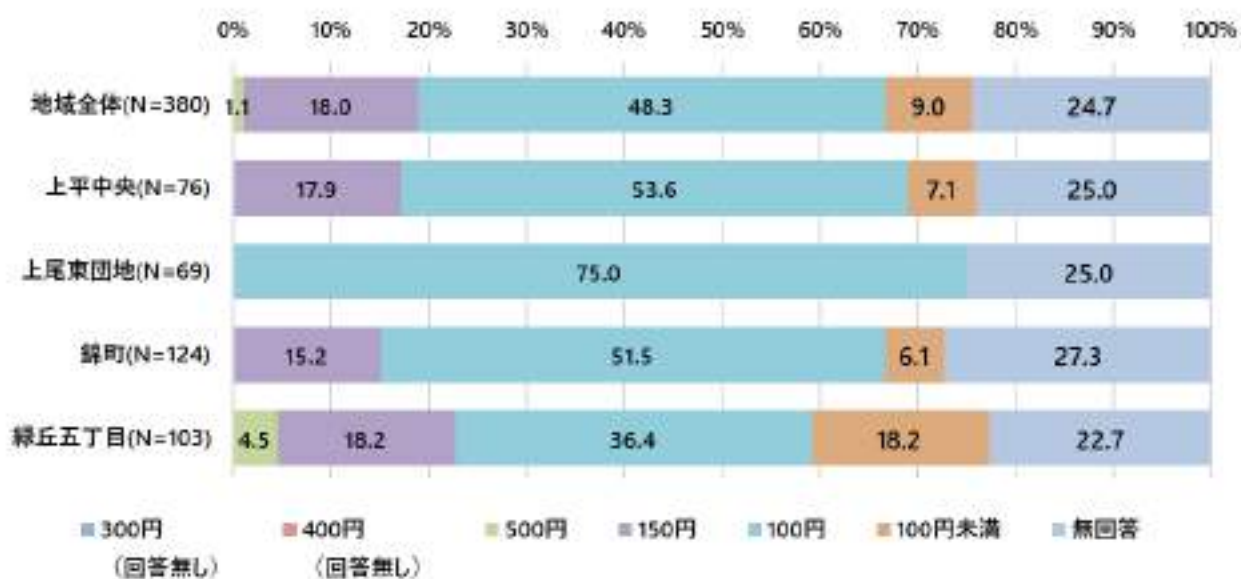
■得られるもの、行動変化（N=380）



■予定金額について



■具体の金額について



■希望運行時間



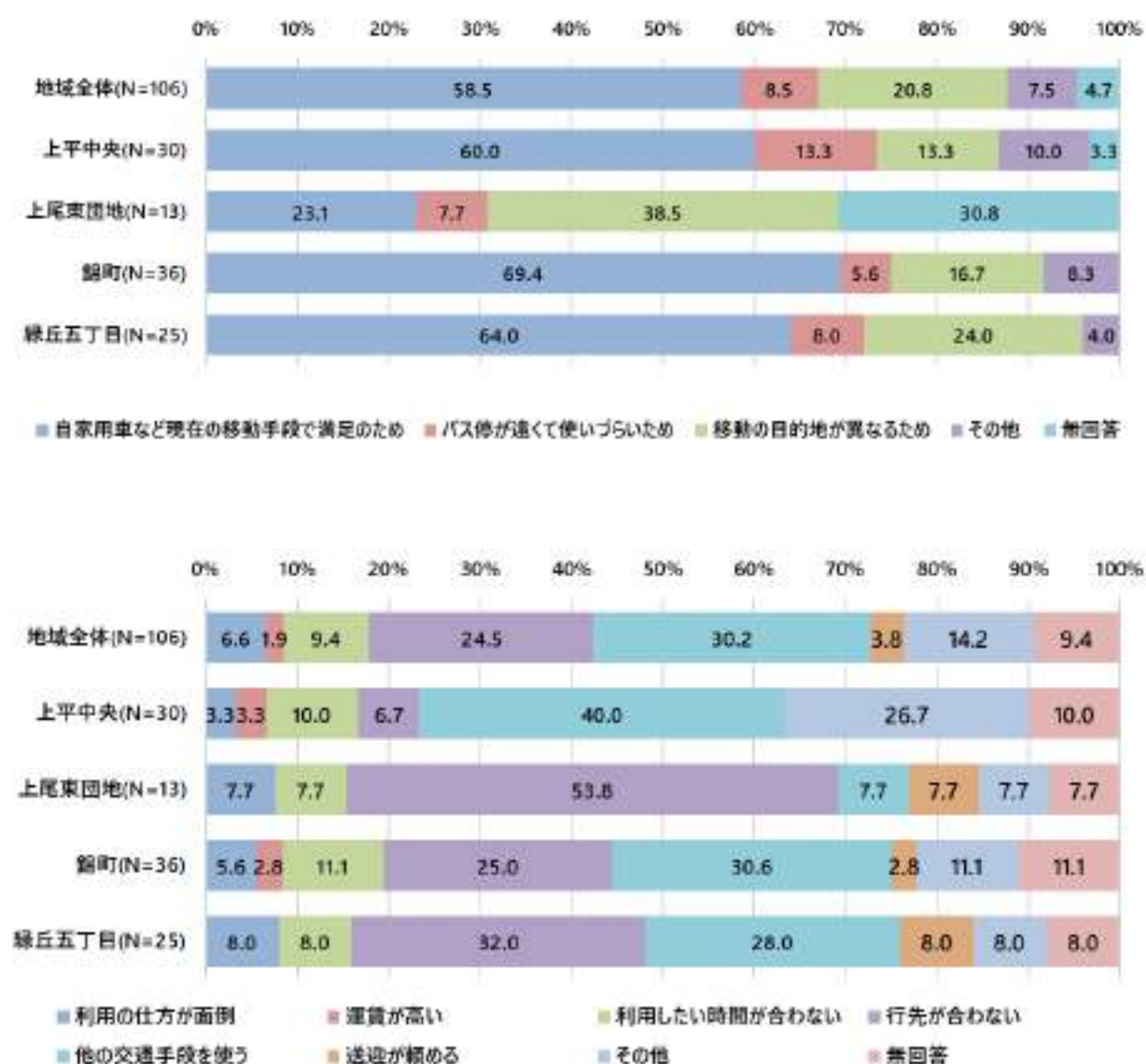
■運行間隔（45分間隔）の満足度



【利用の可能性はない回答した方】（N＝95）

- ・利用しない理由については、「自家用車など現在の移動手段で満足のため」と回答した方が60.0%と最も多く、次いで「移動の目的地が異なるため」が21.1%、「バス停が遠くて使いづらいため」が9.5%となっている。
- ・利用しない理由は「他の交通手段を使う」と回答した方が30.5%と最も多く、次いで「行先が合わない」が25.3%、「その他」が11.6%となっている。
- ・「その他」の意見としては、「1人での移動が困難だから」、「平日日中は仕事をしているから」などが挙げられている。
- ・上記より実証運行への否定（運賃などのサービス面）ではなく、新たな交通サービスへの必要性を感じていない（既存交通への満足）と推察できる。

■利用しない理由



③公共交通全体について（自由記述）

○ぐるっとくんについて

- ・既存のバス停が遠く利用できなかったが、新しいルートだと利用しやすくなる。
- ・始発は時間通りでも、途中のバス停で利用する時は、20分位待つ事があった。
- ・東団地の場合は、北上尾方面にぐるっとくんがあると、とても便利。
- ・緑丘五丁目はバス（ぐるっとくん）がないので、不便を感じる。
- ・新たなバスより、ルート再編を考えてほしい。北上尾ではなく、上尾駅へ行きたい。
- ・時刻表やバス停の案内を市民に周知してほしい。
- ・以前は、ぐるっとくんが、北上尾駅からまっすぐの道を通っていて、北上尾駅に行くのによく利用していたが、そのルートがなくなり困っている。
- ・北上尾→伊奈学園がなくなった。北上尾のタクシーが朝夜問わず、台風の時など予約もできなく、なかなか来ないのでバスを通してほしい。
- ・ぐるっとくんバスダイヤ（上尾駅行き）アッピーランド西でのバスダイヤ、9：53と9：54、原市線の都合もあると思うが、本数が少ない。例：上平北上尾線を10時台にする
- ・ぐるっとくんで東口から西口に回る循環バスは設定できないか。
- ・上平方面に行く、ぐるっとくんが電車の到着時刻にあってないため、利用できない。18：34分頃着く湘南新宿ラインよりも早く、北上尾を出てしまう。朝も北上尾着の時間を湘南新宿ラインにあわせてほしい
- ・特急等が停車するのが上尾駅なので、上尾駅・北上尾駅両方に行けるルートが有ると便利。
- ・はなみずき通りの渋滞（通学・通勤・帰宅時間）が気になる。時間帯別の実証運行すると渋滞が緩和されるか、直接的・間接的なコースをつくって試してほしい。
- ・ルートをもう少し広げて欲しい。
- ・今後利用するにあたり、もう少し小型の車でも良いように思う。
- ・運行ルートが大ざっぱで目的に合わない

○悪天候時などの需要

- ・こうしん山公園など、どのバスもまわってこない住宅地に入ってきてくれると、雨の日などに利用しやすい。土・日もあると、ありがたい。
- ・自転車のルール改定に伴い、バスを利用する事を考えている方が増えると思う。
- ・悪天候の時は特に助かる。新たな地域交通に期待している。
- ・雨天等・悪天候の時、北上尾駅から発着があると助かる。（今は北上尾⇄自宅は徒歩）

○運行時間について

- ・運行時間帯をより、通勤・通学の時間に合うようにしてほしい。
- ・朝はたくさんあった方がいいと思う。夜間はうるさいのでいらない。
- ・昼間の時間帯に運行本数が有れば、行動範囲が広がると思う。
- ・夜間運行の充実。北上尾駅の終電までバスの運行をしてほしい。飲酒をして帰宅する人の多い、夜間は高崎線の下りの北上尾駅到着に合わせて運行してほしい。
- ・**バスの運行間隔を、1本あたり30分～20分だったら、利用したい。**
- ・運行間隔が45分間隔とあるが、昼間はその間隔で良いが、朝・夕は1時間に2本を希望。
- ・通勤時間帯（6、7時台）は10分間隔だとうれしい。帰宅ラッシュ時間も同様。（17、18時台）
- ・毎時、同じ時刻にしてほしい。例…10：15、11：15、12：15の様に…
- ・飲酒で自転車が乗れないため、夜間のバスもありがたい。
- ・路線バスの運行時間のちょうど間くらいにあると利用しやすい

○運行ルートについて

- ・逆回りがいい。
- ・北上尾駅にバスがなかったので、とても嬉しい。上尾駅まではこんでいて、時間がかかる
- ・北上尾方面に民間バス及び「ぐるっとくん」を利用することはない。
- ・バス停設置は広い道路が多いけれど、本当に足腰弱く困っている人は、そこまで行くことが困難である。もっと市街地の真ん中を走るバスが増えたらいいのにと、いつも思っている。住宅街の中を細かく走り回るバスがほしい。
- ・上尾市は東側から西側へのバスの流れがなく、通学・通勤に不便を感じている。
- ・伊奈方面への運行もあるとうれしい。
- ・市役所・警察署・上尾方面・原市方面などがあれば、乗る人は増えると思う。
- ・東京方面に行く予定がある為、上尾駅へ行く方向を考慮してほしい。
- ・北上尾駅ー上平公園のバスがないのが、不思議。これを機に、バスが常に走ると良い。
- ・上平中央から上尾中央病院に行けるルートがあると、ありがたい。
- ・ルートの種類がもっと多くてもよい。
- ・錦町付近在住。子供をつれてイオンモールに行く際、北上尾駅→上尾駅→バスでイオンと時間がかかるため、今回のような地域交通の手段で上尾駅行きのものがあると、便利だなと思う
- ・高崎線が動いていない時、北上尾⇄上尾が動きにくい。本当は北上尾⇄大宮で旧中山道を通るバスを考えて欲しい。(1本で行けるバスを)
- ・運行ルート案の停留所予定地の1つにPAPAが含まれているが、普段混んでいる道路なので、避けたルート、もしくは停留所として設定しない方が良いと思う。公民館の前に停留所があると、利用者が増えると思う。老人をターゲットとしているのであれば、設定した方が良い。
- ・ぐるっとくんのような大回りのバスよりも、今回のような小回りのルートがあると、助かると思う。(ムダな移動が少ないので)
- ・今回の実証バスのルートについて、以前の「けんちゃんバス」のように、上尾駅も経由すると利便性が高まると思う。
- ・スーパーやおひろ(東口店)を回るコースはできないか。
- ・上尾駅方面、市役所方面への運行バスがあれば、将来的に助かる。
- ・一方方向の循環だけで、逆まわりの循環はないのか？一方方向だけだと、結果遠回りになり、使わなくなる。バス停は停車専用のスペースをつくってほしい。車線を封鎖して、追い抜き出来ない様だと、渋滞してしまう。
- ・行先に上尾中央病院などニーズがありそうな箇所も追加すれば、利用者もより見込めると思う
- ・上尾駅方面があると良い
- ・東団地に住んでいるが、二ツ宮方面に行けるバスがでていないので、不便。(具合が悪い時、二ツ宮クリニックに通いたい！)
- ・西側中央病院から、市内を循環するものがあれば、通院が楽になる方が増えるのではと思う。
- ・ルートの種類がもっと多くてもよい。
- ・北上尾経由で、錦町や緑ヶ丘に通っていれば、便利になっていいと思う。
- ・病院、銀行、買物等、上尾駅の方が便利であるので、上尾駅経由も検討して欲しい。
- ・北上尾経由で上尾駅まで、バス便があると助かる。
- ・東団地の消防本署の通りのルートが検討されているのは、助かる。

○運行本数について

- ・ 1 時間に 1 本位で、バス出ているとありがたい。
- ・ 運行間隔をもう少し短くして欲しい
- ・ **せめて 1 時間に 2 本運行して欲しい。間隔は短ければ、短い方が嬉しい。**
- ・ 30 分間隔の運行にそろえれば、利用者が時刻表を覚えやすくなると思う。(高齢者にも優しい。)
- ・ できることなら 15 分間隔で走ってくれるとよい。(スーパーでタクシーを待たせて買い物をしてる人もいる。)
- ・ 日中の運行回数が少ない(朝日バス)。
- ・ 上尾市は人口が多いのに、公共交通の運行本数が少ない
- ・ 朝 6 時頃～9 時頃迄と、夕方 4 時～8 時頃の間は、回数を増やしてほしい。昼間は 40 分～1 時間に 1 本位で良い。
- ・ 小さい車両でもよいから、回数(運行)を増加してもらいたい。
- ・ 現在のバス運行(路線・本数)では、買い物にも、もしもの通院にも不安は感じている。
- ・ **昼前後の運行が少なく、利用時に役立たない。せめて 30 分間隔の運行を希望します。**
- ・ **運行間隔が最高でも 30 分位だったら、乗り遅れても、待つかもしれないが、45 分だと諦めます。**
- ・ 路線、運行本数が増えたら、外出する機会が増え、健康にも良いと思う。通院にも便利。
- ・ 上平地区方面のバスの本数を増やしてほしい。
- ・ 学生の乗車態度が悪すぎる。雨天時の遅れ度合がひどい。
- ・ 少なくとも 1 時間に 3 本、朝や夕方の時間帯で利用したい。

○支払い料金について

- ・ 障がい者や介助者の割引はあるのか? チケット制なのはめんどくさいし、乗りたい時に乗ることができなそう(チケット制なら利用しないかも)。
- ・ S u i c a や P a s m o が使えるとうれしい。
- ・ もしも利用するとして、乗る区間が 1 区間ぐらいなので、料金が安く利用できればうれしい。
- ・ **支払方法がチケットのみは、敬遠してしまう。**
- ・ S u i c a 等の I C カードでバスに乗れると助かる。子供の習い事の行き来に利用したい。
- ・ 料金も上尾駅に向かうなら 200 円で良い。
- ・ **支払い方法について、あらかじめチケットを購入とあるが、それだと利用することはないかなと思う。**交通系 I C カードや電子マネーが使えると利用しやすい。
- ・ **チケット制となると利用は難しいと思う。**
- ・ 実証運行の時から、チケット方式でなく、S u i c a を使えるようにした方が、使ってみようと思う人が増えると思う。
- ・ 運賃が安くなれば、利用者が増え、北上尾駅に人が集まると思う。町の活性化にもつながるのではないか。駐輪所利用料より安くなるとありがたい。

○車両について

- ・ バスのステップを低くして欲しい
- ・ 緑五の町内でも高齢者が多く、町中の病院に利用している方が多いが、大型バスはステップが高いため、足腰の力も弱っている方は大変と聞く。マイクロだと燃料も少なくていいと思う。
- ・ 利用するにあたって、足が段々不自由になって来ているので、乗り降りを考えてしまう。大丈夫なような安全にお願いしたい
- ・ 各方面、各時間帯によっては、マイクロバスがよいと思う。(大型バスに少人数乗車はもったいない) 高齢化で利用が増えると思うので、早々の実現をお願いしたい。

○実証運行について

- ・ぜひ運行してほしい。
- ・免許を返納した時には、バスやタクシーを利用する予定。路線が増えることには賛成。
- ・財政面が許すなら、ぜひこのバスを運行してもらいたい。
- ・燃料（油）高騰ですが、がんばってほしい。
- ・やっと近くにバスが通るか、うれしい。もうちょっと町内に入ってくれと、更にうれしい。
- ・是非利用してみたい。市民の為に色々と検討してくださり、ありがたい。
- ・高齢になると車で外出が難しくなるので、このような新しい取組みに期待している。
- ・大変良い事。すべてパーフェクトはない。
- ・北上尾駅は特に必要だと思う。
- ・市の予算の関係上で運行が突如中止になる等の事は、避けてほしい。
- ・錦町路線は時間が決まり、予定がたて易い、是非ともお願いしたい。
- ・人口の減少、労働人口の減少など、厳しい環境が続きますが、持続可能な、利便性の高い公共交通の維持、確立の実証は、素晴らしい取り組みと歓迎している。
- ・家の近くをバスが通るのはうれしい事なので、是非、実現してほしい。
- ・停留所が明確にならないと、なんとも言えない。（一度テストランためしてみたい）
- ・実証して頂いて、運行が決定してもらえたら大満足。
- ・買い物、食事、郵便局、ＪＲなど、北上尾駅中心の生活圏なので、緑丘５丁目⇄北上尾駅間の公共交通は是非欲しい。企業の通勤バスを活用する案は、素晴らしい！！是非実現させて欲しい。
- ・北上尾駅まで、時間帯もどの世代にも対応できる型を実施してほしい。
- ・高齢者の通院や買い物に利用できると良いと思う。
- ・上尾の発展を期待したい。
- ・今まで、北上尾駅に行く時は、徒歩・自転車・自家用車・タクシーのいずれかの方法だったので、バスが増えたら、便利になる。
- ・この実証運行のルートに非常に疑問がある。わざわざ税金を使って、北上尾駅方面のルートとは…？上尾駅方面の方がよい。年をとると市役所に行く機会が多くなるので、ぐるっとくん１本増便していただける方が良い。（今までルートがないところにつくろうというねらいなのだろうが）
- ・待ちに待ったバスが５丁目を通ることになり、１０００人余の住人（緑丘５丁目）は大喜び。
- ・駅までの移動手段が増えることは大歓迎。
- ・このバスの運行が開始したら、個人的に電車で外出する事が増えると思う。
- ・パパや北上尾へバスで行けるようになることは、買い物が自分ででき、よいと思います
- ・上尾駅に行くのにいつも混んでいて、時間がかかっていた為、北上尾駅を利用することが多く、今回の地域交通はとても便利だと思う。
- ・北上尾駅に向かうバスが基本ないので、運行を考えていただきありがたい。該当しているこの地域も距離が短いので、運賃が安くなったら、よりうれしい！
- ・北上尾駅から、まっすぐの路線（ＰａＰａ前通過）が出来たら、遠まわりしないで、短縮時間で駅まで行けるので、便利だと思う
- ・あったらいいなと思っていたので、実証ではなく本採用されたらいいなと思う。
- ・免許返納した方にとって、とても安心できそう。
- ・北上尾駅へ行く手段が増えるので、期待している。
- ・北上尾から乗り降り出来るのは、便利。タクシーも少ないので。
- ・緑丘５丁目在住のため駐車場が遠く、足が不自由なため利用したことないが、新しい路線がスタートすれば利用ができる。この路線上で問題はないが、あらかじめスマホで連絡か、手を上げたら、その場で停車して乗車させて欲しい。
- ・料金は元より、運行間隔が長く空いてしまうと、利用は半減してしまいそう。

○渋滞について

- ・民間路線バスは、17号バイパスに出るため、時間の予測が難しい。
- ・**バス停の配置について、渋滞を引き起こすことのないように配慮すべき。**
- ・上尾駅東口⇄羽貫駅間のバスはあるものの、渋滞で時間通りに運行しておらず、また歩いていくのと同じくらいの時間がかかっている。
- ・朝や夕方の上尾駅へ向かう道の交通渋滞の緩和につながる施策を実施してほしい。
- ・**車の交通に支障が出そう。バスの運行により、停留所等で渋滞すると思う。**最初は試しに利用する人がいると思う。1年後に利用している人は数人しかないなそう。

○その他

- ・本人も家族も足が悪いため、家の近くの停留所があると利用しやすい。
 - ・高校野球が開催される季節には、増便は可能か？
 - ・公共交通によるバス停の場所及时刻表を明確に大きくしてほしい。
 - ・バス停まで歩く事も負担になると思う。(病気の後遺症等で) 高齢者にタクシーのチケット等、考えてほしい(東京都の様に)
 - ・ルートが決まっている運行では、そこから離れた住居の高齢者、妊婦、障害者等にとっては負担になる。鴻巣等で実践している、小回りのきくデマンド乗合タクシー等のシステムの方が良いと思う。
 - ・コミバス運行には賛成だが、現在見かけるバス会社は、運転士の技能レベルが低い。回送運行時の道路交通法違反行為の横行が目に見え。又、バス停周辺で時間調整時のエンジン騒音、利用者のモラルのなさ…、私有地内への侵入(座り込み)、ゴミ問題・待ち時間時の会話騒音、プライバシーの侵害(のぞき見)、懸念点が多くあるので、バス停候補地となった場合は、反対します
 - ・停留所以外でも乗り降できるシステムを導入してほしい。
 - ・乗合いタクシーのようなものも、試験的に取組んではどうか。
-

令和 8 年 月 日

埼 玉 県 知 事

名 称 上尾市
住 所 埼玉県上尾市本町三丁目 1 番 1 号
代表者の氏名 市長 畠山 稔

自家用有償旅客運送の登録の申請

このたび、自家用有償旅客運送の登録を受けたいので、道路運送法第 79 条の 2 の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 名称、住所、代表者の氏名

名称：上尾市

住所：埼玉県上尾市本町三丁目 1 番 1 号

2. 自家用有償旅客運送の種別

交通空白地有償運送

3. 路線又は運送の区域

(1) 路 線

	起 点	主たる経過地	終 点	キ ロ 程	備考
1	JR 北上尾駅	UD トラックス 上尾スタジアム	JR 北上尾駅	4.9	
2					
3					
4					
5					

自動運行旅客運送（特定自動運行旅客運送を除く。）又は特定自動運行旅客運送を行う路線については、備考欄にそれぞれ明記すること

(2) 運送の区域

区 域	備 考
JR 北上尾駅→上平中央→上平公園→上尾東団地→錦町・緑丘五丁目→JR 北上尾駅	

自動運行旅客運送（特定自動運行旅客運送を除く。）又は特定自動運行旅客運送を行う運送の区域については、備考欄にそれぞれ明記すること

4. 事務所の名称及び位置

事務所の名称	位 置
UDトラックス株式会社	埼玉県上尾市壱丁目1番地

5. 事務所ごとに配置する自家用有償旅客運送自動車の数及びその種類ごとの数

事務所の名称	保有区分	バ ス		普通自動車（軽）		合 計	
UDトラックス株式会社	保有	3		()		3	
		自動運行	特定自動運行	自動運行	特定自動運行		
	持込		※	()	※		※
		自動運行	特定自動運行	自動運行	特定自動運行		
	合計	3		()		3	

軽自動車については、() 内に内数で記載すること

自動運行旅客運送（特定自動運行旅客運送を除く。）又は特定自動運行旅客運送の用に供する自動車については、それぞれ「自動運行」欄又は「特定自動運行」欄内に内数で記載すること

事業用自動車については、※欄に記載すること

6. 運送しようとする旅客の範囲

上尾市住民、観光客等来訪者

7. 路線又は運送の区域ごとの対価の額

（必要に応じ関係資料を添付のこと）

1乗車200円（75歳以上で高齢者特別乗車証の所有者は100円）

8.（事業者協力型自家用有償旅客運送の場合）協力事業者の氏名又は名称及び住所

9. 添付書類

- （１）定款又は寄付行為、登記事項証明書、役員名簿
- （２）路線図
- （３）法第７９条の４第１～４号に該当しない旨を証する書類
- （４）地域公共交通会議等において協議が調ったことを証する書類
- （５）自家用有償旅客運送自動車についての使用権原を証する書類
- （６）運転者が必要な要件を備えていることを証する書類
- （７）運行管理の責任者及び運行管理の体制を記載した書類
- （８）整備管理の責任者及び整備管理の体制を記載した書類
- （９）事故発生時の対応に係る責任者及び連絡体制を記載した書類
- （１０）自家用有償旅客運送自動車の運行により生じた旅客その他の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置を講じていることを証する書類
- （１１）（自動運行旅客運送を行おうとする場合）当該自動運行旅客運送の用に供する自家用有償旅客運送自動車の自動運行装置に係る使用条件が記載された書類
- （１２）（特定自動運行旅客運送を行おうとする場合）当該特定自動運行旅客運送に係る道路交通法第７５条の１２第１項の許可の見込みに関する書類

令和 8 年 月 日

(申 請 者) 様

地域公共交通会議等において協議が調ったことを証する書類

申請のあった自家用有償旅客運送については、下記のとおり地域公共交通会議等において、一般旅客自動車運送事業者によることが困難であり、かつ、地域住民等の旅客輸送を確保するために必要であるとの協議が調ったので、その旨証明します。

記

1. 自家用有償旅客運送の種別
交通空白地有償運送

2. 地域公共交通会議等の名称及び対象市町村

(名 称) ※地域公共交通会議等が設置されていない場合は、協議を行った関係者を列記すること

上尾市地域公共交通活性化協議会

(対象市町村)

上尾市

3. 地域公共交通会議等にて協議が調った年月日

令和 8 年 5 月 2 6 日

4. 運送主体の名称、住所、代表者の氏名

名称：上尾市

住所：埼玉県上尾市本町三丁目 1 番 1 号

代表者：市長 畠山 稔

5. 調った協議の内容

(1) 路線又は運送の区域

JR 北上尾駅→上平中央→上平公園→上尾東団地→錦町・緑丘五丁目→JR 北上尾駅

(2) 旅客から収受する対価（対価の内容を添付すること）

1 乗車 2 0 0 円（7 5 歳以上で高齢者特別乗車証の所有者は 1 0 0 円）

(3) 運送しようとする旅客の範囲

上尾市住民、観光客等来訪者

6. その他特記事項

UD トラックス株式会社と協働で運行を実施する。

令和 8 年 月 日

上尾市地域公共交通活性化協議会 主宰者 上尾市長

運転者就任承諾書 兼 就任予定運転者名簿

申請者（上尾市）が自家用有償旅客運送の登録を受けた場合は、その運転者として就任することを承諾致します。

	氏 名	住 所	運転免許の種類	
			区 分	種 類
1				種
2				種
3				種
4				種
5				種
6				種
7				種
8				種

※ 運転免許の種類欄には、受けている運転免許の別（普通・大型及び1種・2種）を記載すること。

※ 第2種運転免許を有しない者にあつては、施行規則第51条の16第1項各号のいずれかの要件を備えていることを証する書類を添付すること。

埼 玉 県 知 事

宣 誓 書

当社が協力する事業者協力型自家用有償旅客運送においては、当社との雇用関係の有無にかかわらず、運転者が当該運送の運転者として就任することを承諾し、所要の運転免許証を所持し、道路運送法施行規則第 5 1 条の 1 6 第 1 項各号に掲げる要件を備えていることについて、当社が責任をもって確認することを宣誓致します。

令和 8 年 月 日

名	称	UD トラックス株式会社
住	所	埼玉県上尾市壺丁目 1 番地
代表者の氏名		

運行管理の責任者 就任承諾書

申請者（上尾市）が自家用有償旅客運送の登録を受けた場合は、その運行管理の責任者として就任することを承諾致します。

また、乗車定員 11 人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員 10 人以下の車両を 5 両以上配置する事務所の運行管理の責任者として就任した場合には、道路運送法施行規則第 51 条の 18 に規定する国土交通大臣が告示で定める講習を受講することを宣誓致します。

（年号） 年 月 日

住 所 UDトラックス株式会社
氏 名

※ 乗車定員 11 人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員 10 人以下の車両を 5 両以上配置する事務所の運行管理の責任者にあつては、運行管理者資格証の写し又は施行規則第 51 条の 17 第 2 項各号のいずれかの要件を備えていることを証する書類を添付すること。

運送の主体（申請者名）	上尾市
-------------	-----

運行管理の体制等を記載した書類

事務所名（ UDトラックス株式会社 ）

1. 運行管理・整備管理の体制

（ア）運行管理の責任者の就任予定名簿

No	氏 名	住 所	資格の種類	委託	協力
1					
2					
3					

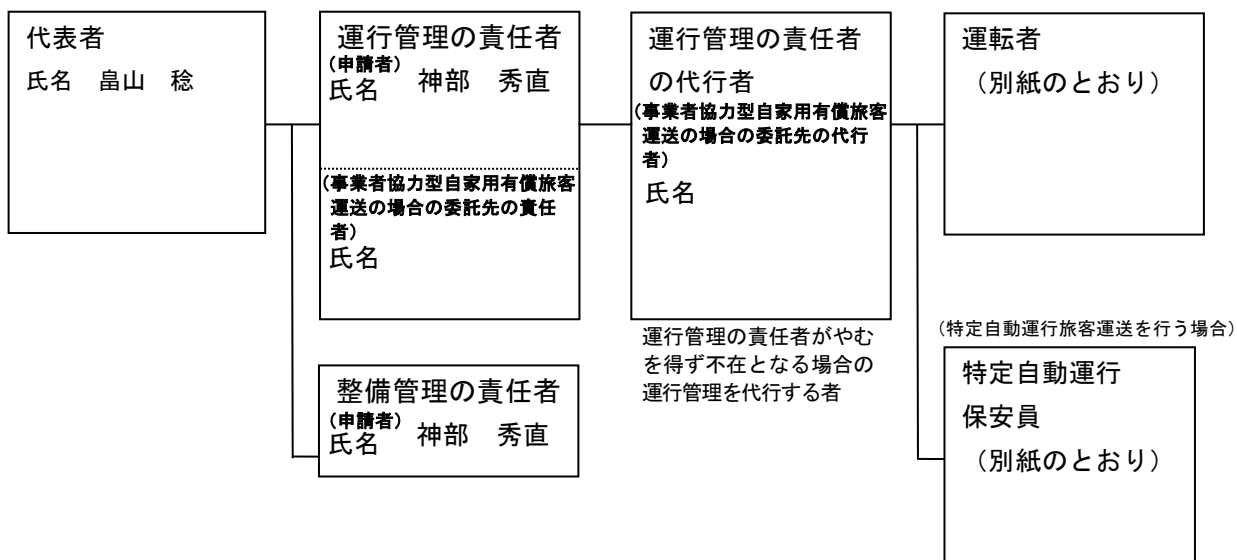
- 乗車定員 11 人以上の車両を配置する事務所及び乗車定員 10 人以下の車両を 5 両以上配置する事務所の運行管理の責任者にあつては、運行管理者資格証の写し又は施行規則第 5 1 条の 17 第 2 項各号のいずれかの要件を備えていることを証する書類を添付すること。
- 資格の種類には、法 23 条第 1 項の運行管理者、その他の別を記載するものとする。
- 運行を委託する場合は、受託者における運行管理の責任者を記載し、委託欄に○印を記載するものとする。
- 事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、協力事業者における運行管理者を記載し、協力欄に○印を記載するものとする。

（イ）整備管理の責任者の就任予定名簿

No	氏 名	住 所	協力
1			
2			
3			

- 事業者協力型自家用有償旅客運送の場合は、受託者において選任した者を記載し、協力欄に○印を記載するものとする。

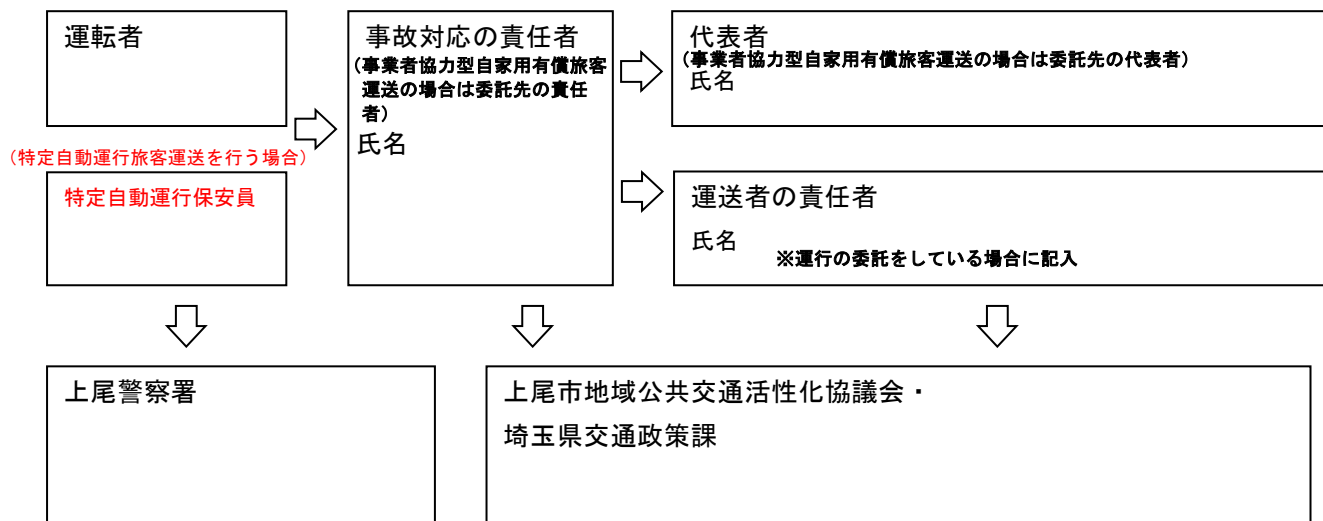
（ウ）運行管理・整備管理に係る指揮命令系統



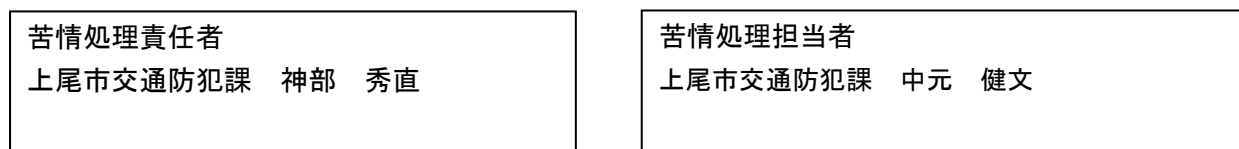
(エ) 非常通報装置・非常停止装置（特定自動運行旅客運送を行う場合）

施行規則第51条の16の2第1項第2号イに定める装置を当該特定自動運行旅客運送の用に供する自家用有償旅客運送自動車に備えていることを証する書類は別紙のとおり。

2. 事故処理連絡体制



3. 苦情処理体制



(契約申込書の写し、見積書の写しが添付できない場合は以下の宣誓書を添付する)

様式第 8 号

埼 玉 県 知 事

宣 誓 書

道路運送法第 79 条の登録を受けた時は、速やかに以下のとおり損害を賠償するための措置を講ずることを誓約します。

記

保険（共済）の種類	補償金額
対人保険（共済）	(無制限)・万円)
対物保険（共済）	(無制限)・万円)

令和 8 年 月 日

名 称	上尾市
住 所	埼玉県上尾市本町三丁目 1 番 1 号
代表者の氏名	市長 畠山 稔